

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver.7.0

BPM イントロダクション

2008/08/22 初版

<< 変更履歴 >>

変更年月日	変更内容
2008/08/22	初版

<< 目次 >>

1	概要	1
1.1	はじめに	1
1.2	注意事項	1
2	サンプル	2
2.1	ワークフロー連携サンプル	2
2.1.1	ダイアグラムの説明	2
2.1.2	ワークフロー連携サンプルプロジェクト(JavaEE開発モデル)	4
2.1.3	ワークフロー連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)	14
2.2	進捗通知サンプル	25
2.2.1	事前準備	25
2.2.2	都度登録型	26
2.2.3	事前登録型	35
2.3	Intra-mart画面連携サンプル	46
2.3.1	サンプルの説明	46
2.3.2	Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(JavaEE開発モデル)	48
2.3.3	Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)	60
2.3.4	Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(Maskat開発モデル)	73
2.4	RCMサンプル	89
2.4.1	事前準備	89
2.4.2	RCMサンプルの説明	89
2.4.3	操作手順	93
2.4.4	フォーマットを変更する	101
2.5	WebServiceによるプロセスの開始サンプル	123
2.5.1	事前準備	123
2.5.2	WebServiceによるプロセスの開始サンプル実行手順	124
2.6	Excel_ BPM連携サンプル	128
2.6.1	事前準備	128
2.6.2	サンプルフローの説明	131
2.6.3	サンプルの実行手順	139

1 概要

1.1 はじめに

本ドキュメントでは im-BPM のサンプルの内容と、サンプルを動作させるための操作手順について記述します。
iWP/iAF 及び BPM|Designer インストール時にサンプルが選択されていることが前提となります。

BPM|Designer にインストールされたサンプルは、zip アーカイブ形式で、次のディレクトリ以下に配置されます。

<%BPM|Designer インストールディレクトリ%/samples

zip アーカイブファイルは BPM|Designer でインポート機能を使用して、BPM プロジェクトとして取り込みます。

※インポートについては「BPM|Designer 操作ガイド」を参照してください。

BPM ダイアグラムのサンプルについては、以下のサイトを参照してください。

<http://bpms.intalio.com/samples.html>

1.2 注意事項

サンプルプロジェクト(*.zip)をインポートした後、.bpm ファイルを開くとエラーが発生している場合や、デプロイボタンが非活性状態になっている場合があります。その場合は、インポートしたプロジェクトを削除してください。
削除後、デザイナを再起動してインポートをやり直してください。

1.3 用語解説

BPM Designer	以下、BPM Designer をインストールしたディレクトリを %BPM Designer% と略します。
intra-mart WebPlatform Ver7.0 または intra-mart AppFramework Ver7.0	以下、iWP/iAF と略します。
Application Runtime	アプリケーションの実行エンジンです。 以下、Application Runtime をインストールしたディレクトリを % AppRuntime % と略します。
Resource Service	スクリプト開発モデルのプログラムファイルを管理するサービスです。 以下、Resource Service をインストールしたディレクトリを %Resource Service% と略します。
Storage Service	ファイルを管理するサービスです。 以下、Storage Service をインストールしたディレクトリを %Storage Service% と略します。

2 サンプル

2.1 ワークフロー連携サンプル

ワークフロー連携サンプルについて解説します。ワークフロー連携のサンプルは、BPM|Designer に同梱されており、以下のプロジェクトが用意されています。

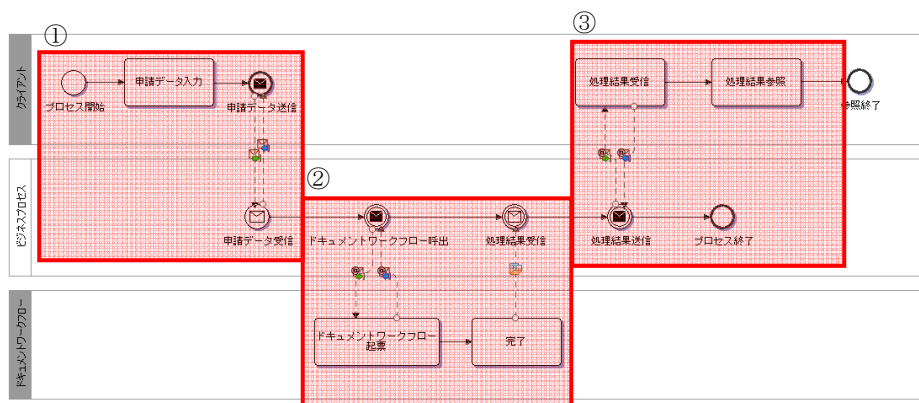
- ワークフロー連携サンプルプロジェクト(JavaEE 開発モデル)
sample_im_workflow_javaee.zip
- ワークフロー連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)
sample_im_workflow_script.zip

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に(※インストールする項目で「samples」を指定した場合のみ)、以下のフォルダに格納されます。

- [サンプルの格納場所]
%BPM|Designer% /samples

2.1.1 ダイアグラムの説明

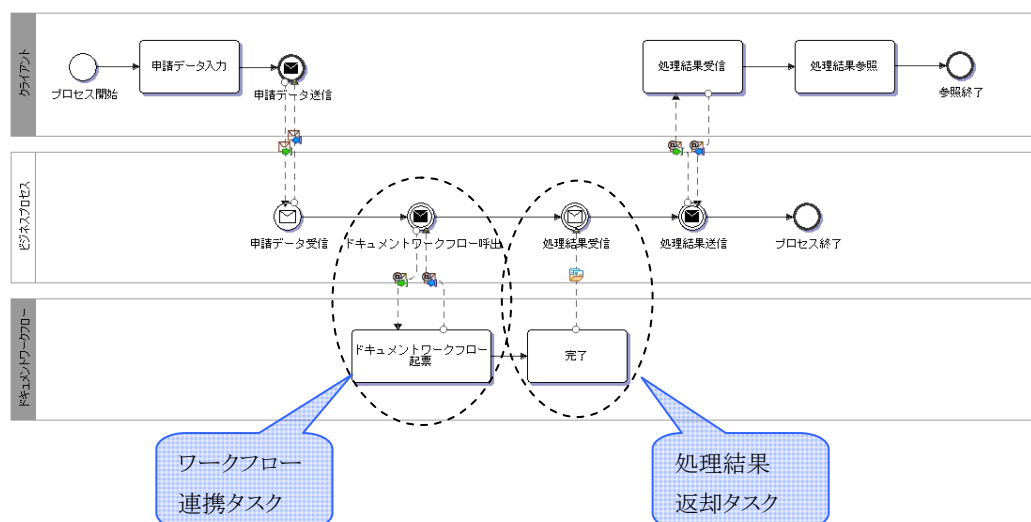
i) 概要



本サンプルのダイアグラムでは、ドキュメントワークフローと連携し物品購入時の起票から承認、確認までの処理を行っています。

まず、一般ユーザがプロセスを開始します(①)。プロセスが開始されると、プロセスを開始したユーザを起票者としてドキュメントワークフローの起票処理が実行されます(②)。ドキュメントワークフローのプロセスが終了すると処理結果が返却され、プロセスを開始したユーザが処理結果を参照できるようになり、プロセスは終了します(③)。

ii) ドキュメントワークフロー連携



本サンプルのダイアグラムでは、ヒューマンタスクの実行直後にドキュメントワークフロー連携用のタスクを配置しています。このタスクが実行されると、intra-mart のサンプルサービス `im_workflow` が呼び出され、ドキュメントワークフローの起票処理が実行されます。ドキュメントワークフローの連携用タスクの直後には処理結果返却タスクが配置されており、ドキュメントワークフローの処理結果が返却されるまで、確認のヒューマンタスクが実行可能になることはありません。

また、本サンプルではドキュメントワークフローの以下のサンプルと連携します。

- ドキュメントワークフロー プロセス定義 (JavaEE 開発モデル)
[カスタム]JavaEE 開発モデル - ドキュメントワークフロー1
- ドキュメントワークフロー プロセス定義 (スクリプト開発モデル)
[カスタム]スクリプト開発モデル - ドキュメントワークフロー1

(ドキュメントワークフローのサンプルについては、「ワークフロー プログラミングガイド 15.ワークフローサンプルプログラム」を参照ください。)

iii) タスクの処理権限

本サンプルではタスクの処理権限が下記のように割り当てられています。

- BPM プロセス

タスク名	設定権限
プロセスの開始 (apply-init)	【ロール】ゲストロール
処理結果の確認 (reference-create)	プロセスの開始ユーザ

- ドキュメントワークフロー

タスク名	設定権限
申請者	【ロール】ゲストロール (プロセスの開始ユーザが起票者となります。)
第1承認者	起票者と同じ組織に所属するユーザ
第2承認者	起票者の上位組織に所属するユーザ

2.1.2 ワークフロー連携サンプルプロジェクト(JavaEE開発モデル)

2.1.2.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

- BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2 プロジェクトの作成」を参照ください。

2. WSDL ファイルの変更

1.でインポートしたサンプルの WSDL ファイルを変更します。変更が必要なファイルは以下のファイルです。

① WSDL ファイル

ワークスペース/ sample_im_workflow_javaee/ im_workflow_javaee.wsdl

上記 WSDL ファイルを開き、「%IWP_HTTP_ADDRESS%」をインストールした iWP/iAF のアドレスに変更、「%IWP_HTTP_PORT%」をインストールした iWP/iAF のポート番号に変更します。

なお、この WSDL ファイルは下記[intra-mart の WSDL ファイル格納場所]の場所にも同じものが配置されています。

- [intra-mart の WSDL ファイル格納場所]
% AppRuntime %/doc/imart/WEB-INF/services/im_bpms_samples/META-INF
•im_workflow_javaee.wsdl

3. データマッピングの変更

1.でインポートしたサンプルのビジネス・プロセス・ダイアグラムファイルを変更します。変更が必要なファイルは以下のファイルです。

① ビジネス・プロセス・ダイアグラムファイル

ワークスペース/ sample_im_workflow_javaee/sample_im_workflow_javaee.bpm

sample_im_workflow_javaee.bpm ファイルを開き、「CallService」タスクを選択します。

メニューより、「ウィンドウ」→「ビューの表示」→「Mapper」を選択し、「CallService」タスクのマッピング情報を表示します。

Mapper ビューより、右の欄の以下の要素の値を変更します。

要素	値
endPoint	http://localhost:8080/ode/processes/sample_im_workflow_javaee/sample_im_workflow_javaee/procecess/service

endPoint の「localhost:8080」の部分をインストールした BPM サーバの環境に合わせて変更します。

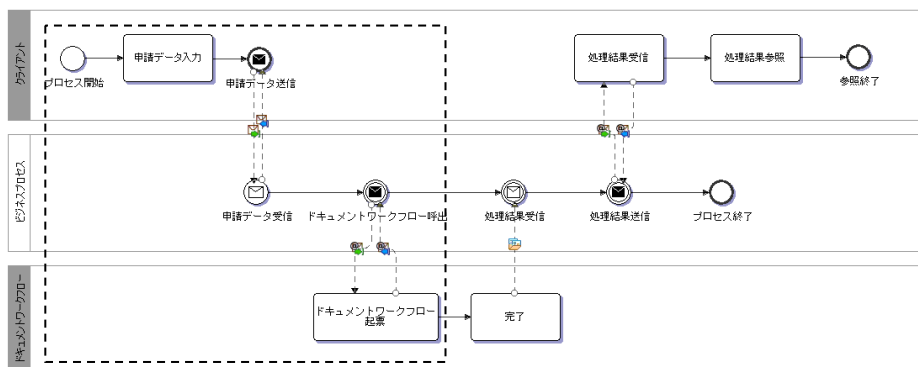
4. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。

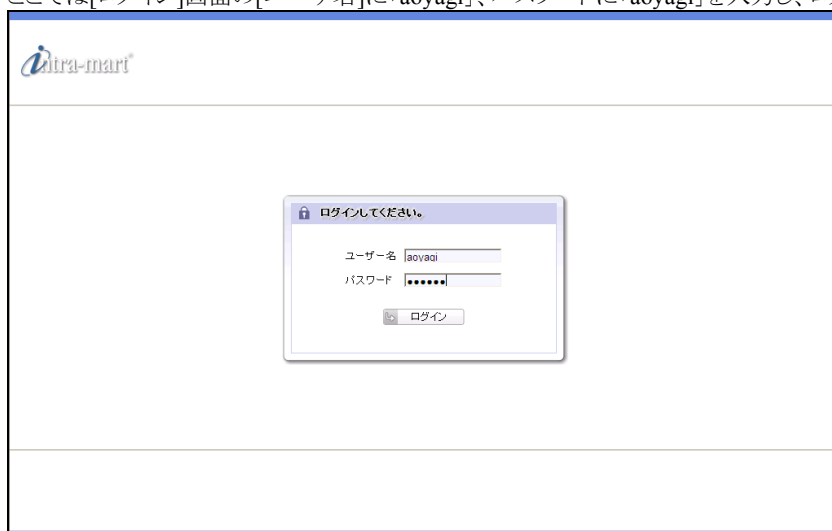
2.1.2.2 サンプルの実行手順

1. プロセスの開始(起票)



i) ログイン(一般ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



ii) プロセスの開始

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「【JavaEE 開発モデル】ワークフロー連携サンプル」の[開始]を選択します。



[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。

下記内容を入力し、[開始]をクリックすると、プロセスが開始されます。

プロセスが開始されると、im_workflow_javaee サービスが呼び出され、ドキュメントワークフローの起票処理が実行されます。

項目	入力内容
プロセス名	JavaEE サンプルプロセス
品名	サンプル
数量	10
金額	1200
納品場所	サンプル
購入目的	サンプル実行
備考	備考

メニューより、[ワークフロー]->[起票済]を選択すると、ドキュメントワークフローの起票済案件一覧が表示されます。ここで、プロセスが開始しドキュメントワークフローの起票処理が実行されたことを確認できます。

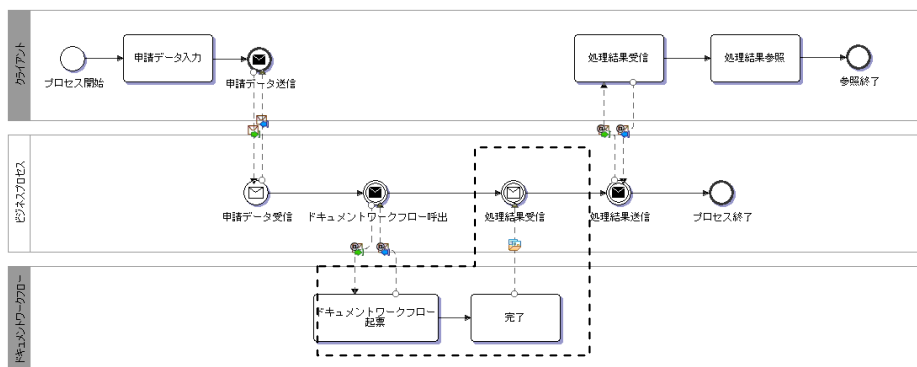
また、[フロー]をクリックするとドキュメントワークフローの承認フローを確認できます。

処理名	処理者	所属情報	結果	処理日	処理期限	コメント
申請者	登録済					
第1承認者	申請済	サンプル課11	申請	2008/07/04		
第2承認者	サンプル課11		待ち			
第3承認者	総務課長の上司様					

プロセスの開始を確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。



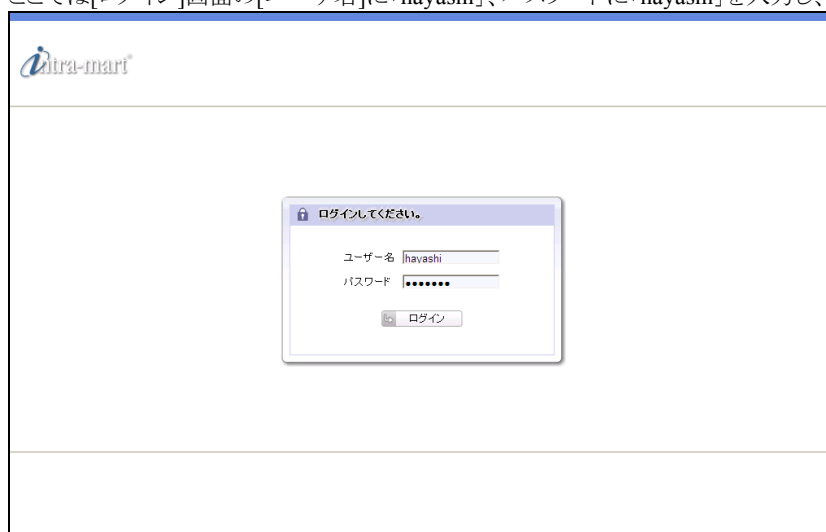
2. ドキュメントワークフロー承認



■ 第1承認者 承認処理

i) ログイン(所属組織のユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「hayashi」、パスワードに「hayashi」を入力し、ログインします。

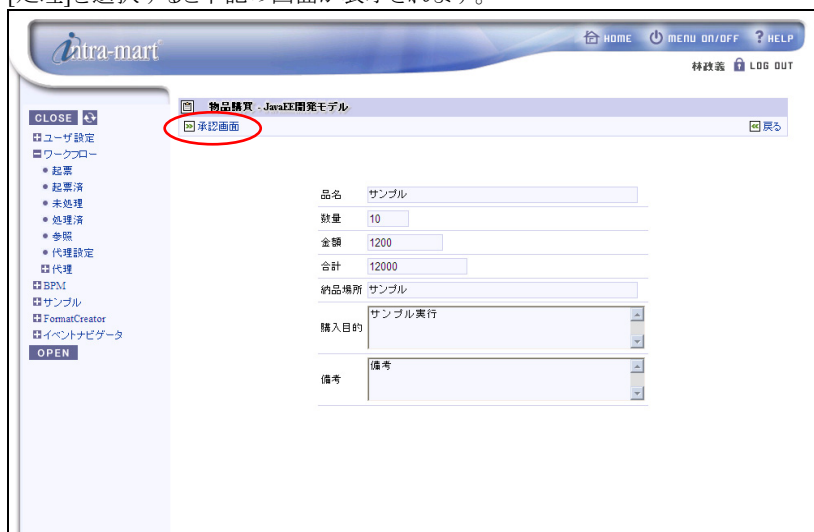


ii) ドキュメントワークフロー承認

intra-mart ヘロログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「JavaEE サンプルプロセス」の[処理]を選択します。

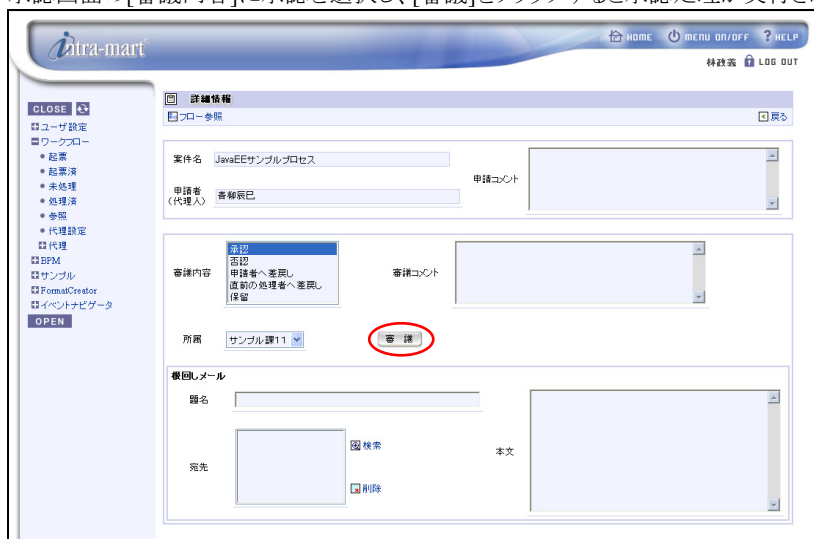


[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。



[承認画面]を選択すると、承認画面が表示されます。

承認画面の[審議内容]に承認を選択し、[審議]をクリックすると承認処理が実行されます。



メニューより、[ワークフロー]->[処理済]を選択すると、ドキュメントワークフローの処理済案件一覧が表示されます。ここで、ドキュメントワークフローの承認処理が実行されたことを確認できます。

処理済案件一覧 (本人用)

一覧表示項目設定

絞り込み: [検索] [登録] [完了]

1-1/1 表示中

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	フロー	起票者	代理処理者	処理日	処理結果	状態	参照
000000000000000000000001	カスタムJavaEE開発モデル・ドキュメントワークフロー	JavaEEサンプルプロセス			香柳辰巳		2008/07/04	承認		

1-1/1 表示中

プロセス情報

案件番号: 000000000000000000000001

案件名: JavaEEサンプルプロセス

凡例: (赤) 待ち (青) 完了 (黄) 保留

start → 申請者 (待機中) → 第1次承認 (待機中) → 第2次承認 (待機中) → end

処理名	処理者	所属情報	結果	処理日	処理期間	コメント
申請者	香柳辰巳	サンプル課11	申請	2008/07/04		
第1次承認	特設課	サンプル課11	承認	2008/07/04		
第2次承認	サンプル課門01		待ち			

承認処理が実行されたことを確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

処理済案件一覧 (本人用)

一覧表示項目設定

絞り込み: [検索] [登録] [完了]

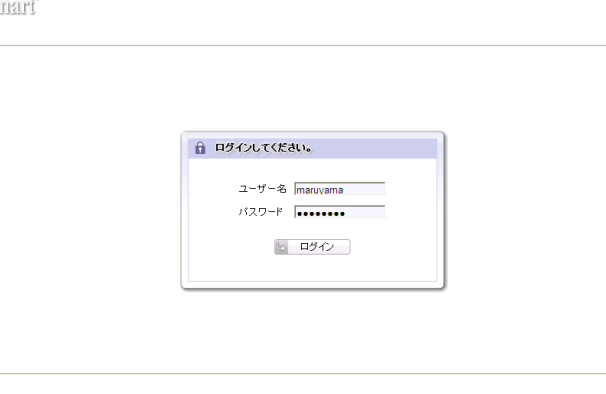
1-1/1 表示中

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	フロー	起票者	代理処理者	処理日	処理結果	状態	参照
000000000000000000000001	カスタムJavaEE開発モデル・ドキュメントワークフロー	JavaEEサンプルプロセス			香柳辰巳		2008/07/04	承認		

1-1/1 表示中

i) ログイン(上位組織のユーザ)

ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「maruyama」、パスワードに「maruyama」を入力し、ログインします。



ultra-mart

ログインしてください。

ユーザー名 maruyama

パスワード *****

ログイン

intra-mart ログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、処理可能な

案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「JavaEE サンプルプロセス」の[処理]を選択します。

[illegible]

[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。



 HOME
  MENU ON/OFF
  ? HELP

円山登男
  LOG
  OUT

CLOSE


 物品精算 - JavaE環境用モデル

 承認画面
 長ろ

 ユーザ設定
 ワークフロー
 マスタメンテナンス
 インポート/エクスポート

- 起票
- 起票済
- 未処理
- 処理済
- 参照
- 代理設定

 代理
 BPM
 サンプル
 FormatCreator
 イベントナビゲータ

品名

サンプル

数量

10

金額

1200

合計

12000

納品場所

サンプル

購入目的

サンプル実行

備考

備考

Copyright 2000-2008 株式会社 NTT データ イントラマート All rights Reserved.

承認画面の[審議内容]に承認を選択し、[審議]をクリックすると承認処理が実行されます。
承認処理が実行されると、後処理プログラムの中で BPM のプロセス(処理結果受信イベント)へ
処理結果が返却されます。

The screenshot shows the '審議情報' (Discussion Information) form. The '審議内容' (Discussion Content) field is highlighted with a red box and contains the text '承認'. The '審議' (Discuss) button is also circled in red. The '所属' (Department) dropdown menu is set to 'サンプル部門01'.

メニューより、[ワークフロー]->[処理済]を選択すると、ドキュメントワークフローの処理済案件一覧が表示されます。ここで、ドキュメントワークフローの承認処理が実行され、案件が終了したことを確認できます。

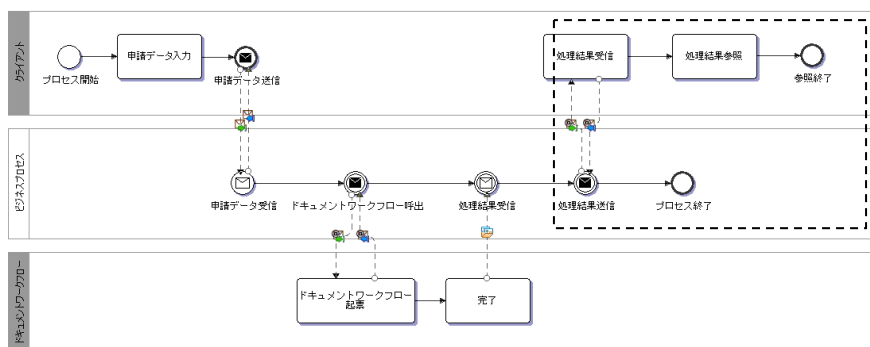
The screenshot shows the '処理済案件一覧(本人用)' (Completed Case List (For User)) screen. The '処理済' (Completed) button is circled in red. Below the button, a table displays the status of various cases.

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細フロー	起票者	代理処理者	処理日	処理結果	状態	引戻
00000000000000000001	カスタムJavaEE開発モデル・ドキュメントワークフロー	JavaEEサンプルプロセス	図	香柳辰巳		2008/07/04	承認	完了	

承認処理が実行されたことを確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

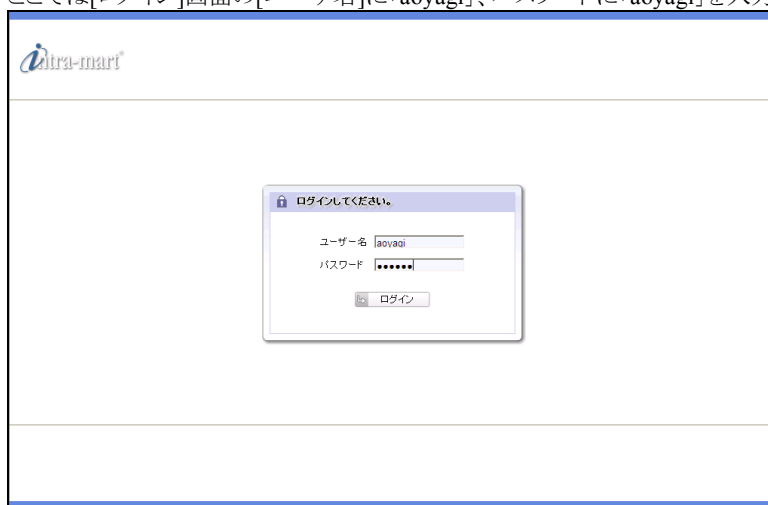
The screenshot shows the '処理済案件一覧(本人用)' (Completed Case List (For User)) screen. The 'LOG OUT' button is circled in red.

3. 承認結果確認



i) ログイン(起票ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



ii) 未処理案件の処理

メニューより、[BPM]->[通知]を選択すると、参照可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「【JavaEE 開発モデル】ワークフロー連携サンプル 処理結果参照」の[通知]を選択します。



[通知]を選択すると、下記の処理結果参照画面が表示されます。

処理結果を確認後、[確認]をクリックするとプロセスが終了します。

Ultra-mart

HOME MENU ON/OFF HELP

吾輩辰巳 LOG OUT

【JavaEE開発モデル】ワークフロー連携サンプル 処理結果参照

処理結果 実行は承認(正常終了)されました。

プロセス名 JavaEEサンプルプロセス

品名 サンプル

数量 10

金額 12000

合計 12000

納品場所 サンプル

購入目的 サンプル実行

備考

確認

2.1.3 ワークフロー連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)

2.1.3.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2 プロジェクトの作成」を参照ください。

2. WSDL ファイルの変更

1.でインポートしたサンプルの WSDL ファイルを変更します。変更が必要なファイルは以下のファイルです。

① WSDL ファイル

ワークスペース/ sample_im_workflow_script/ im_workflow_script.wsdl

上記 WSDL ファイルを開き、「%IWP_HTTP_ADDRESS%」をインストールした iWP/iAF のアドレスに変更、「%IWP_HTTP_PORT%」をインストールした iWP/iAF のポート番号に変更します。

なお、この WSDL ファイルは下記[intra-mart の WSDL ファイル格納場所]の場所にも同じものが配置されています。

- ◆ [intra-mart の WSDL ファイル格納場所]

% AppRuntime % /doc/imart/WEB-INF/services/im_bpms_samples/META-INF
・im_workflow_script.wsdl

3. build ファイルのコピー

ワークスペースの「build」ディレクトリより下記のファイルをイントラマートの Storage Service へコピーします。

- ◆ [BPM|Designer の build ファイル格納場所]

% BPM|Designer ワークスペース %/build

- ・ apply.xform.all.wsdl
- ・ apply.xform.xsd
- ・ im_workflow_script.wsdl
- ・ reference.xform.all.wsdl
- ・ reference.xform.xsd
- ・ ResultInfo.xsd
- ・ sample_im_workflow_script-process.wsdl

- ◆ [intra-mart の Storage Service ファイルコピー場所]

%Storage Service% /sample/bpms/workflow

スクリプト開発モデルではイントラマートの API SOAPClient を使用して処理結果を返却するクラスを WSDL ファイルより自動生成しています。その為、上記ファイルを Storage Service 上へコピーする必要があります。

- ◆ SOAPClient の仕様については intra-mart API リストを参照してください。

4. データマッピングの変更

1.でインポートしたサンプルのビジネス・プロセス・ダイアグラムファイルを変更します。変更が必要なファイルは以下のファイルです。

① ビジネス・プロセス・ダイアグラムファイル

ワークスペース/ sample_im_workflow_script/sample_im_workflow_script.bpm

sample_im_workflow_script.bpm ファイルを開き、「CallService」タスクを選択します。

メニューより、「ウィンドウ」→「ビューの表示」→「Mapper」を選択し、「CallService」タスクのマッピング情報を表示します。

Mapper ビューより、右の欄の以下の要素の値を変更します。

要素	値
endPoint	http://localhost:8080/ode/processes/sample_im_workflow_script/sample_im_workflow_script/process/service
wsdlPath	sample/bpms/workflow/sample_im_workflow_script-process.wsdl
serviceName	CanonicServiceForService

endPoint の「localhost:8080」の部分を実インストールした BPM サーバの環境に合わせて変更します。

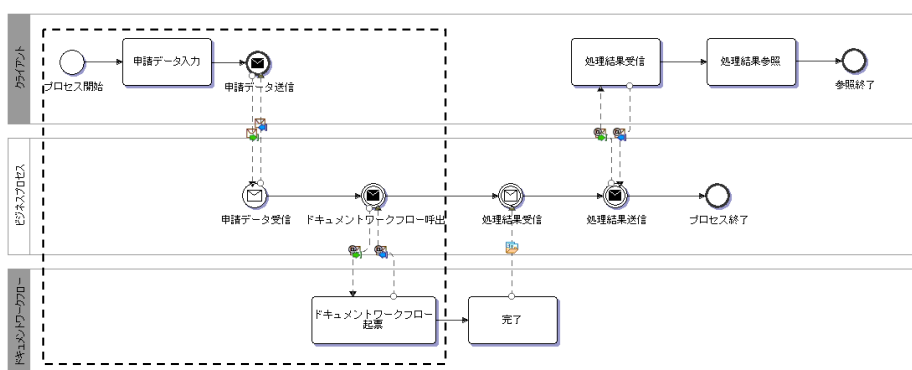
5. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。

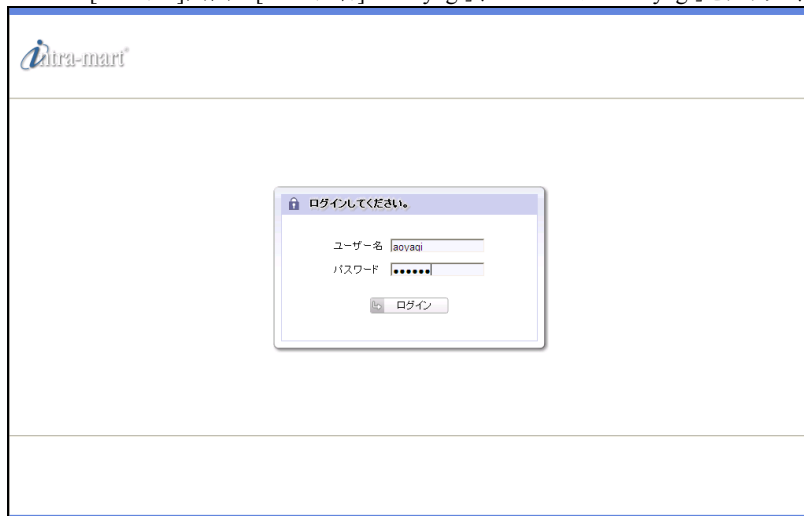
2.1.3.2 サンプルの実行手順

1. プロセスの開始(起票)



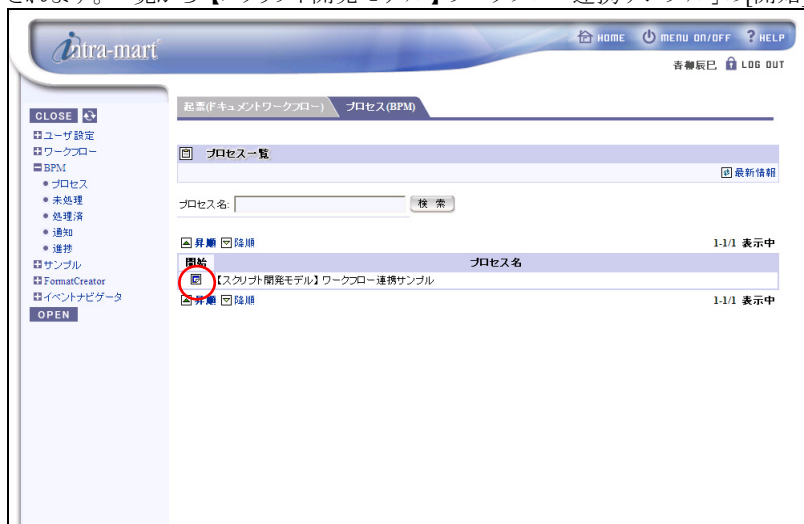
i) ログイン(一般ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。
ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。

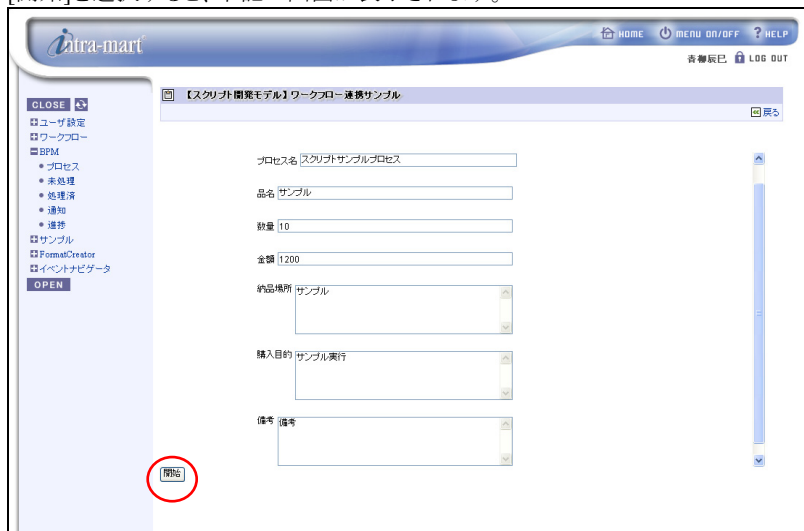


ii) プロセスの開始

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「【スクリプト開発モデル】ワークフロー連携サンプル」の[開始]を選択します。



[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。



下記内容を入力し、[開始]をクリックすると、プロセスが開始されます。

プロセスが開始されると、im_workflow サービスが呼び出され、ドキュメントワークフローの起票処理が実行されます。

項目	入力内容
process name	スクリプトサンプルプロセス
item name	サンプル
item amount	10
item price	1200
delivered place	サンプル
purchase purpose	サンプル実行
remarks	備考

メニューより、[ワークフロー]->[起票済]を選択すると、ドキュメントワークフローの起票済案件一覧が表示されます。ここで、プロセスが開始しドキュメントワークフローの起票処理が実行されたことを確認できます。

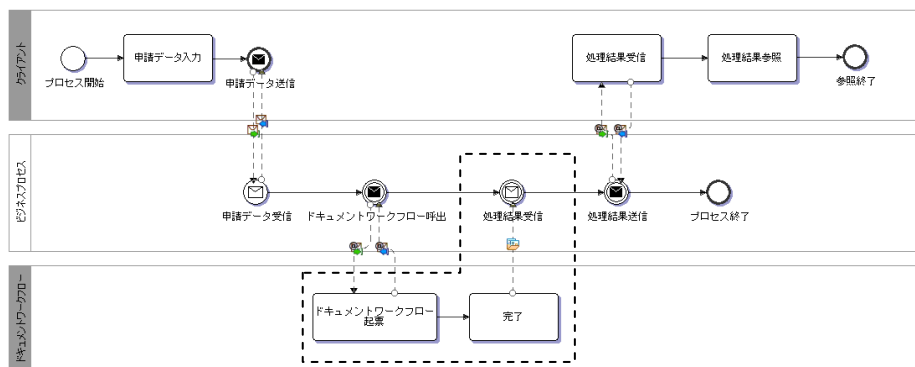
また、[フロー]をクリックするとドキュメントワークフローの承認フローを確認できます。

The screenshot shows the '起票済案件一覧' (Completed Cases) page in the intra-mart system. The page has a sidebar with navigation links like 'ユーザ設定', 'ワークフロー', 'カスタムテンプレート', 'インポートエクスポート', '起票', '未処理', '処理済', '参照', '代理設定', '代理', 'BPM', 'サンプル', 'FormatCreator', and 'イベントナビゲータ'. The main content area shows a table of cases. The selected case is 'カスタムスクリプト開発モデルドキュメントワークフロー1' with 'スクリプトサンプルプロセス' as the process name. The '詳細フロー' column is highlighted with a red circle. Below the table, a 'フロー情報' (Flow Information) window is open, showing a flowchart and a table of processing history.

プロセスの開始を確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

The screenshot shows the '起票済案件一覧' (Completed Cases) page in the intra-mart system. The 'LOG OUT' button in the top right corner is highlighted with a red circle. The page layout is the same as the previous screenshot, showing the sidebar, main content area with the case table, and the 'フロー情報' (Flow Information) window.

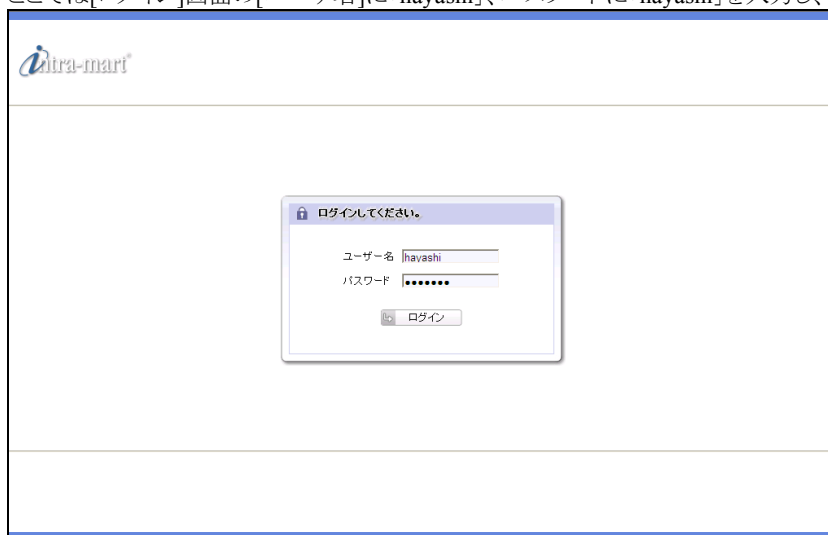
2. ドキュメントワークフロー承認



■ 第1承認者 承認処理

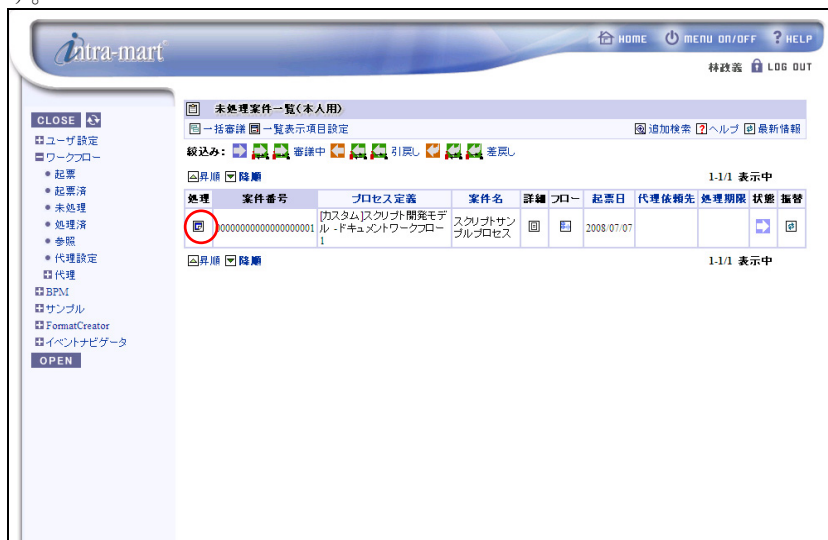
i) ログイン(所属組織のユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。
ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「hayashi」、パスワードに「hayashi」を入力し、ログインします。



ii) ドキュメントワークフロー承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、
処理可能な案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「スクリプトサンプルプロセス」の[処理]を選択します。



Atra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

林義典 LOG OUT

CLOSE

- ユーザ設定
- ワークフロー
 - 起草
 - 起草済
 - 未処理
 - 処理済
 - 参照
 - 代理設定
- 代理
- BPM
- サンプル
- FormatCreator
- イベントナビゲータ

OPEN

物品購買 - スクリプト開発モデル

承認画面

品名	サンプル
数量	10
金額	1200
合計	12000
納品場所	サンプル
購入目的	サンプル実行
備考	

承認画面の[審議内容]に承認を選択し、[審議]をクリックすると承認処理が実行されます。

Intra-mart

HOME MENU ON/OFF HELP

種別表示 LOG OUT

CLOSE

- ユーザ設定
- ワークフロー
 - 起草
 - 起草済
 - 未処理
 - 処理済
 - 参照
 - 代理設定
 - ☆代理
- BPM
- ☆サンプル
 - FormaCreator
 - ☆イベントナビゲータ

OPEN

詳細情報

フロー参照

案件名 スクリプトサンプルプロセス

申請者 香根辰巳

申請コメント

承認内容

承認者 香根辰巳

承認コメント

所属 サンプル課11

照会履歴

検索

削除

本文

[HOME](#)
[MENU](#)
[ON/OFF](#)
[?HELP](#)

[特設義](#)
[LOG OUT](#)

[CLOSE](#)

処理済案件一覧(本人用)
追加検索 ヘルプ 最新情報

一覧表示項目設定
絞り込み: 新規 更新中 完了

早期 延期
1-1/1 表示中

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	フロー	承認者	代理処理者	処理日	処理結果	状態	引戻
00000000000000000000000000000001	カスタムスクリプト開発サンプルイベントワークフロー-1	スクリプトサンプルプロセス	目	吉柳 辰巳			2008/07/07	承認	目	目

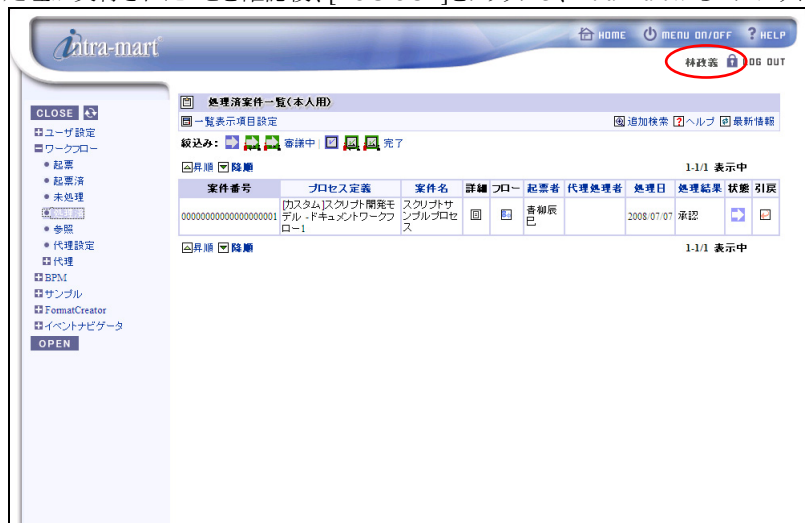
早期 延期
1-1/1 表示中

フロー情報
最新情報 詳細

案件番号 00000000000000000000000000000001
 案件名 スクリプトサンプルプロセス
 凡例: ○ (待機)→待機 ○ (実行)→完了 ○ (実行)→保留

処理日	処理者 (代理依頼元)	所属情報	結果	処理日	処理期間	コメント
申請者	森田 辰巳	サンプル課1	事務	2008/07/07		
第1承認者	特設義	サンプル課1	承認	2008/07/07		
第2承認者	サンプル部門01		待機			

承認処理が実行されたことを確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

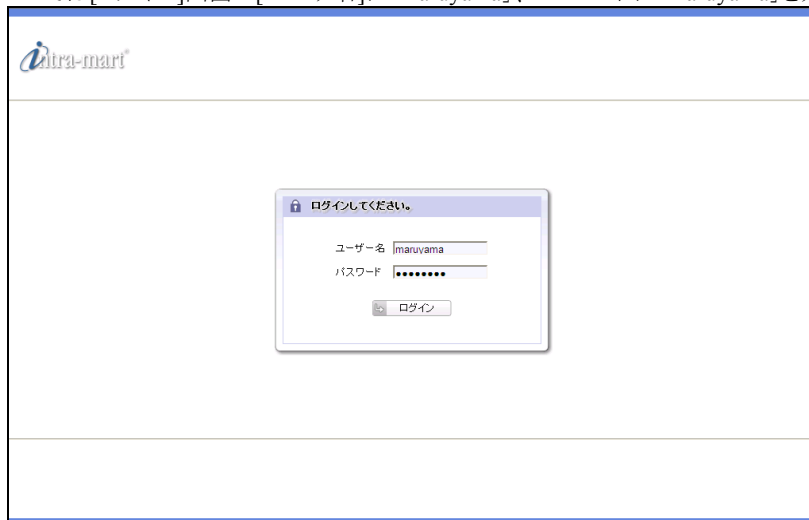


■ 第2 承認者 承認処理

i) ログイン(上位組織のユーザ)

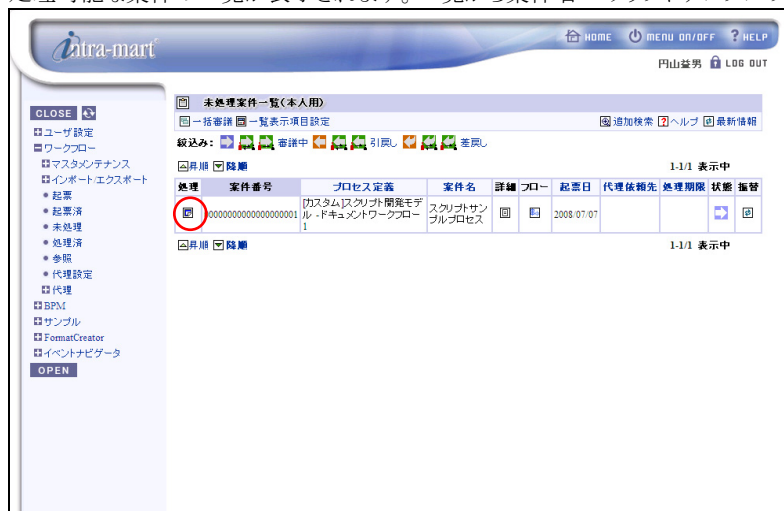
intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。

ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「maruyama」、パスワードに「maruyama」を入力し、ログインします。



ii) ドキュメントワークフロー承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、
処理可能な案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「スクリプトサンプルプロセス」の[処理]を選択します。



[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。



[承認画面]を選択すると、承認画面が表示されます。

承認画面の[審議内容]に承認を選択し、[審議]をクリックすると承認処理が実行されます。
承認処理が実行されると、後処理プログラムの中で BPM のプロセス(処理結果受信イベント)へ
処理結果が返却されます。



メニューより、[ワークフロー]->[処理済]を選択すると、ドキュメントワークフローの処理済案件一覧が表示されます。ここで、ドキュメントワークフローの承認処理が実行され、案件が終了したことを確認できます。

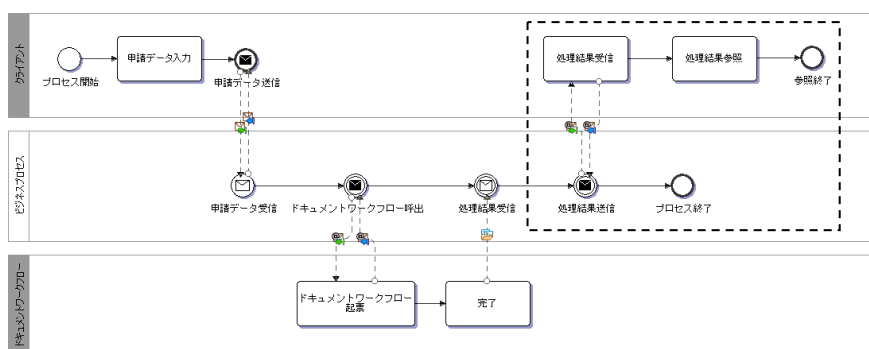
The screenshot shows the 'intra-mart' interface with the '処理済案件一覧(本人用)' (Completed Case List (Personal Use)) window. The left sidebar contains a menu with 'ワークフロー' (Workflow) and '処理済' (Completed) selected. The main area displays a table of cases. A red circle highlights the '承認' (Approval) button in the '処理済' column. Below the table, a 'プロセス情報' (Process Information) window is open, showing the workflow steps and a table of processing details.

処理名	処理者	所属情報	結果	処理日	処理期限	コメント
申請者	事務所	サンプル課11	申請	2008-07-07		
第1承認者	林政義	サンプル課11	承認	2008-07-07		
第2承認者	内山益男	サンプル課11	承認	2008-07-07		

承認処理が実行されたことを確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

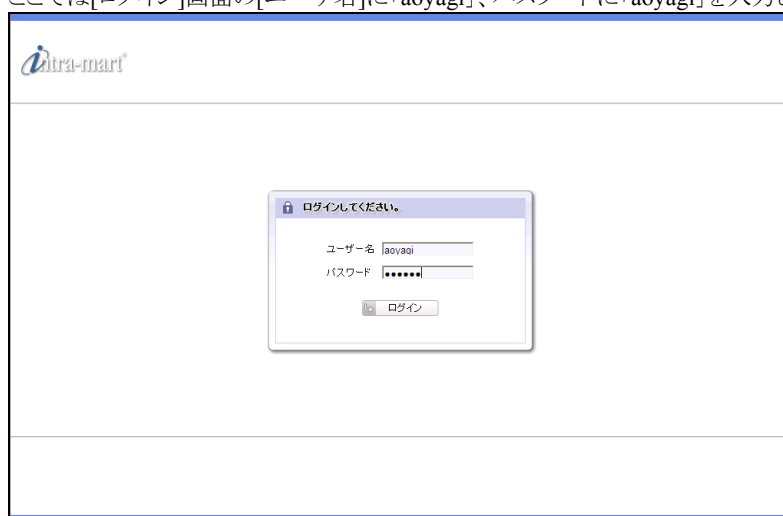
The screenshot shows the 'intra-mart' interface with the '処理済案件一覧(本人用)' (Completed Case List (Personal Use)) window. The left sidebar contains a menu with 'ワークフロー' (Workflow) and '処理済' (Completed) selected. The main area displays a table of cases. A red circle highlights the 'LOG OUT' button in the top right corner of the interface.

3. 承認結果確認



i) ログイン(起票ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



ii) 未処理案件の処理

メニューより、[BPM]->[通知]を選択すると、参照可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「【スクリプト開発モデル】ワークフロー連携サンプル 処理結果参照」の[通知]を選択します。



[通知]を選択すると、下記の処理結果参照画面が表示されます。

処理結果を確認後、[完了]をクリックするとプロセスが終了します。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF HELP

登録済み LOG OUT

【スクリプト関数モデル】ワークフロー連携サンプル 処理結果参照

処理結果 案件は承認(正常終了)されました。

プロセス名 スクリプトサンプルプロセス

品名 サンプル

数量 10

金額 1200

合計 12000

納品場所 サンプル

購入目的 サンプル実行

備考

完了

2.2 進捗通知サンプル

進捗通知サンプルについて解説します。進捗通知のサンプルは、BPM|Designer に同梱されており、以下の2つのプロジェクトが用意されています。

- 都度登録型の進捗通知サンプルプロジェクト
sample_notice_progress_eachtime_regist.zip
- 事前登録型の進捗通知サンプルプロジェクト
sample_notice_progress_preregist.zip

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に(※インストールする項目で「サンプル」を指定した場合のみ)、以下のフォルダに格納されます。

- ◆ [サンプルの格納場所]
%BPM|Designer% /samples

2.2.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート
[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。
◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、別冊「BPM|Designer 操作ガイド」の1章を参照ください。
2. WSDL ファイルの変更
1.でインポートしたサンプルの WSDL ファイルを変更します。変更が必要なファイルは以下のファイルです。
 - ② 都度登録型の WSDL ファイル
ワークスペース/ sample_notice_progress_eachtime_regist/ NoticeProgressEachTimeRegistService.wsdl
 - ③ 事前登録型の WSDL ファイル
ワークスペース/sample_notice_progress_preregist /NoticeProgressPreRegistService.wsdl

下記[intra-martの WSDL ファイル格納場所]より WSDL ファイル (NoticeProgressEachTimeRegistService.wsdl、NoticeProgressPreRegistService.wsdl) をコピーし、上記サンプルの WSDL ファイル(①都度登録型の WSDL ファイル、②事前登録型の WSDL ファイル)に上書きします。

- ◆ [intra-mart の WSDL ファイル格納場所]
% AppRuntime % /doc/imart/WEB-INF/services/im_bpms_notice/META-INF
 - ・NoticeProgressEachTimeRegistService.wsdl コピーして①へ上書き
 - ・NoticeProgressPreRegistService.wsdl コピーして②へ上書き

3. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、別冊「BPM|Designer 操作ガイド」の1章を参照ください。

4. Web サービスアクセス設定

進捗通知 Web サービスのオペレーションに実行権限を設定します。

- ◆ Web サービスアクセスの設定方法については、別冊「intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver7.0 グループ管理者操作ガイド」の「1.13 Web サービスアクセス設定」を参照ください。

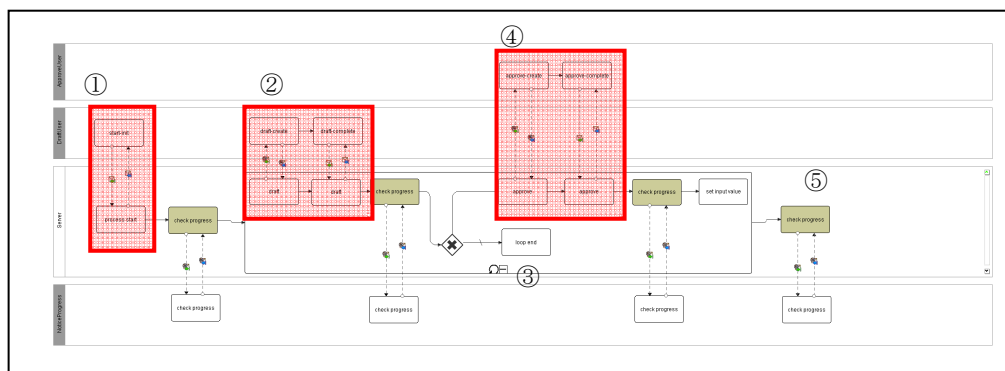
Web サービス	オペレーション	設定ロール
NoticeProgressEachTimeRegistService	registNoticeTask	guest
NoticeProgressPreRegistService	registAllNoticeTasks	guest
	updateNoticeTask	guest

※この設定はサンプルの動作確認用です。運用時には適切なロールを設定してください。

2.2.2 都度登録型

(1) ダイアグラムの説明

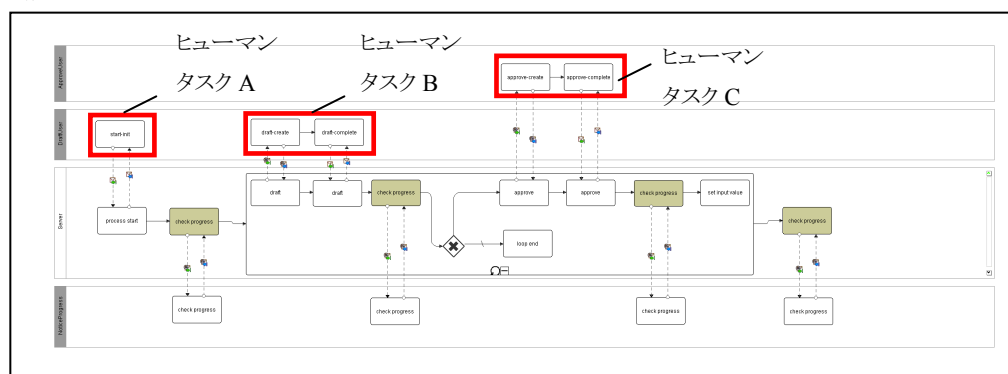
i) 概要



本サンプルのダイアグラムでは、物品購入時の起票から承認、差し戻しまでの処理を行っています。

まず、一般ユーザがプロセスを開始し、物品購入のための起票を行います(①→②)。購入する品が、一定の額を超えない場合は、上長ユーザの承認なしにプロセスは終了します(②→③→⑤)。一定額を超えた場合は、上長ユーザが内容を確認し、承認が行われます(②→④)。内容に問題がなければ、プロセスは終了します(④→⑤)。内容に問題がある場合は、一般ユーザへ差し戻しを行い、再度起票からやり直します。(④→②)

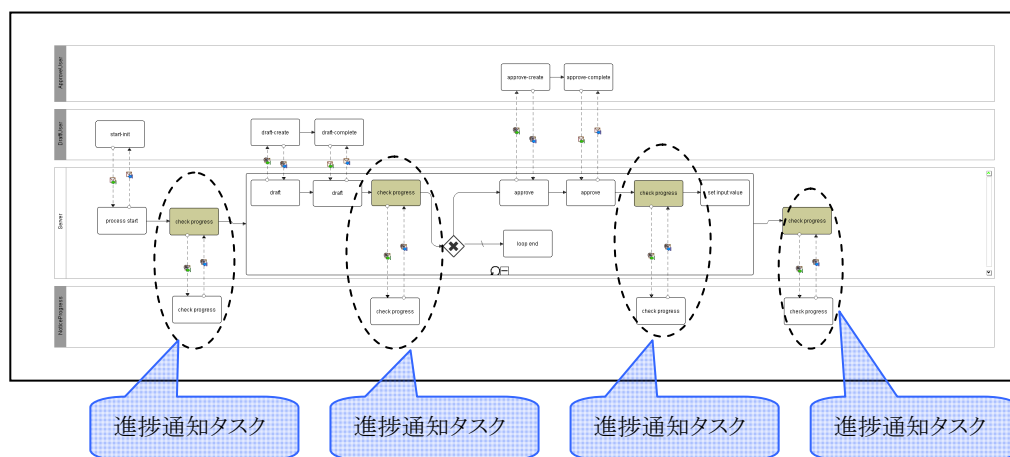
ii) 権限の設定



ダイアグラムの各ヒューマンタスクへの権限設定は、以下のように設定しています。

- ヒューマンタスク A : (ロール) level1
- ヒューマンタスク B : (ロール) level1
- ヒューマンタスク C : (ロール) level2

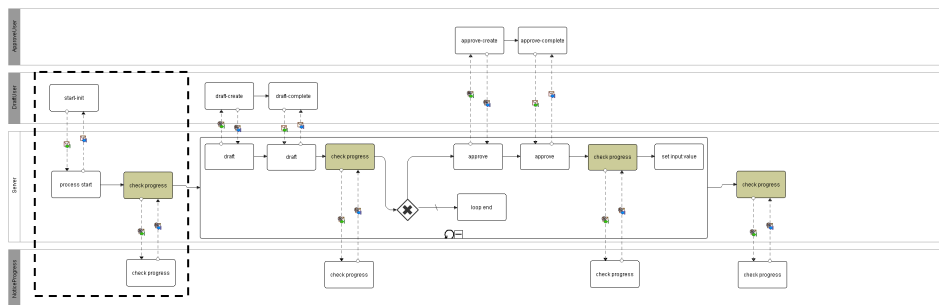
iii) 進捗状況の登録



本サンプルのダイアグラムでは、ヒューマンタスクの実行直後と、ループ処理終了直後に進捗通知タスクを配置しています。プロセスを開始した後、通知タスクが実行される都度、進捗情報が intra-mart の[bpms プロセステーブル]、[bpms 進捗通知タスクテーブル]、[bpms 処理ユーザテーブル]へ登録されます。

(2) サンプルの実行手順

■ プロセスの開始



i) ログイン(一般ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。[ログイン]画面の[ユーザ名]に「hagimoto」、パスワードに「hagimoto」を入力し、ログインします。

ii) プロセスの開始

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「No ticeProgressEachTimeRegistService Process Start」の[開始]を選択します。



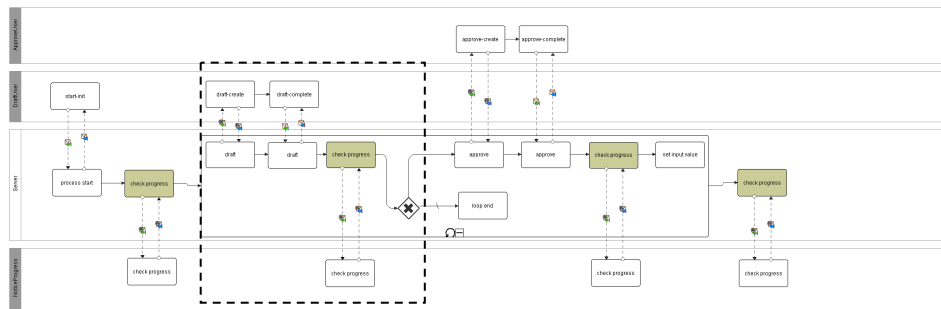
[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。画面の[process name]に「sample」と入力し、[開始]をクリックすると、プロセスが開始されます。



メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、プロセスの開始が完了したことを確認できます。



■ 案件の処理



iii) 未処理案件の処理

プロセス開始後、メニューより、[BPM]->[未処理]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「NoticeProgressEachTimeRegistService Process Draft」の[処理]を選択します。

未処理案件一覧(ドキュメントワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧 [最新情報](#)

案件名: 検索

昇順 降順 1-1/1 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
	2008/08/18 16:50		NoticeProgressEachTimeRegistService Draft

昇順 降順 1-1/1 表示中

[処理]を選択すると、下記の画面が表示されます。[item]に「computer」、[value]に「60000」を入力し、[完了]をクリックすると、次のタスクへ処理が進みます。([value]が「10000」未満であった場合は、そのままプロセスが完了します。)

メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、起票が完了したことを確認することができます。

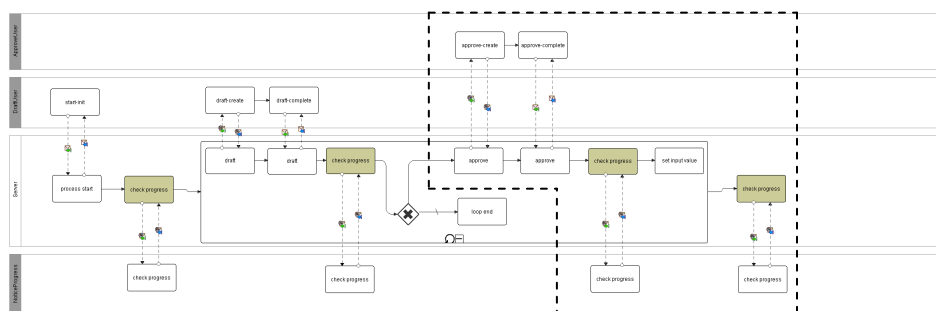
案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163840	業務プロセス	sample		2008/08/18 16:50	処理中

処理ID	処理名	ユーザ	処理日	状態
1	プロセス開始	秋本順子	2008/08/18 16:50	完了
2	起票	秋本順子	2008/08/18 17:06	完了

進捗状況を確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。



■ 承認とプロセスの終了




iv) ログイン(上長ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。[ユーザ名]は「harada」、パスワードは「harada」とします。

v) 承認または差し戻し

ログイン後、[BPM]->[未処理]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「NoticeProgressEachTimeRegistService Process Approve」の[処理]を選択します。

処理	依頼日	状態	案件名
	2008/08/18 17:06		NoticeProgressEachTimeRegistService Approve

[処理]を選択すると、下記の画面が表示されます。チェックボックスにチェックを入れ、[完了]をクリックすると、プロセスが完了します。(チェックボックスにチェックを入れずに[完了]をクリックした場合は、処理が「iii) 未処理案件の処理」に戻ります。)

NoticeProgressEachTimeRegistService Approve

process name: sample

item: computer

value: 60000

OK?

保留 一時保存 完了

メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、承認とプロセス終了が完了したことを確認することができます。

進捗一覧

昇順	降順	1-1/1 表示中			
案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163840	業務プロセス	sample	完了	2008/08/18 16:50	完了

1-1/1 表示中

進捗一覧 - 詳細情報 - Windows Internet Explorer

詳細情報

案件番号: 163840

案件名: sample

処理ID	処理名	ユーザ	処理日	状態
1	プロセス開始	萩本順子	2008/08/18 16:50	完了
2	起票	萩本順子	2008/08/18 17:06	完了
3	承認	原田浩二	2008/08/18 17:21	完了
4	プロセス終了	原田浩二	2008/08/18 17:21	完了

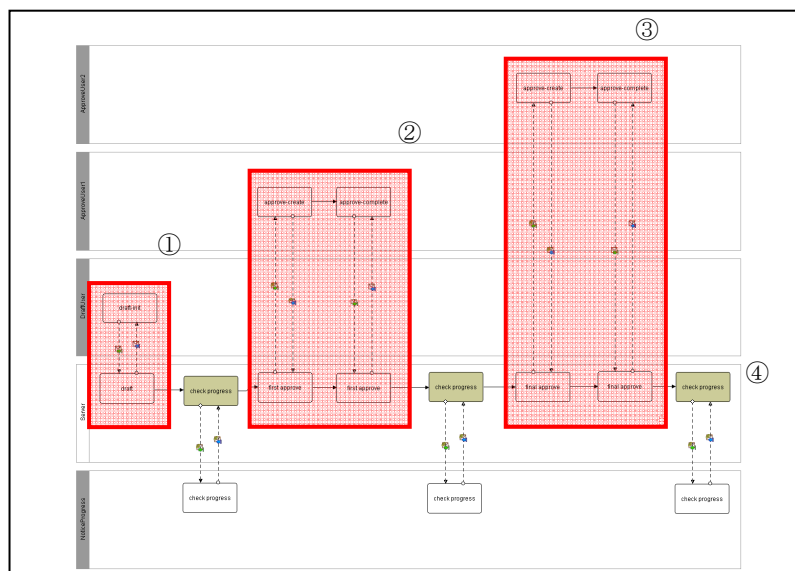
ページが表示されました

インターネット 100%

2.2.3 事前登録型

(1) ダイアグラムの説明

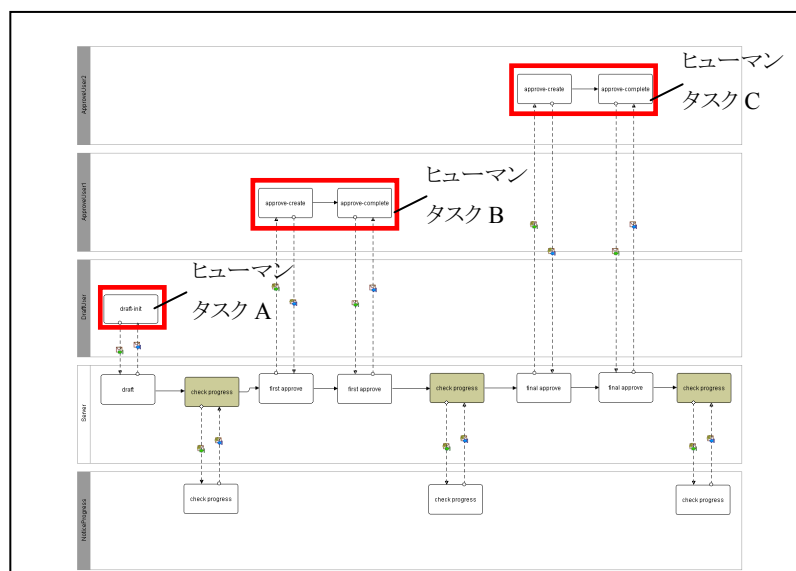
i) 概要



本サンプルのダイアグラムでは、物品購入時の起票から承認までの処理を行っています。

まず、一般ユーザが物品購入のための起票を行い、プロセスを開始します(①)。起票した内容は、上長ユーザにより、第一承認、最終承認が行われます(①→②→③)。最終承認が終わるとプロセスは完了します(③→④)。

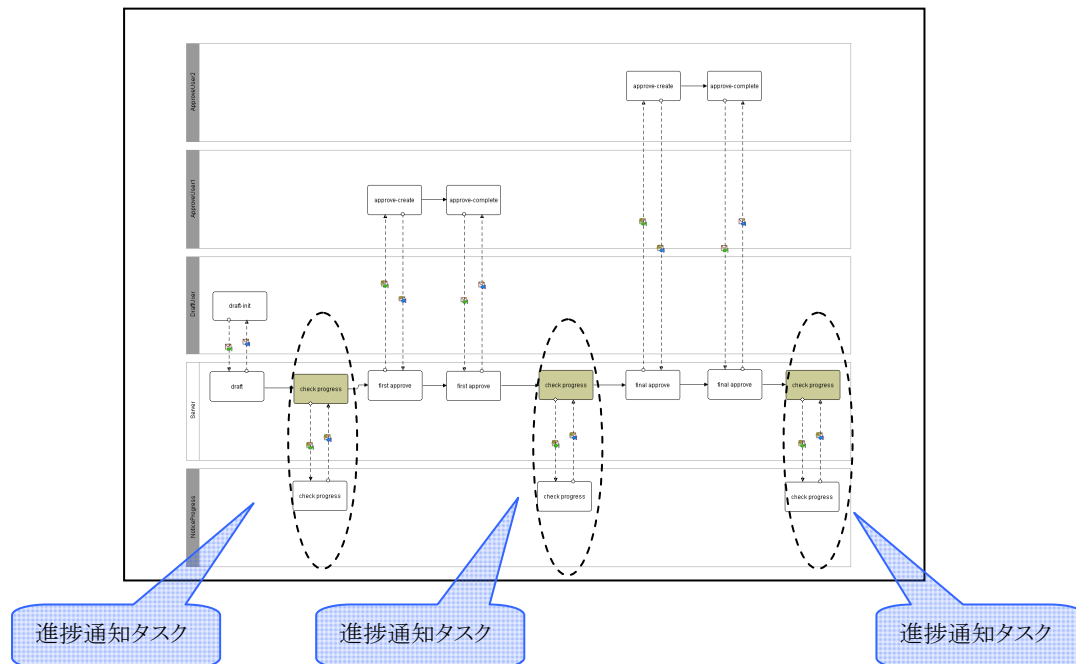
ii) 権限の設定



ダイアグラムの各ヒューマンタスクへの権限設定は、以下のように設定しています。

- ヒューマンタスク A : (ロール) level1
- ヒューマンタスク B : (ロール) level2
- ヒューマンタスク C : (ロール) level3

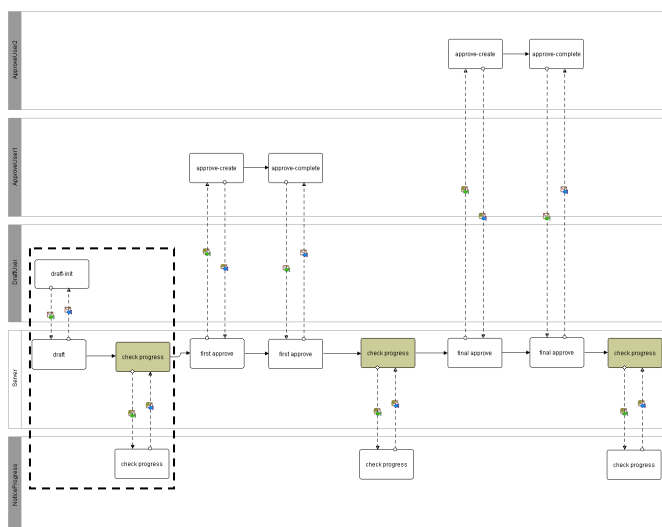
iii) 進捗状況の登録



本サンプルのダイアグラムでは、ヒューマンタスクの実行直後に進捗通知タスクを配置しています。プロセスを開始した後、最初の進捗通知タスクが実行された時に、全ての進捗情報が intra-mart の[bpms プロセステーブル]、[bpms 進捗通知タスクテーブル]、[bpms 処理ユーザテーブル]へ登録されます。その後、進捗通知タスクが実行される度に、登録された進捗状況が更新されます。

(2) サンプルの実行手順

■ プロセス開始と起票



i) ログイン(一般ユーザ)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。[ログイン]画面の[ユーザ名]に「hagimoto」、パスワードに「hagimoto」を入力し、ログインします。

ii) プロセスの開始と起票

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「NoticeProgressPreRegist Draft」の[開始]を選択します。



[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。[process name]に「sample」、[item]に「computer」、[value]に「60000」を入力し、[開始]をクリックすると、プロセスが開始されます。



メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、起票が完了したことを確認することができます。

The screenshot shows the 'intra-mart' web application interface. The top navigation bar includes 'HOME', 'MENU ON/OFF', and 'HELP'. The user is logged in as '森本順子' with a 'LOG OUT' link. The left sidebar contains a menu with 'CLOSE', 'ユーザ設定', 'ワークフロー', 'BPM' (with sub-items: プロセス, 未処理, 処理済, 通知, 進捗), 'サンプル', 'FormatCreator', and 'イベント'. The main content area displays the '進捗一覧' (Progress Overview) table, which lists two cases. The second case, 163843, is highlighted with a red circle around its '詳細' (Details) link. Below this, a '詳細情報' (Detailed Information) window is open for case 163843, showing a table of processing steps. The first step, '起票' (Ticketing), is highlighted with a red box and shows a status of '完了' (Completed).

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163840	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 16:50	完了
163843	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 17:40	処理中

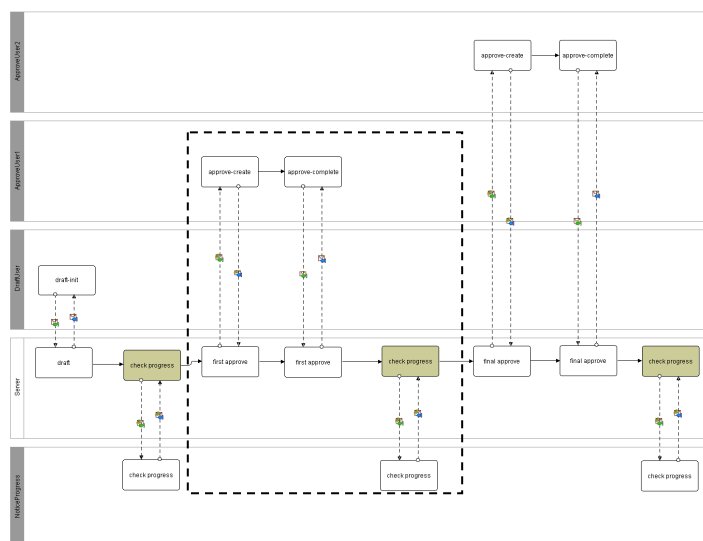
処理ID	処理名	ユーザ	処理日	状態
1	起票	森本順子	2008/08/18 17:40	完了
2	第一承認			未処理
3	最終承認			未処理

進捗状況を確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

This screenshot shows the same 'intra-mart' interface as the previous one, but the 'LOG OUT' link in the top right corner is now highlighted with a red circle. The '進捗一覧' table remains visible below it.

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163840	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 16:50	完了
163843	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 17:40	処理中

■ 承認(1回目)



iii) ログイン(上長ユーザ1)

intra-mart へのログインを行います。[ユーザ名]は「aoyagi」、パスワードは「aoyagi」とします。

The screenshot shows the intra-mart login interface. At the top left is the **intra-mart** logo. In the center, there is a login dialog box titled **ログインしてください。** (Please login).

The dialog box contains the following fields and controls:

- ユーザー名** (Username): A text input field containing the value **aoyagi**.
- パスワード** (Password): A password input field with masked characters (dots).
- ログイン** (Login): A button with a right-pointing arrow.

iv) 1 回目の承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[未処理]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「NoticeProgressPreRegist First Approve」の[処理]を選択します。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 青柳辰巳 LOG OUT

未処理案件一覧(ドキュメントワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧 最新情報

案件名: 検索

昇順 降順 1-1/1 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
<input checked="" type="checkbox"/>	2008/08/18 17:40		NoticeProgressPreRegist First Approve

昇順 降順 1-1/1 表示中

[処理]を選択すると、下記の画面が表示されます。[完了]をクリックすると、次のタスクへ処理が進みます。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 青柳辰巳 LOG OUT

NoticeProgressPreRegist First Approve 戻る

process name sample

item computer

value 60000

保留 一時保存 完了

メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、第一承認まで完了したことを確認することができます。

進捗一覧

検索 最新表示

昇順 降順 1-1/1 表示中

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163843	業務プロセス	sample	詳細	2008/08/18 17:40	処理中

昇順 降順 1-1/1 表示中

進捗一覧 - 詳細情報 - Windows Internet Explorer

詳細情報

閉じる

案件番号: 163843

案件名: sample

処理ID	処理名	ユーザ	処理日	状態
1	起票	萩本順子	2008/08/18 17:40	完了
2	第一承認	青柳辰巳	2008/08/18 17:57	完了
3	最終承認			未処理

ページが表示されました

インターネット 100%

進捗状況を確認後、[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

青柳辰巳 LOG OUT

進捗一覧

検索 最新表示

昇順 降順 1-1/1 表示中

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163843	業務プロセス	sample	詳細	2008/08/18 17:40	処理中

昇順 降順 1-1/1 表示中

CLOSE

ユーザ設定

ワークフロー

BPM

- プロセス
- 未処理
- 処理済
- 通知
- 進捗

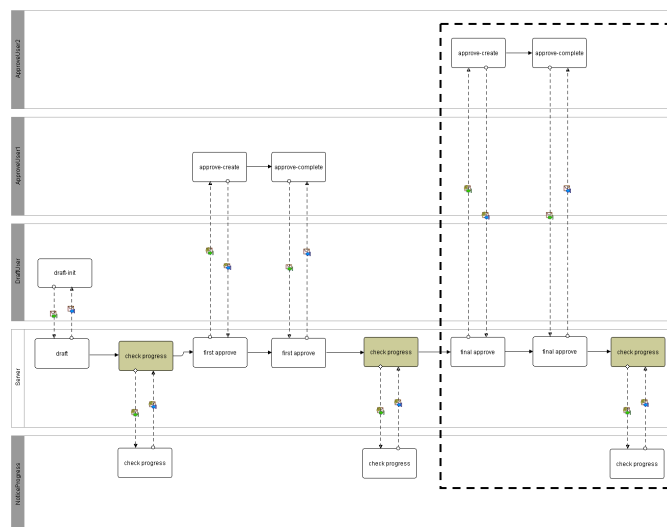
サンプル

FormatCreator

イベントナビゲータ

OPEN

■ 承認(最終)とプロセスの終了



v) ログイン(上長ユーザ2)

intra-mart へのログインを行います。[ユーザ名]は「harada」、パスワードは「harada」とします。

vi) 最終承認

intra-mart ログイン後、メニューより、[BPM]->[未処理]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「NoticeProgressPreRegist Final Approve」の[処理]を選択します。

未処理案件一覧(ドキュメントワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧

最新情報

案件名: 検索

昇順 降順 1-1/1 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
	2008/08/18 17:57		NoticeProgressPreRegist Final Approve

昇順 降順 1-1/1 表示中

[処理]を選択すると、下記の画面が表示されます。[完了]をクリックすると、プロセスが完了します。

NoticeProgressPreRegist Final Approve

戻る

process name

item

value

保留 一時保存 完了

メニューより、[BPM]->[進捗]を選択すると、進捗状況が表示されます。ここで、最終承認が終了し、プロセスが完了したことを確認することができます。

The screenshot displays the Intra-mart web application interface. The top navigation bar includes links for HOME, MENU ON/OFF, and HELP. The user is logged in as 原田浩二 (Hirohito Harada) and can LOG OUT.

On the left sidebar, the menu structure is as follows:

- CLOSE
- ユーザ設定 (User Settings)
- ワークフロー (Workflow)
- BPM
 - プロセス (Process)
 - 未処理 (Pending)
 - 処理済 (Completed)
 - 通知 (Notification)
 - 進捗 (Progress)
- サンプル (Sample)
- FormatCreator
- イベントナビゲータ (Event Navigator)

The main content area shows the '進捗一覧' (Progress Overview) screen. It includes a search bar and a table of progress items. The table has columns for Case Number, Process Definition, Case Name, Details, Start Date, and Status. Two items are listed, both with a status of '完了' (Completed).

案件番号	プロセス定義	案件名	詳細	開始日	状態
163840	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 16:50	完了
163843	業務プロセス	sample	回	2008/08/18 17:40	完了

A red arrow points from the '回' (times) column of the second row to the '進捗一覧 - 詳細情報' (Progress Overview - Detailed Information) window. This window shows the detailed progress for case number 163843. It includes a table of processing steps:

処理ID	処理名	ユーザ	処理日	状態
1	起票	森本順子	2008/08/18 17:40	完了
2	第一承認	青柳辰巳	2008/08/18 17:57	完了
3	最終承認	原田浩二	2008/08/18 18:09	完了

The third row of the processing steps table is highlighted with a red border, indicating the final approval step.

2.3 Intra-mart画面連携サンプル

Intra-mart 画面連携サンプルについて解説します。

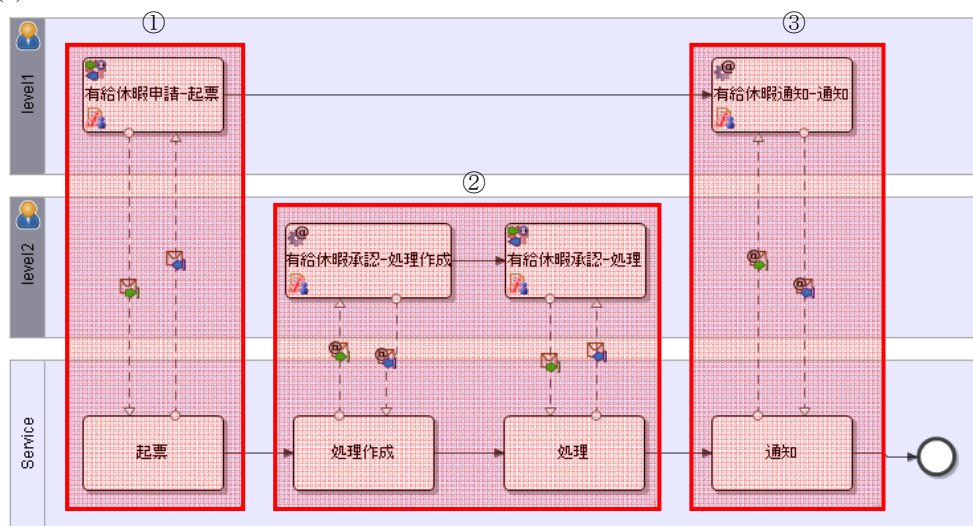
本サンプルは、BPM|Designer に同梱されており、以下のプロジェクトが用意されています。

- Intra-mart 画面連携サンプルプロジェクト(JavaEE 開発モデル)
sample_im_form_javaee.zip
- Intra-mart 画面連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)
sample_im_form_script.zip
- Intra-mart 画面連携サンプルプロジェクト(Maskat 開発モデル)
sample_im_form_maskat.zip

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に (※インストールする項目で「samples」を指定した場合のみ) インストールされます。

2.3.1 サンプルの説明

(1) 概要



本サンプルのダイアグラムでは、画面 (JavaEE、スクリプト、Maskat) と連携し申請の起票から承認、確認までの処理を行っています。

まず、申請者 (Level1) がプロセスを開始します (①)。

プロセスが開始されると、承認者 (Level2) の未処理一覧へ申請内容が起票されます (②)。

承認者が申請内容を見て承認結果を登録すると処理結果が申請者の元へ通知され、申請者が処理結果を参照できるようになり、プロセスは終了します (③)。

(2) タスクの処理権限

本サンプルではタスクが属するプールの処理権限が下記のように割り当てられています。

・ 申請者プール (Level1)

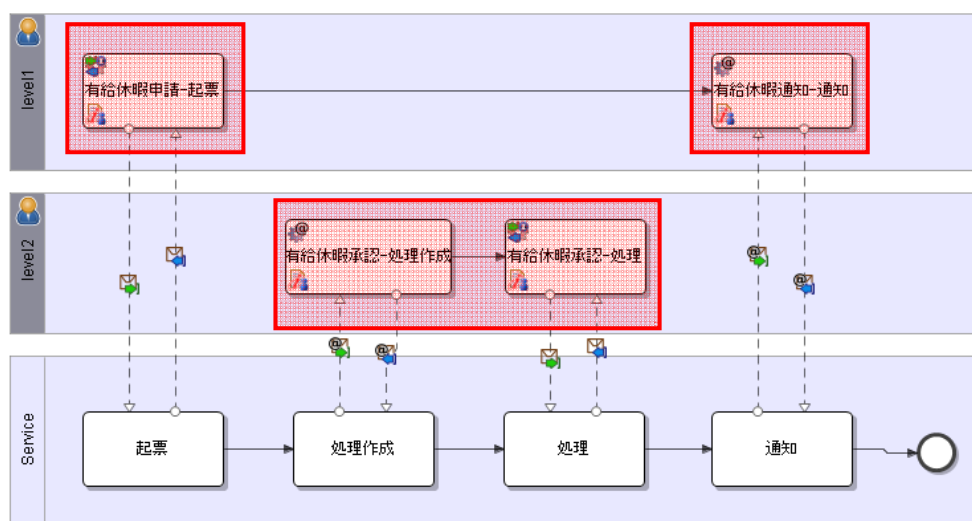
タスク名	設定権限
申請－起票 (initial)	【ロール】レベル1ユーザ
結果通知－通知 (notification)	【ロール】レベル1ユーザ

・ 承認者プール (Level2)

タスク名	設定権限
承認－処理作成 (activity)	【ロール】レベル2ユーザ
承認－処理 (activity)	【ロール】レベル2ユーザ

(3) サンプルの特徴

各サンプルは処理フローは同じですが、画面(申請・承認・通知)の開発方法がそれぞれ異なります。



それぞれの特徴は以下のとおりです。

i) JavaEE 開発モデル

Servlet、JSP、EJB などから構成され、MVC モデルで構築された開発モデル。

ii) スクリプト開発モデル

HTML と(サーバサイド)JavaScript を利用して構築された開発モデル。

iii) Maskat 開発モデル

画面作成に Maskat を使用し、MVC モデルで構築された開発モデル。

2.3.2 Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(JavaEE開発モデル)

2.3.2.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

[サンプルプロジェクトの格納場所]

`%BPM|Designer% /samples/sample_im_form_javaee.zip`

[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2.1 操作手順」を参照ください。

2. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。

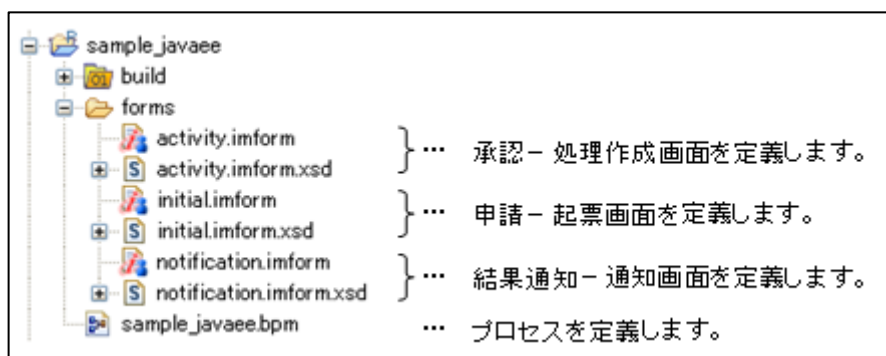
2.3.2.2 サンプルの詳細

- (1) ファイル構成

本サンプルのファイル構成は以下の通りです。

- iv) プロジェクト。

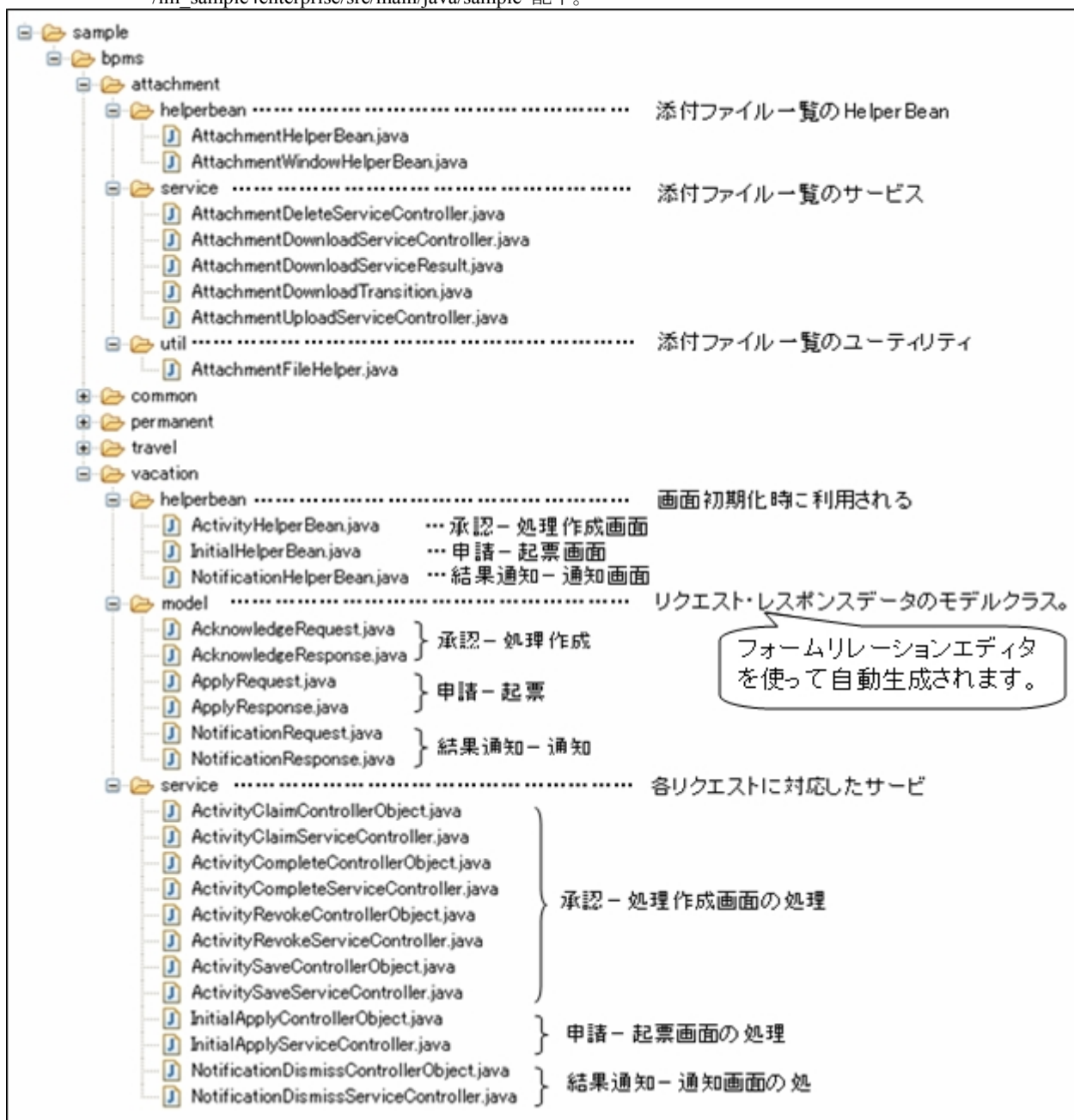
BPM|Designer へインポートされたサンプルプロジェクト。



v) 処理

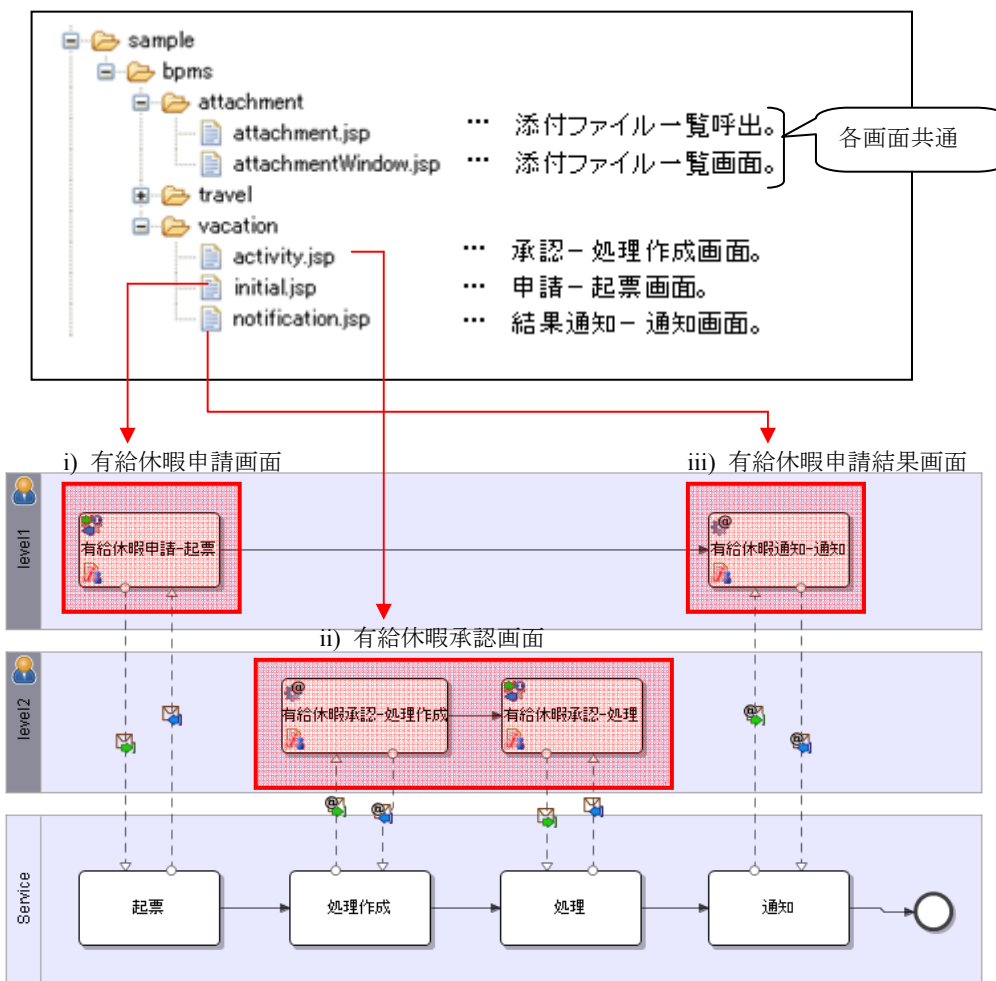
エクスプローラで本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動し、/iwp_iaf/src/im_sample4enterprise-src.zip のアーカイブファイルを解凍します。

/im_sample4enterprise/src/main/java/sample 配下。



vi) 画面

% AppRuntime %/doc/imart/sample 配下



(2) 画面構成

画面項目とリレーションフォームは以下のように対応します。

vii) 有給休暇申請画面

① 申請者	上田辰男
② 所属	サンプル会社 / サンプル部門02 / サンプル課22
③ 申請日	2008/07/11
④ 期間(必須)	<input type="text"/> - <input type="text"/>
⑤ 種別(必須)	有給 欠勤 特別休暇 慶弔休暇
⑥ 事由(必須)	<input type="text"/>
⑦ 連絡先(必須)	<input type="text"/>

リレーションフォーム(initial)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect

viii)有給休暇承認画面

① 申請者	上田辰男	⑧ 承認者	青柳辰巳
② 所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22	⑨ 所属	サンプル会社/サンプル部門01/サンプル課11
③ 申請日	2008/07/11	⑩ 承認日	2008/07/11
④ 期間	2008/07/14 - 2008/07/16	⑪ 承認	<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 否認
⑤ 種別	有給	⑫ コメント	<div></div>
	私用のため		
⑥ 事由			
⑦ 連絡先	03-1234-5678		

リレーションフォーム(activity)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属(申請者)	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect
8	承認者	acknowledge : userName
9	所属(承認者)	acknowledge : userAttach
10	承認日	acknowledge : acknowledgeDate
11	承認	acknowledge : approve
12	コメント	acknowledge : comment

ix) 有給休暇申請結果画面

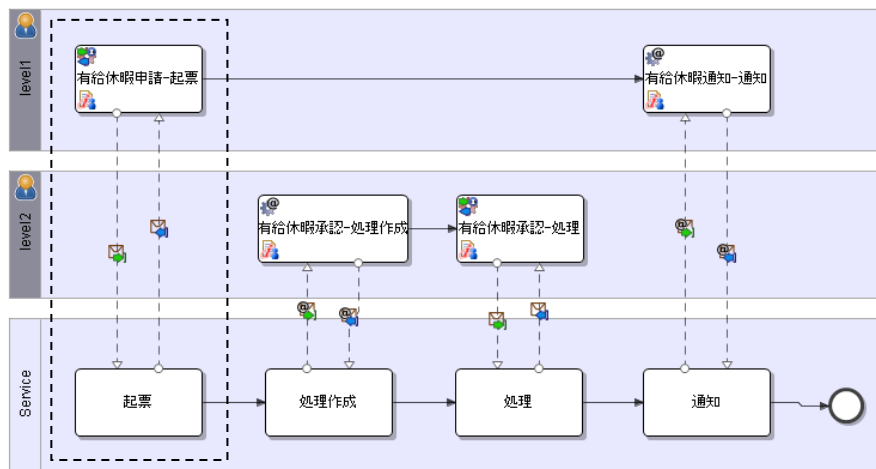
①	申請者	上田辰男	⑧	承認者	青柳辰巳
②	所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22	⑨	所属	サンプル会社/サンプル部門01/サンプル課11
③	申請日	2008/07/11	⑩	承認日	2008/07/11
④	期間	2008/07/14 - 2008/07/16	⑪	承認	承認
⑤	種別	有給	⑫	コメント 了承しました。	
⑥	事由	私用のため			
⑦	連絡先	03-1234-5678			

リレーションフォーム(notification)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属(申請者)	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect
8	承認者	acknowledge : userName
9	所属(承認者)	acknowledge : userAttach
10	承認日	acknowledge : acknowledgeDate
11	承認	acknowledge : approve
12	コメント	acknowledge : comment

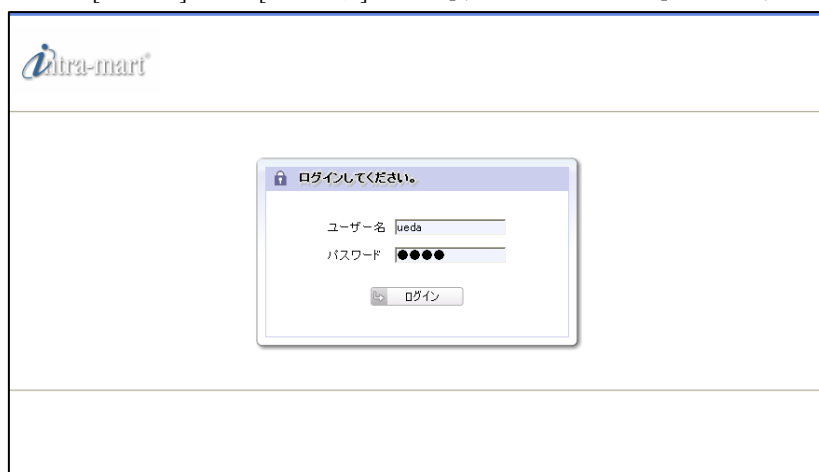
2.3.2.3 サンプルの実行手順

1. プロセスの開始(申請起票)



i) ログイン(申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。



ii) プロセスの開始

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「有給休暇申請 - JavaEE 開発モデル」の[開始]を選択します。



[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 上田辰男 LOG OUT

有給休暇申請 - JavaEE開発モデル 添付ファイル(0) 戻る

申請者	上田辰男
所属	サンプル会社 / サンプル部門02 / サンプル課22
申請日	2008/07/11
期間(必須)	2008/07/11 - 2008/07/11
種別(必須)	有給 欠勤 特別休暇 慶弔休暇
事由(必須)	
連絡先(必須)	

申請

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルが添付できます。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 上田辰男 LOG OUT

有給休暇申請 - JavaEE開発モデル 添付ファイル(0) 戻る

添付ファイル一覧 最新情報 閉じる

ファイル	C:\tmp\休暇予定表.txt	参照...
別名	休暇予定表	

登録

ファイル	削除
休暇予定表	

ページが表示 100%

申請内容を入力し、[申請]をクリックすると、申請処理が開始されます。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 上田辰男 LOG OUT

有給休暇申請 - JavaEE開発モデル 添付ファイル(0) 戻る

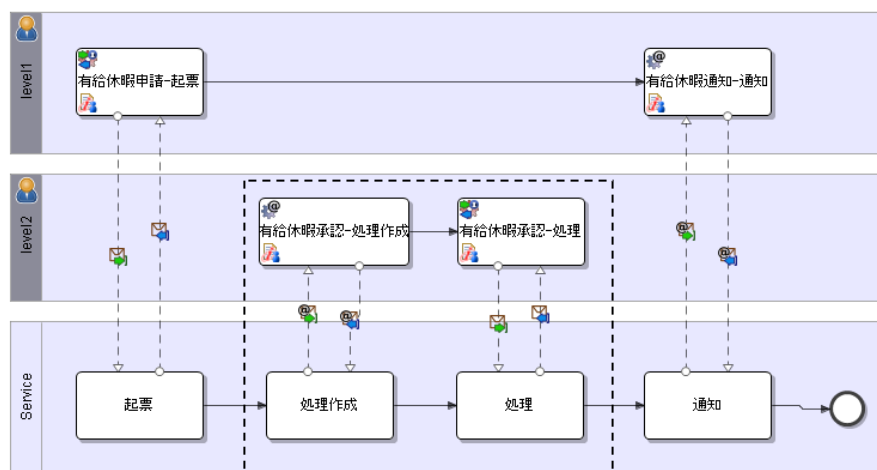
申請者	上田辰男
所属	サンプル会社 / サンプル部門02 / サンプル課22
申請日	2008/07/11
期間(必須)	2008/07/14 - 2008/07/16
種別(必須)	有給 欠勤 特別休暇 慶弔休暇
事由(必須)	私用のため
連絡先(必須)	03-1234-5678

申請

申請処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。申請内容は承認者の未処理一覧へ起票されます。
[LOG OUT]をクリックし、intramart からログアウトします。

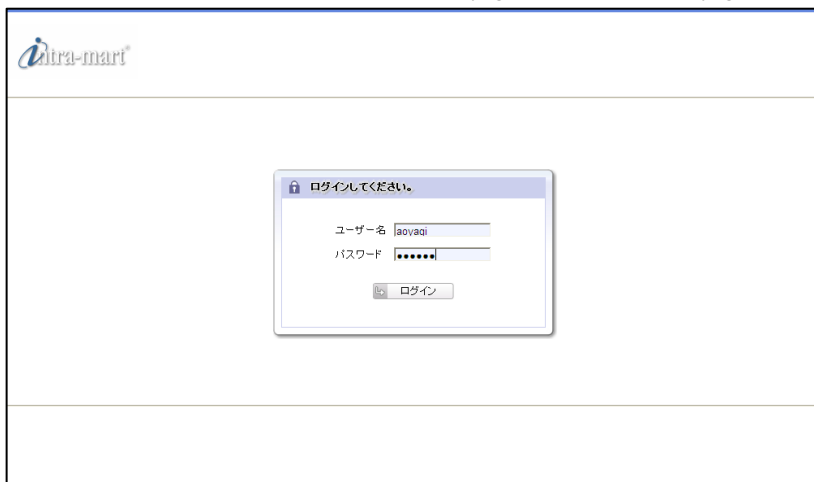


2. 承認処理



i) ログイン(承認者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。
ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



ii) 有給休暇承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「有給休暇承認 - JavaEE 開発モデル」の[処理]を選択します。



処理	依頼日	状態	案件名
処理	2008/07/11 17:53	未処理	有給休暇承認 - JavaEE 開発モデル

[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳辰巳 LOG OUT

CLOSE

ユーザ設定

ワークフロー

BPM

プロセス

未処理

処理済

通知

進捗

サンプル

FormatCreator

イベントナビゲータ

OPEN

有給休暇承認 - JavaEE開発モデル

添付ファイル(1)

戻る

申請者	上田 辰男	承認者	吉柳辰巳
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22	所属	サンプル会社 サンプル部門01 サンプル課11
申請日	2008/07/11	承認日	2008/07/11
期間	2008/07/14 - 2008/07/16	承認	<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 否認
種別	有給	コメント	
事由	私用のため		
連絡先	03-1234-5678		

保留 一時保存 完了

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルを参照できます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳辰巳 LOG OUT

CLOSE

ユーザ設定

ワークフロー

BPM

プロセス

未処理

処理済

通知

進捗

サンプル

FormatCreator

イベントナビゲータ

OPEN

有給休暇承認 - JavaEE開発モデル

添付ファイル(1)

戻る

添付ファイル一覧

最新情報 閉じる

ファイル	別名
休明予定表	

登録

参照

ファイル

インターネット 100%

承認可否とコメントを入力し、[完了]をクリックすると、承認処理が実行されます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳辰巳 LOG OUT

CLOSE

ユーザ設定

ワークフロー

BPM

プロセス

未処理

処理済

通知

進捗

サンプル

FormatCreator

イベントナビゲータ

OPEN

有給休暇承認 - JavaEE開発モデル

添付ファイル(1)

戻る

申請者	上田 辰男	承認者	吉柳辰巳
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22	所属	サンプル会社 サンプル部門01 サンプル課11
申請日	2008/07/11	承認日	2008/07/11
期間	2008/07/14 - 2008/07/16	承認	<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 否認
種別	有給	コメント	了承しました。
事由	私用のため		
連絡先	03-1234-5678		

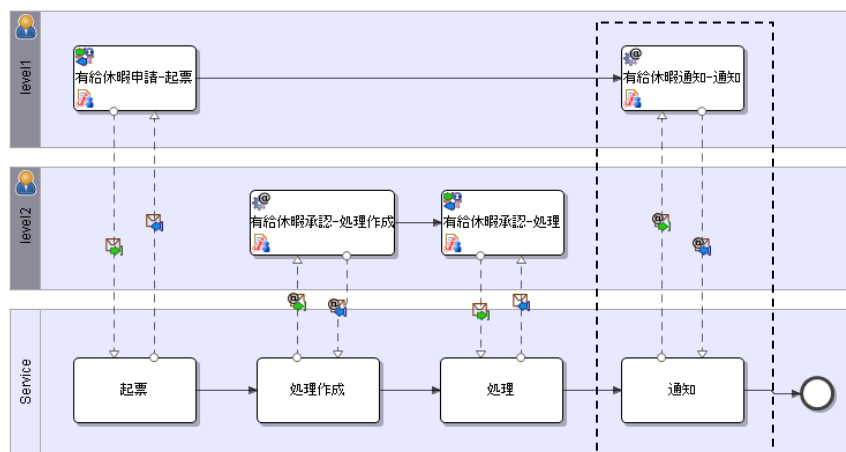
保留 一時保存 完了

承認処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。承認内容は申請者へ通知されます。

[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。



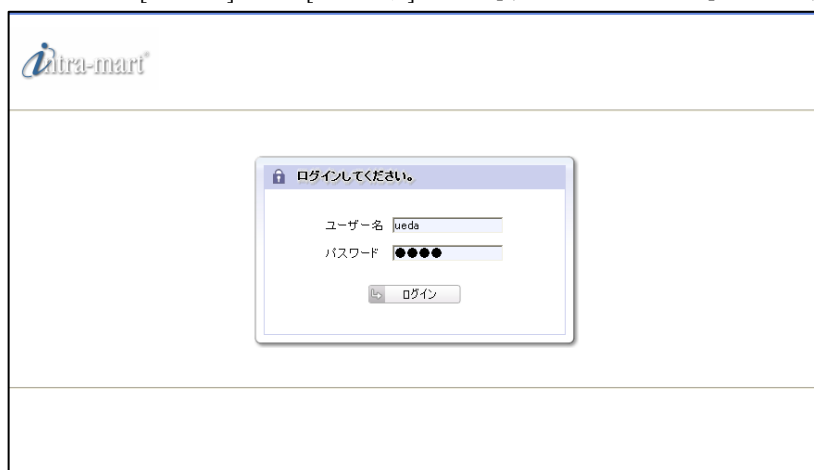
承認結果確認 (通知)



i) ログイン (申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。

ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。



ii) 未処理案件の処理

メニューより、[BPM]->[通知]を選択すると、参照可能なプロセスの一覧が表示されます。
一覧から「有給休暇通知 - JavaEE 開発モデル」の[通知]を選択します。



[通知]を選択すると、下記の申請結果画面が表示されます。
申請結果を確認後、[確認]をクリックするとプロセスが終了します。



2.3.3 Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(スクリプト開発モデル)

2.3.3.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

[サンプルプロジェクトの格納場所]

`%BPM|Designer% /samples/sample_im_form_script.zip`

[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2.1 操作手順」を参照ください。

2. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。

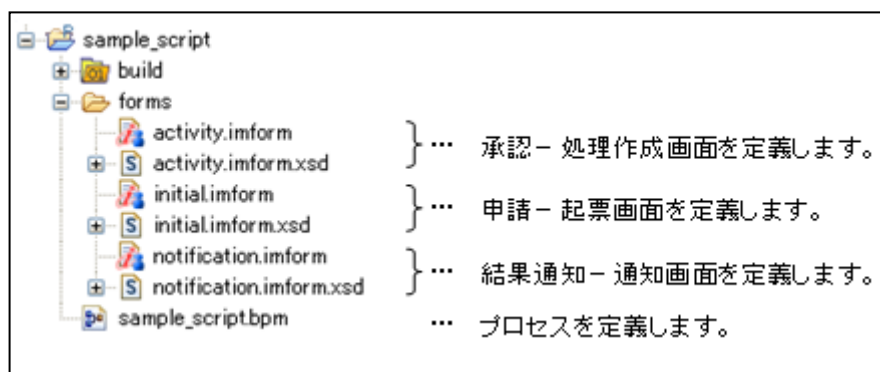
2.3.3.2 サンプルの詳細

- (1) ファイル構成

本サンプルのファイル構成は以下の通りです。

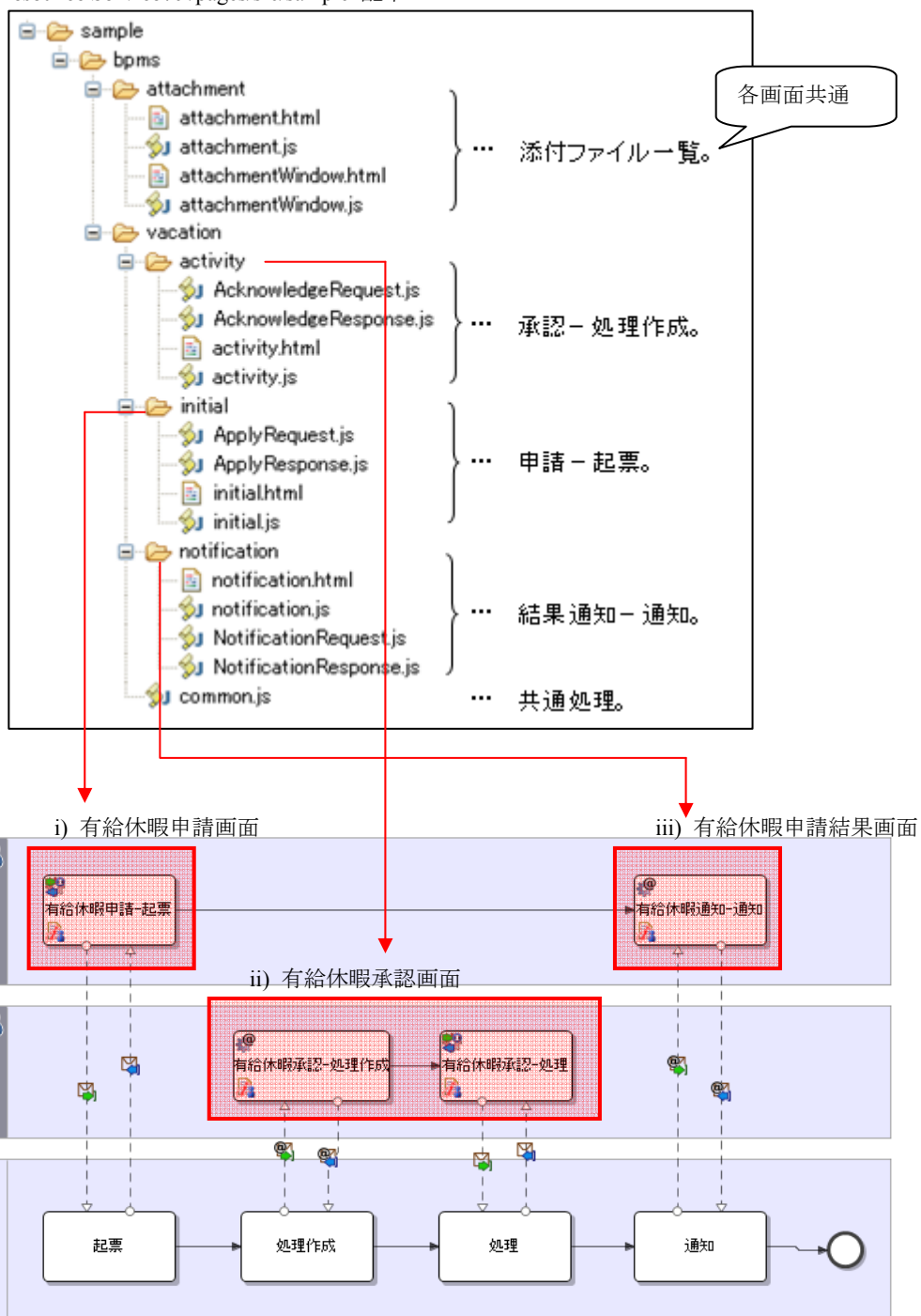
- i) プロジェクト。

BPM|Designer へインポートされたサンプルプロジェクト。



ii) 画面・処理

%Resource Service% /pages/src/sample 配下



(2) 画面構成

画面項目とリレーションフォームは以下のように対応します。

iii) 有給休暇申請画面

①	申請者	上田辰男
②	所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22
③	申請日	2008/07/11
④	期間	-
⑤	種別(必須)	有給 欠勤 特別休暇 慶弔休暇
⑥	事由(必須)	<div></div>
⑦	連絡先(必須)	<div></div>

リレーションフォーム(initial)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect

iv) 有給休暇承認画面

①	申請者	上田辰男	⑧	承認者	青柳辰巳
②	所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22	⑨	所属	サンプル会社/サンプル部門01/サンプル課11
③	申請日	2008/07/11	⑩	承認日	2008/07/11
④	期間	2008/07/11 - 2008/07/11	⑪	承認(必須)	<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 否認
⑤	種別	特別休暇	⑫	コメント(必須)	<div></div>
⑥	事由	休暇のため			
⑦	連絡先	xxxxxホテル 62-123-456789			

リレーションフォーム(activity)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属(申請者)	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect
8	承認者	acknowledge : userName
9	所属(承認者)	acknowledge : userAttach
10	承認日	acknowledge : acknowledgeDate
11	承認	acknowledge : approve
12	コメント	acknowledge : comment

v) 有給休暇申請結果画面

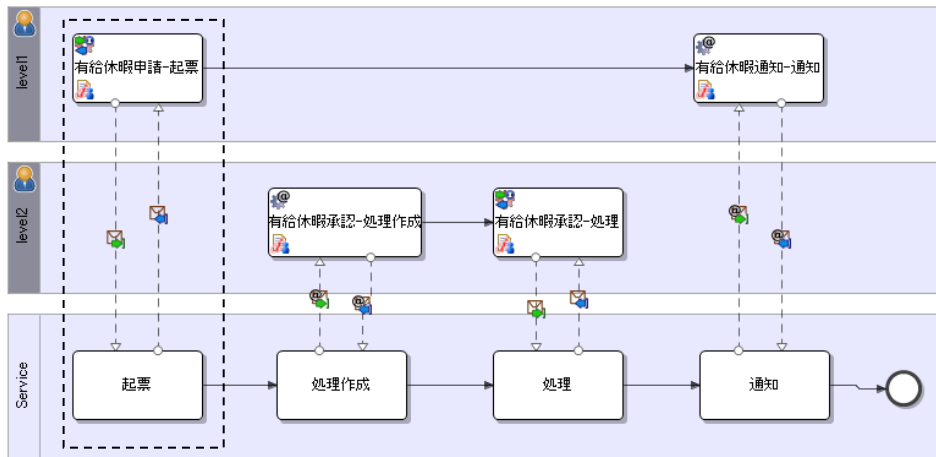
①	申請者	上田辰男	⑧	承認者	青柳辰巳
②	所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22	⑨	所属	サンプル会社/サンプル部門01/サンプル課11
③	申請日	2008/07/11	⑩	承認日	2008/07/11
④	期間	2008/07/11 - 2008/07/11	⑪	承認	否認
⑤	種別	特別休暇	⑫	検討した結果認められない。	
⑥	事由	休暇のため			
⑦	連絡先	XXXXXホテル 62-123-456789			

リレーションフォーム(notification)との対応

1	申請者	apply : userName
2	所属(申請者)	apply : userAttach
3	申請日	apply : applyDate
4	期間(開始) 期間(終了)	apply : vacationStartDate apply : vacationEndDate
5	種別	apply : types
6	事由	apply : reason
7	連絡先	apply : conect
8	承認者	acknowledge : userName
9	所属(承認者)	acknowledge : userAttach
10	承認日	acknowledge : acknowledgeDate
11	承認	acknowledge : approve
12	コメント	acknowledge : comment

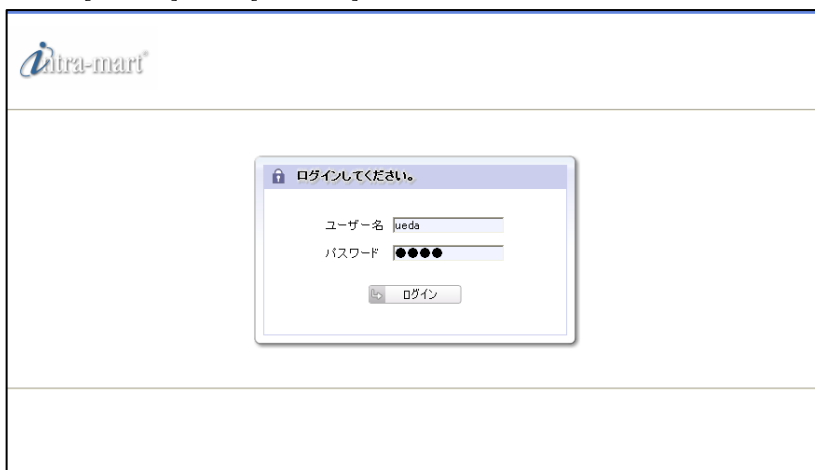
2.3.3.3 サンプルの実行手順

1. プロセスの開始(申請起票)



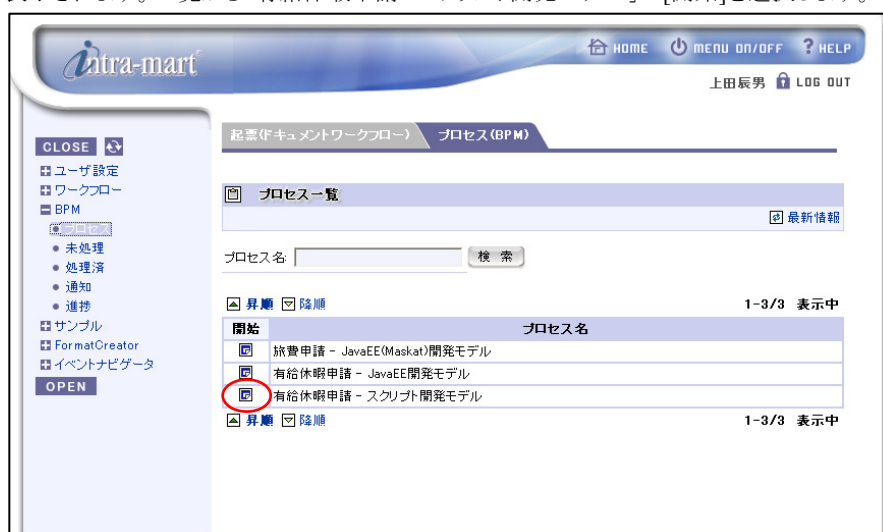
i) ログイン(申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。



ii) プロセスの開始

intra-mart ログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「有給休暇申請 - スクリプト開発モデル」の[開始]を選択します。

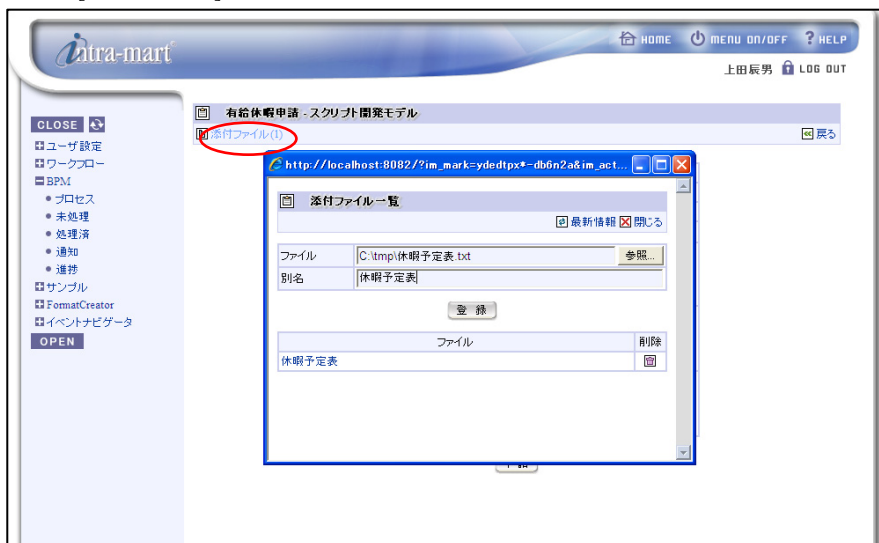


[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。

申請者	上田 辰男
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22
申請日	2008/07/11
期間	<input style="width: 100px;" type="text" value=" - "/>
種別(必須)	有給 欠勤 特別休暇 慶弔休暇
事由(必須)	<input style="width: 150px;" type="text"/>
連絡先(必須)	<input style="width: 150px;" type="text"/>

申請

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルが添付できます。



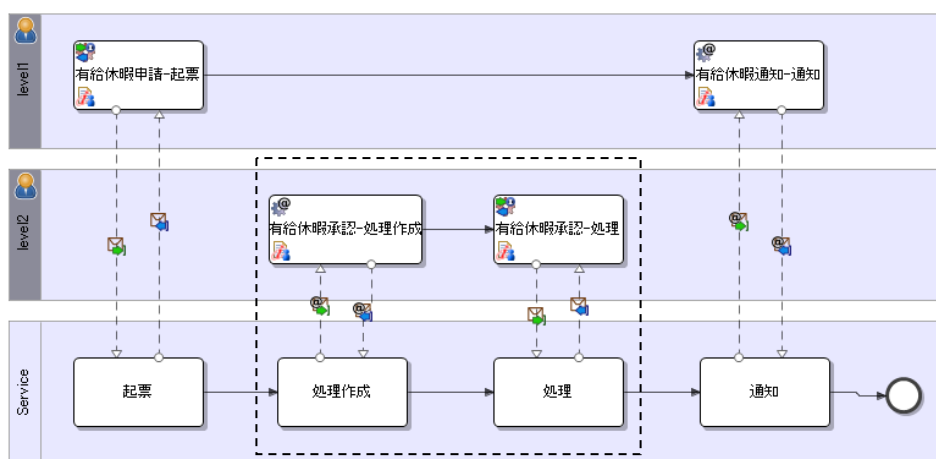
申請内容を入力し、[申請]をクリックすると、申請処理が開始されます。



申請処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。申請内容は承認者の未処理一覧へ起票されます。
[LOG OUT]をクリックし、intramart からログアウトします。

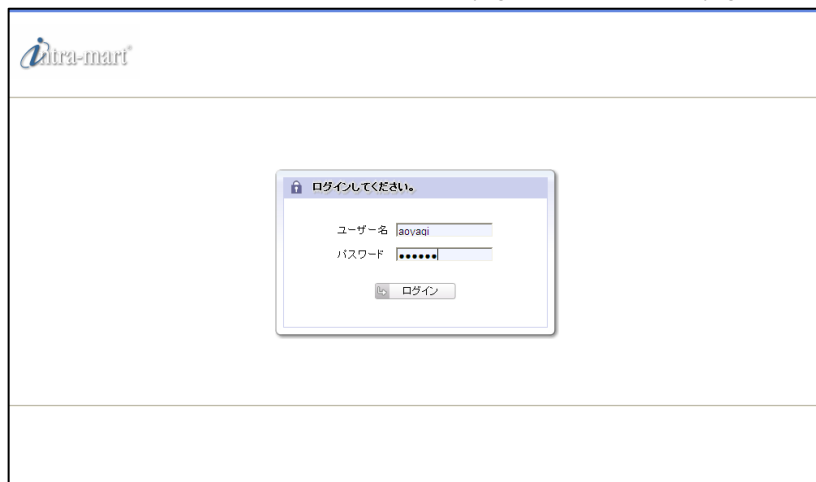


2. 承認処理



i) ログイン(承認者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。
ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



ii) 有給休暇承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。

一覧から案件名「有給休暇承認 - スクリプト開発モデル」の[処理]を選択します。



案件名	依頼日	状態	案件名
有給休暇承認 - スクリプト開発モデル	2008/07/11 20:10		有給休暇承認 - スクリプト開発モデル

[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳辰巳 LOG OUT

GLOSE

ユーザ設定
ワークフロー
BPM
プロセス
未処理
処理済
通知
進捗
サンプル
FormatCreator
イベントナビゲータ
OPEN

有給休暇承認 - スクリプト閲覧モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者	上田辰男	承認者	吉柳辰巳
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22	所属	サンプル会社 サンプル部門01 サンプル課11
申請日	2008/07/11	承認日	2008/07/11
期間	2008/07/11 - 2008/07/11	承認(必須)	<input checked="" type="radio"/> 承認 <input type="radio"/> 否認
種別	特別休暇	コメント(必須)	
事由	休暇のため		
連絡先	xxxxxxモデル 62-123-456789		

保留 一時保存 完了

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルを参照できます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳辰巳 LOG OUT

GLOSE

ユーザ設定
ワークフロー
BPM
プロセス
未処理
処理済
通知
進捗
サンプル
FormatCreator
イベントナビゲータ
OPEN

有給休暇承認 - スクリプト閲覧モデル

添付ファイル(1) 戻る

http://localhost:8082/?im_mark=evqkh9*-eroku&im_fro...

添付ファイル一覧

最新情報 開じる

ファイル	別名
休暇予定表	ファイル

登録 参照...

承認可否とコメントを入力し、[完了]をクリックすると、承認処理が実行されます。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳 辰巳 LOG OUT

有給休暇承認 - スクリプト開発モデル

添付ファイル(1)

申請者	上田 辰男	承認者	吉柳 辰巳
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22	所属	サンプル会社 サンプル部門01 サンプル課11
申請日	2008/07/11	承認日	2008/07/11
期間	2008/07/11 - 2008/07/11	承認(必須)	<input type="radio"/> 承認 <input checked="" type="radio"/> 否認
種別	特別休暇	コメント(必須)	検討した結果承認されない。
事由	休暇のため		
連絡先	xxxxxホテル 62-123-456789		

保存 一時保存 **完了**

承認処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。承認内容は申請者へ通知されます。
[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

吉柳 辰巳 **LOG OUT**

未処理案件一覧(プロセスワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧

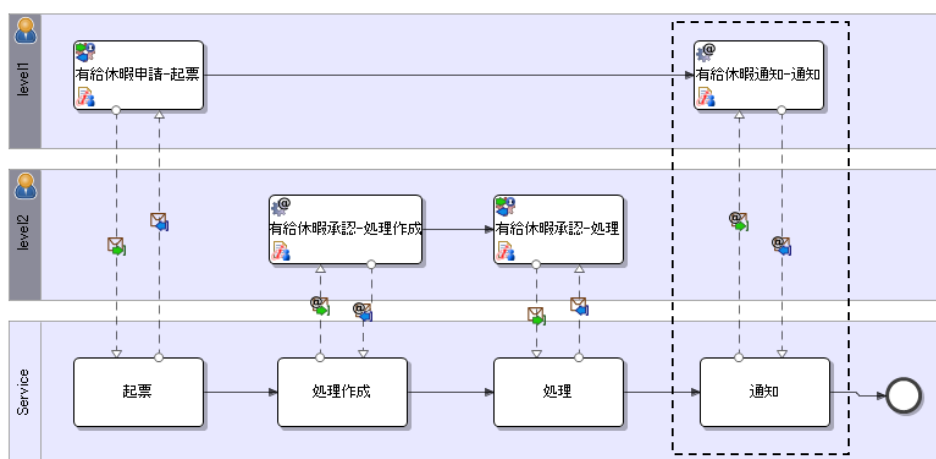
最新情報

案件名: 検索

昇順 降順 0-0/0 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
昇順 降順			0-0/0 表示中

3. 承認結果確認(通知)



i) ログイン(申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。

The screenshot shows the 'intra-mart' login interface. A central dialog box titled 'ログインしてください。' (Please login.) contains the following fields and buttons:

- ユーザー名 (Username):** A text input field containing 'ueda'.
- パスワード (Password):** A password input field with four dots, containing 'ueda'.
- ログイン (Login):** A button to submit the login information.

ii) 未処理案件の処理

メニューより、[BPM]->[通知]を選択すると、参照可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「有給休暇通知 - スクリプト開発モデル」の[通知]を選択します。

The screenshot shows the 'intra-mart' BPM notification screen. The left sidebar contains a menu with '通知' (Notification) selected. The main content area displays a table of notifications.

通知	案件名	通知日
有給休暇通知 - スクリプト開発モデル		2008/07/11 20:39

The '通知' button in the sidebar is circled in red. The table shows one notification entry with the title '有給休暇通知 - スクリプト開発モデル' and the date '2008/07/11 20:39'.

[通知]を選択すると、下記の申請結果画面が表示されます。

申請結果を確認後、[確認]をクリックするとプロセスが終了します。

The screenshot shows the '有給休暇申請結果 - スクリプト開発モデル' (Paid Leave Application Result - Script Development Model) page. The left sidebar contains navigation links like 'CLOSE', 'ユーザ設定', 'ワークフロー', 'BPM', 'プロセス', '未処理', '処理済', '通知', '進捗', 'サンプル', 'FormatCreator', and 'イベントナビゲータ'. The main content area displays a table with application details.

有給休暇申請結果 - スクリプト開発モデル	
申請者	上田 辰男
所属	サンプル会社 サンプル部門02 サンプル課22
申請日	2008/07/11
期間	2008/07/11 - 2008/07/11
種別	特別休暇
事由	休暇のため
連絡先	xxxxxx本モデル 62-123-456789
承認者	吉田 辰巳
所属	サンプル会社 サンプル部門01 サンプル課11
承認日	2008/07/11
承認	否認
コメント	検討した結果認められない。

At the bottom center of the table, there is a red circle containing the text '確認' (Confirm).

2.3.4 Intra-mart画面連携サンプルプロジェクト(Maskat開発モデル)

2.3.4.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

[サンプルプロジェクトの格納場所]

`%BPM|Designer% /samples/sample_im_form_maskat.zip`

[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2.1 操作手順」を参照ください。

2. サンプルプロジェクトのデプロイ

インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。

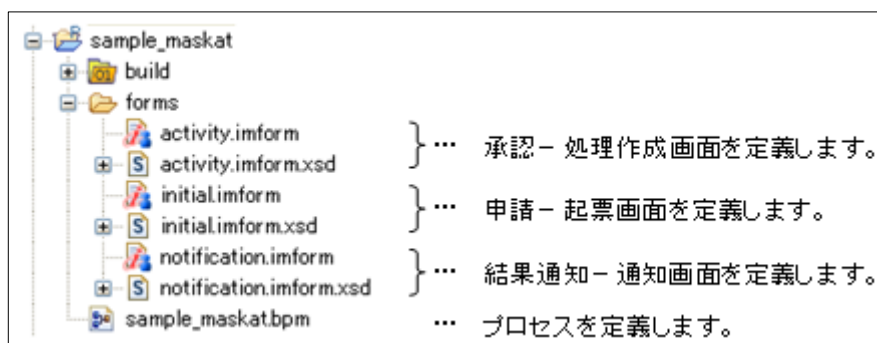
2.3.4.2 サンプルの詳細

(1) ファイル構成

本サンプルのファイル構成は以下の通りです。

i) プロジェクト。

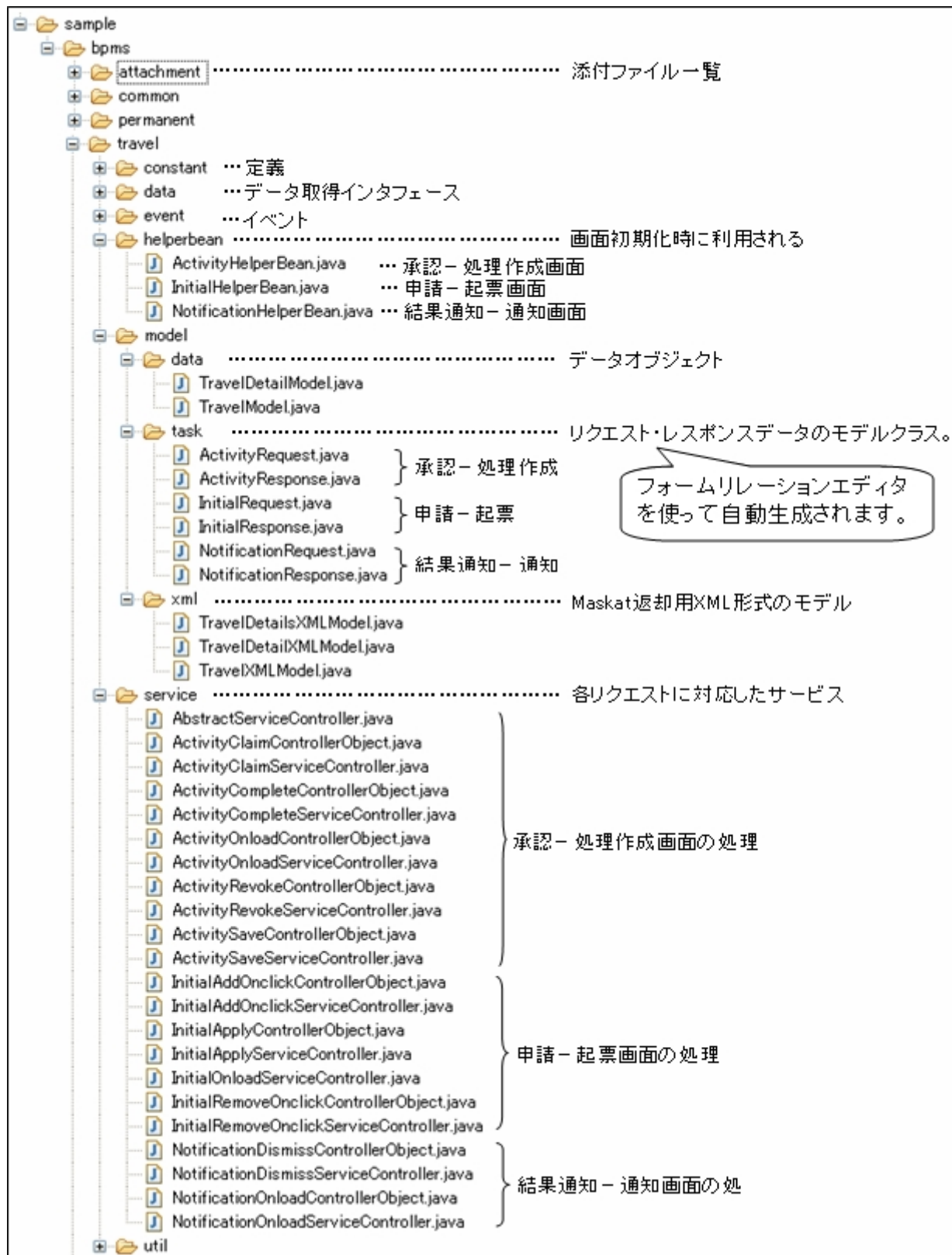
BPM|Designer へインポートされたサンプルプロジェクト。



ii) 処理

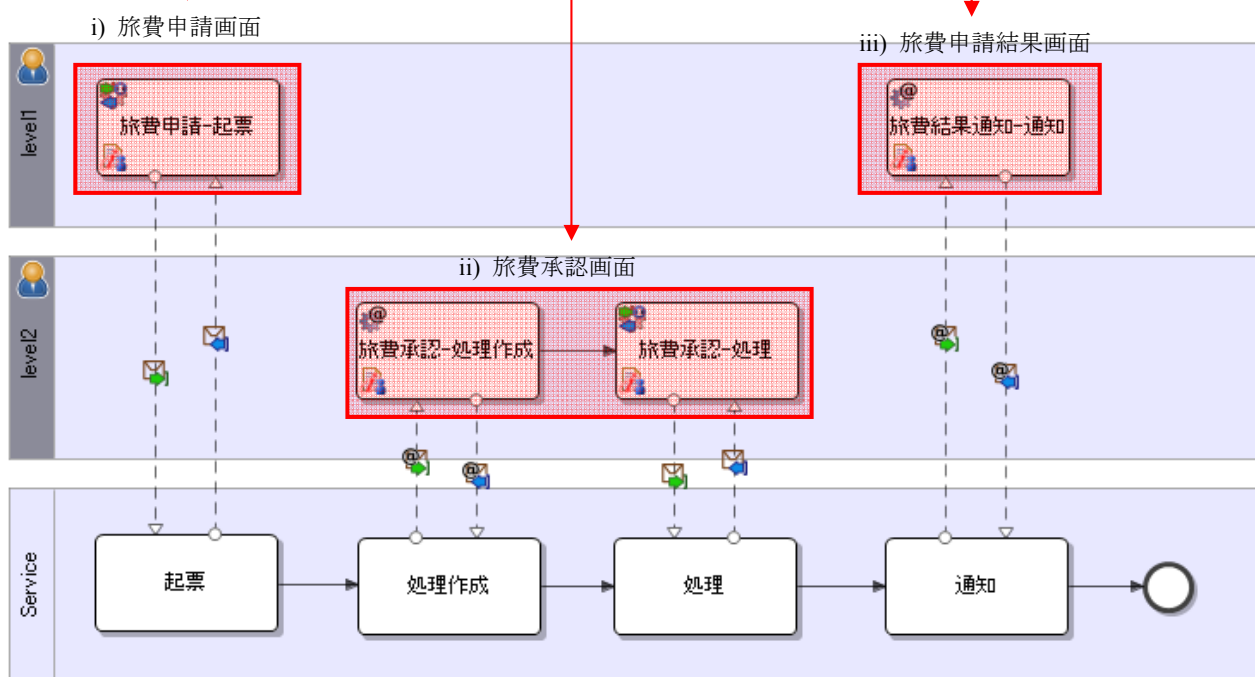
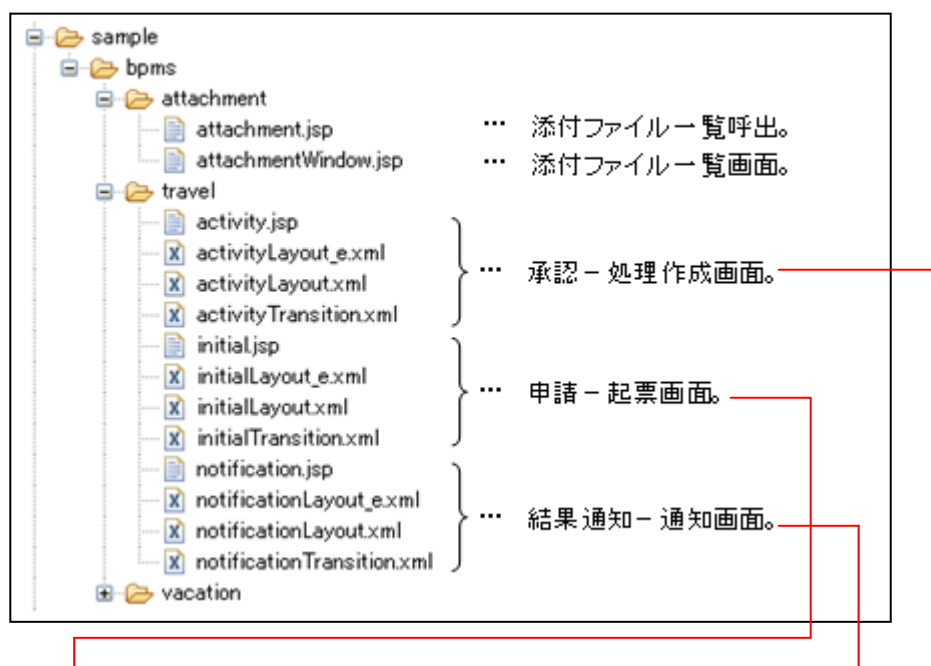
エクスプローラで本製品の CD-ROM があるディレクトリに移動し、/iwp_iaf/src/im_sample4enterprise-src.zip のアーカイブファイルを解凍します。

/im_sample4enterprise/src/main/java/sample 配下。



iii) 画面

% AppRuntime % /doc/imart/sample 配下



(2) 画面構成

画面項目とリレーションフォームは以下のように対応します。

iv) 旅費申請画面

① 申請者	上田辰男					
② 所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22					
③ 日付	* 2008年07月17日 ?		④ 行先	* 沖縄		
⑤ 区間	* 羽田-那覇		⑥ 交通機関	飛行機		
⑦ 交通費	* 21000		⑧ 用件	* 出張		

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
⑩ { 1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

リレーションフォーム(initial)との対応

1	申請者	applyUserName
2	所属	applyUserAttach
3	日付	travel_detail : travelDate
4	行先	travel_detail : destination
5	区間	travel_detail : interval
6	交通機関	travel_detail : transportation
7	交通費	travel_detail : cost
8	用件	travel_detail : business
9	No	travel_detail : no
10	リスト	travel_details

v) 旅費承認画面

① 申請者	上田辰男					
② 所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22					

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
⑩ { 1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

⑨ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

⑪ 承認 ☒ 承認 ☐ 否認

⑫ コメント コメントを入力してください。

リレーションフォーム(activity)との対応

1	申請者	applyUserName
2	所属	applyUserAttach
3	日付	travel_detail : travelDate
4	行先	travel_detail : destination
5	区間	travel_detail : interval
6	交通機関	travel_detail : transportation
7	交通費	travel_detail : cost
8	用件	travel_detail : business
9	No	travel_detail : no
10	リスト	travel_details
11	承認	status
12	コメント	acknowledgeComment

vi) 旅費申請結果画面

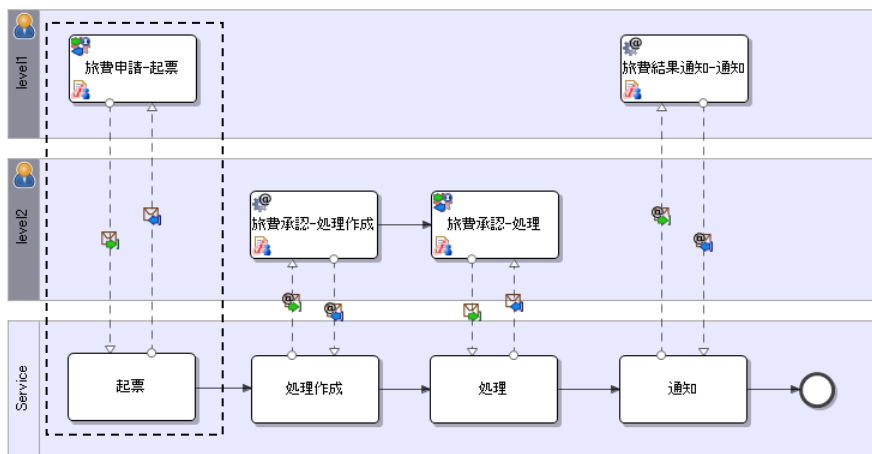
① 申請者	上田辰男						
② 所属	サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22						
	no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
⑩ {	⑨ 1	③	④ 2008年07月17日	⑤ 沖縄	⑥ 羽田-那覇	⑦ 飛行機	⑧ 21000
⑪ 承認	承認						
⑫ コメント	がんばって仕事取ってきて下さい。						

リレーションフォーム(notification)との対応

1	申請者	applyUserName
2	所属	applyUserAttach
3	日付	travel_detail : travelDate
4	行先	travel_detail : destination
5	区間	travel_detail : interval
6	交通機関	travel_detail : transportation
7	交通費	travel_detail : cost
8	用件	travel_detail : business
9	No	travel_detail : no
10	リスト	travel_details
11	承認	status
12	コメント	acknowledgeComment

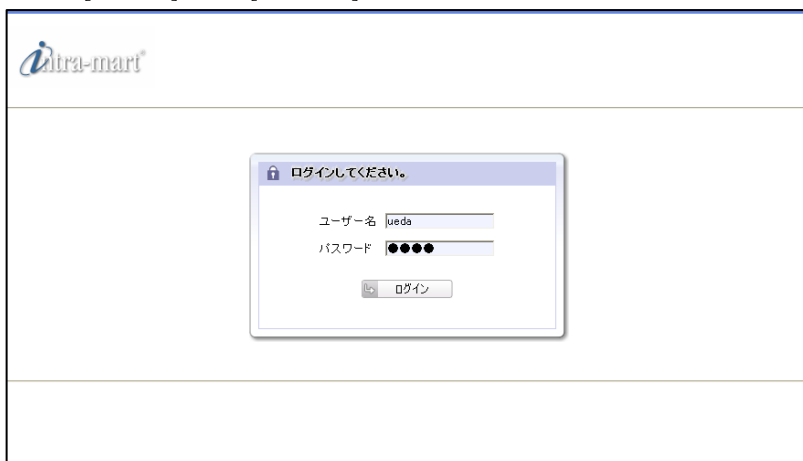
2.3.4.3 サンプルの実行手順

1. プロセスの開始(申請起票)



i) ログイン(申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。
ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。



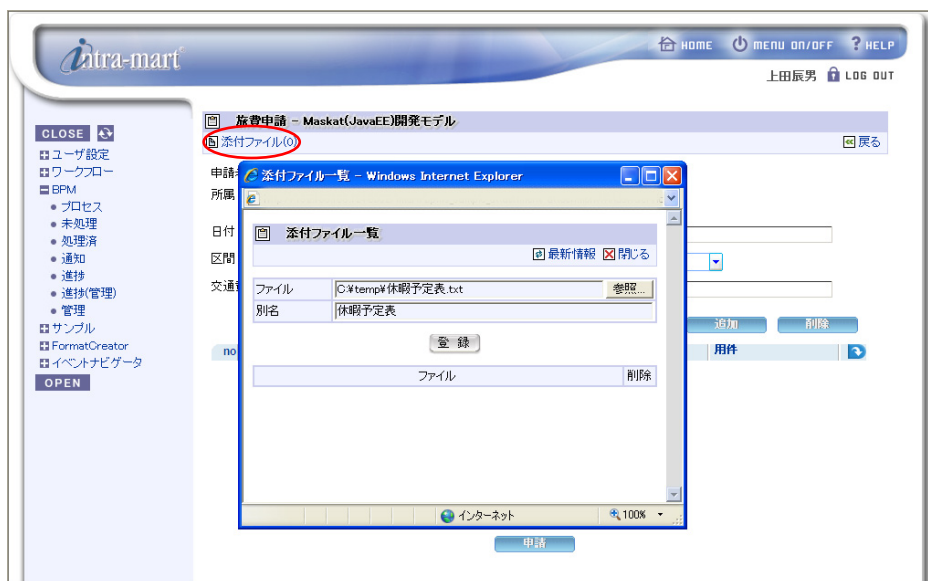
ii) プロセスの開始

intra-mart へログイン後、メニューより、[BPM]->[プロセス]を選択すると、実行可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「旅費申請 - JavaEE(Maskat)開発モデル」の[開始]を選択します。

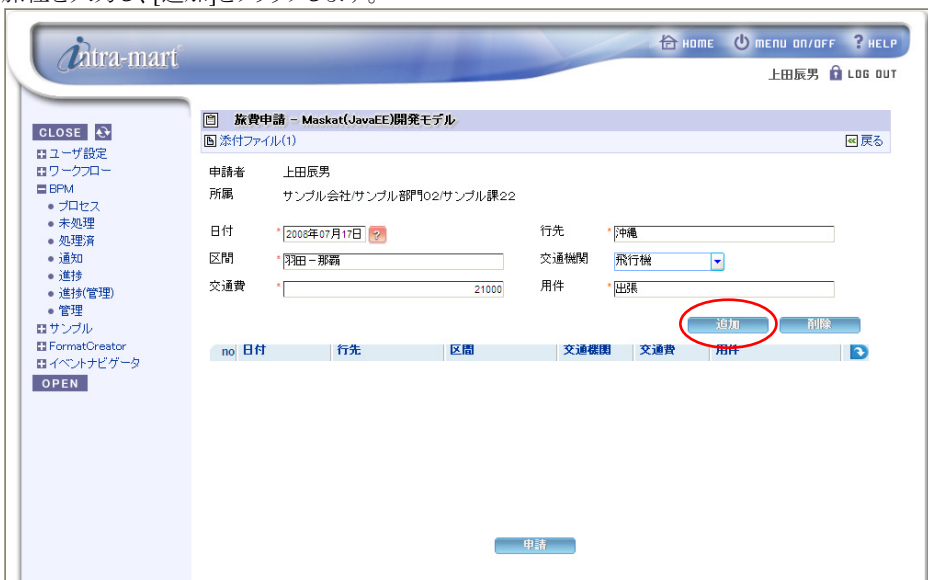


[開始]を選択すると、下記の画面が表示されます。

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルが添付できます。



旅程を入力し、[追加]をクリックします。



旅程が 1 件追加されます。

旅費申請 - Maskat(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) [戻る](#)

申請者 上田辰男
所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

日付 2008年07月17日 行先 沖縄
区間 羽田-那覇 交通機関 飛行機
交通費 21000 用件 出張

[追加](#) [削除](#)

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

[申請](#)

さらに旅程を追加します。

旅費申請 - Maskat(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) [戻る](#)

申請者 上田辰男
所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

日付 2008年07月17日 行先 沖縄
区間 空港-ホテル 交通機関 車
交通費 2000 用件 出張

[追加](#) [削除](#)

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張
2	2008年07月17日	沖縄	空港-ホテル	車	2000	出張

[申請](#)

旅程を削除する場合は、該当する旅程を選択し[削除]をクリックします。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF HELP

上田辰男 LOG OUT

CLOSE

- ユーザ設定
- ワークフロー
- BPM
 - プロセス
 - 未処理
 - 処理済
 - 通知
 - 進捗
 - 進捗(管理)
 - 管理
- サンプル
- FormatCreator
- イベントナビゲータ

OPEN

旅費申請 - Maskat(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者 上田辰男

所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

日付 2008年07月17日 行先 沖縄

区間 空港-ホテル 交通機関 車

交通費 2000 用件 出張

追加 削除

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張
✓	2008年07月17日	沖縄	空港-ホテル	車	2000	出張

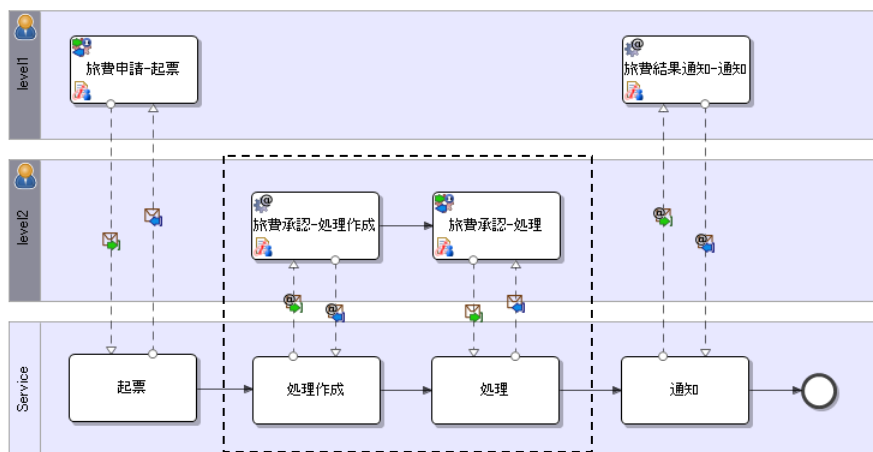
申請

選択された旅程は削除されます。

申請内容を確定し、[申請]をクリックすると、申請処理が開始されます

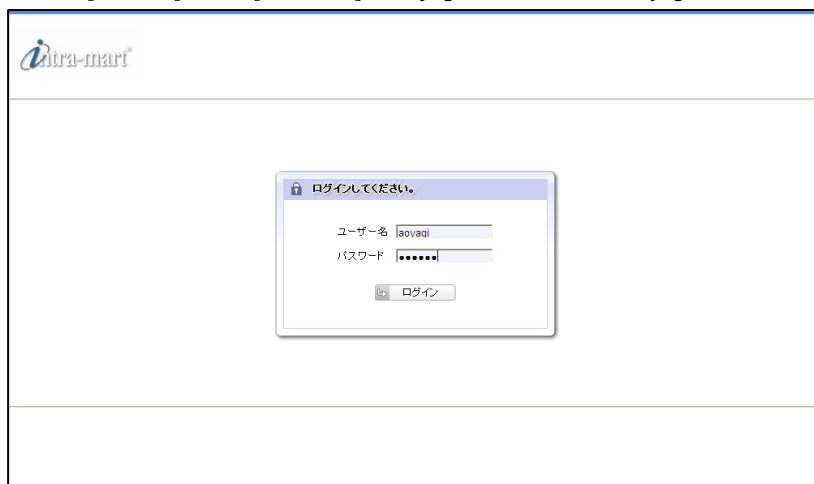
申請処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。申請内容は承認者の未処理一覧へ起票されます。
[LOG OUT]をクリックし、intramart からログアウトします。

2. 承認処理



iii) ログイン(承認者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「aoyagi」、パスワードに「aoyagi」を入力し、ログインします。



iv) 旅費承認

intra-mart へログイン後、メニューより、[ワークフロー]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。一覧から案件名「旅費承認 - JavaEE(Maskat)開発モデル」の[処理]を選択します。



[処理]を選択すると下記の画面が表示されます。

旅費承認 - Maskot(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者 上田辰男

所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

承認 ☒ 承認 ☐ 否認

コメント コメントを入力してください。

保留 一時保存 完了

左上の[添付ファイル]をクリックすると「添付ファイル一覧」画面が表示され、ファイルを参照できます。

旅費承認 - Maskot(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者 上田辰男

所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

承認 ☒ 承認 ☐ 否認

コメント コメントを入力してください。

保留 一時保存 完了

添付ファイル一覧 - Windows Internet Explorer

添付ファイル一覧 最新情報 閉じる

ファイル 参照

別名

登録

休暇予定表

承認可否とコメントを入力し、[完了]をクリックすると、承認処理が実行されます。

旅費承認 - Maskat(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者 上田辰男
所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

承認 ☒ 承認 ☐ 否認
 コメント

保留 一時保存 **完了**

承認処理終了後、プロセス一覧へ遷移します。承認内容は申請者へ通知されます。

[LOG OUT]をクリックし、intra-mart からログアウトします。

未処理案件一覧 (BPM)

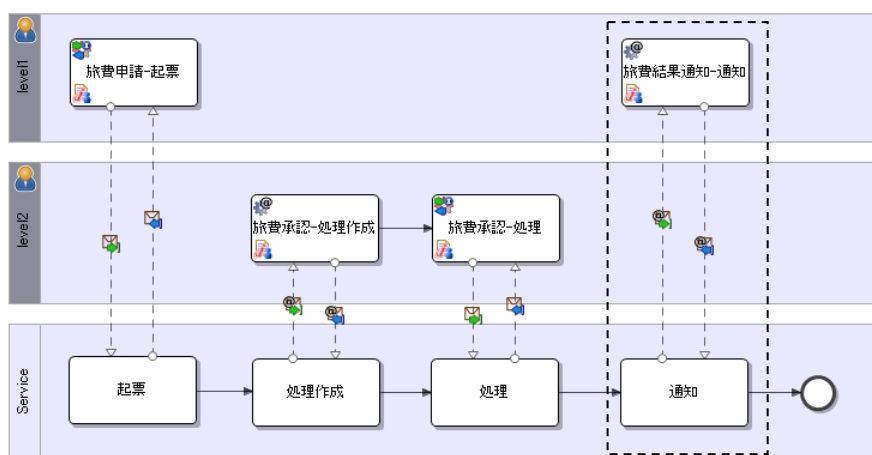
未処理案件一覧 (BPM) 最新情報

案件名: 検索

処理	依頼日	状態	案件名
0-0/0 表示中			
0-0/0 表示中			

LOG OUT

3. 承認結果確認



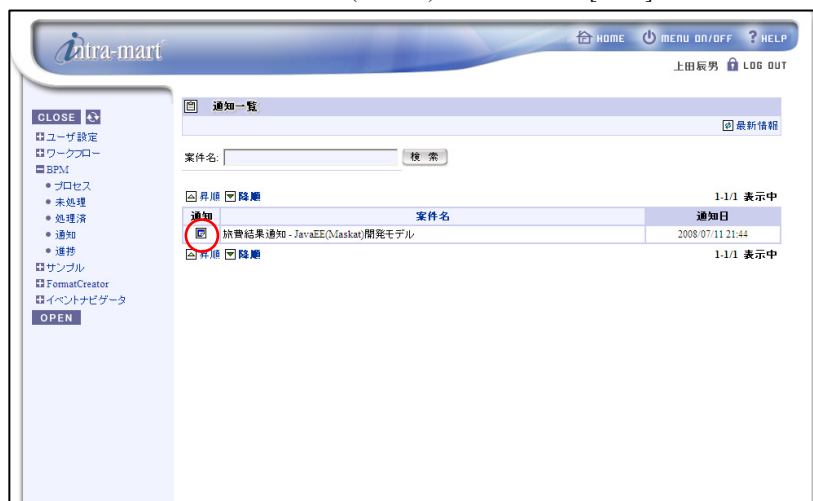
i) ログイン(申請者)

intra-mart へのログインを行います。ブラウザを起動し、intra-mart の[ログイン]画面を表示します。ここでは[ログイン]画面の[ユーザ名]に「ueda」、パスワードに「ueda」を入力し、ログインします。

The screenshot shows the login page of the intra-mart system. The page has a header with the 'intra-mart' logo. In the center, there is a login dialog box titled 'ログインしてください。' (Please login). Inside the dialog, there are two input fields: 'ユーザー名' (Username) with the value 'ueda' and 'パスワード' (Password) with masked characters. Below the fields is a 'ログイン' (Login) button.

ii) 未処理案件の処理

メニューより、[BPM]->[通知]を選択すると、参照可能なプロセスの一覧が表示されます。一覧から「旅費結果通知 - JavaEE(Maskat)開発モデル」の[通知]を選択します。



[通知]を選択すると、下記の申請結果画面が表示されます。

申請結果を確認後、[確認]をクリックするとプロセスが終了します。

intra-mart

HOME MENU ON/OFF HELP

上田辰男 LOG OUT

旅費結果通知 - Maskat(JavaEE)開発モデル

添付ファイル(1) 戻る

申請者 上田辰男

所属 サンプル会社/サンプル部門02/サンプル課22

no	日付	行先	区間	交通機関	交通費	用件
1	2008年07月17日	沖縄	羽田-那覇	飛行機	21000	出張

承認 承認

コメント がんばって仕事取ってきて下さい。

確認

2.4 RCMサンプル

RCM サンプルについて解説します。RCM サンプルは、BPM|Designer に同梱されており、以下のプロジェクトが用意されています。

「sample_rcm.zip」

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に(※インストールする項目で「サンプル」を指定した場合のみ)、以下のフォルダに格納されます。

- サンプルの格納場所
%BPM|Designer% /samples

2.4.1 事前準備

本サンプルを実行するには以下の準備が必要となります。

- (1) サンプルプロジェクトのインポート

サンプルプロジェクトの格納場所より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。

%BPM|Designer% /samples/rcm/sample_rcm.zip

- BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2 プロジェクトの作成」を参照ください。

インポート後、ダイアグラム(RcmSampleDiagram01.bpm)を開いてください。

- (2) RCM パースペクティブを設定。

BPM|Designer のメニュー>パースペクティブを開く>その他>RCM を選択してください。

- RCM パースペクティブの詳細については、「BPM|Designer 操作ガイド 2.4.1 概要－初期設定」を参照ください。

2.4.2 RCMサンプルの説明

- (1) 概要

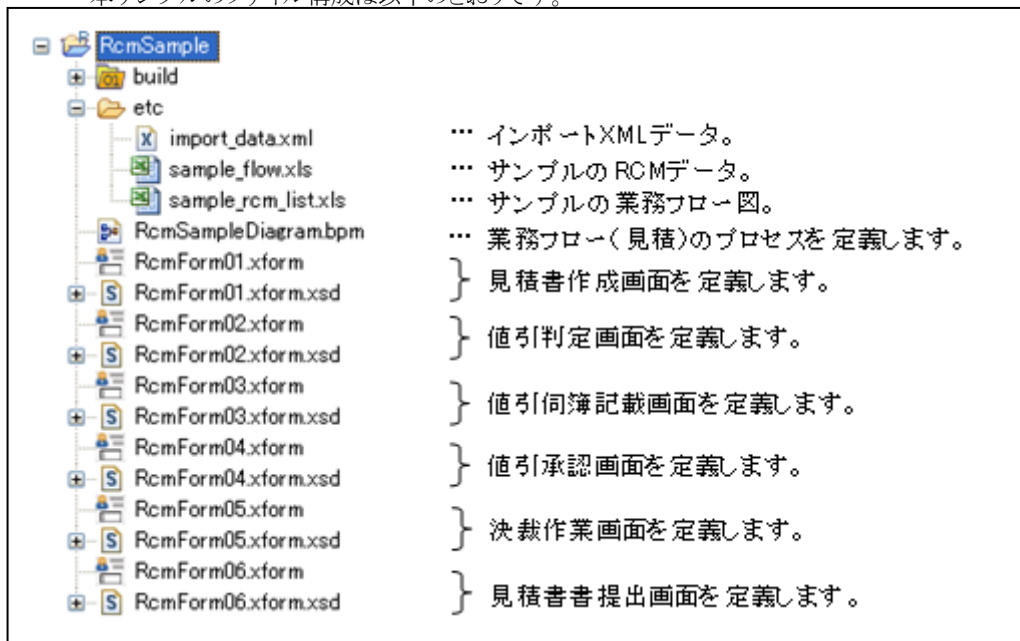
本サンプルは、見積書を作成し、値引き判定、決裁作業をとお客様へ見積書を提出するまでの各処理を BPM|Designer に反映したものです。

このサンプルでは、ダイアグラム上の各タスク(処理)にリスク及びコントロールをドラッグ&ドロップで関連付けていくことができます。

また、ダイアグラム上で関連付けられたリスク及びコントロールは、一覧表示データの形式でPDFファイル出力ができます。

(2) ファイル構成

本サンプルのファイル構成は以下のとおりです。

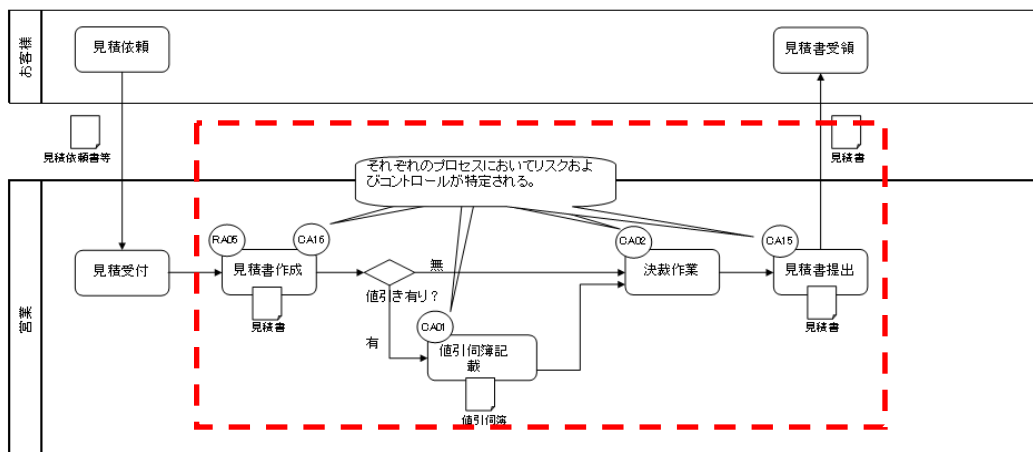


(3) フローの説明 (sample_flow.xls)

sample_flow.xls は、お客様から見積依頼を受付けて見積依頼書を送付するまでの処理を表しています。RCM サンプルはこのフロー図に準じて作成されています。

RCM サンプルとしてダイアグラムに反映されているのは、この中の見積書作成から見積書提出までとなります。

サンプル業務フロー（見積り）



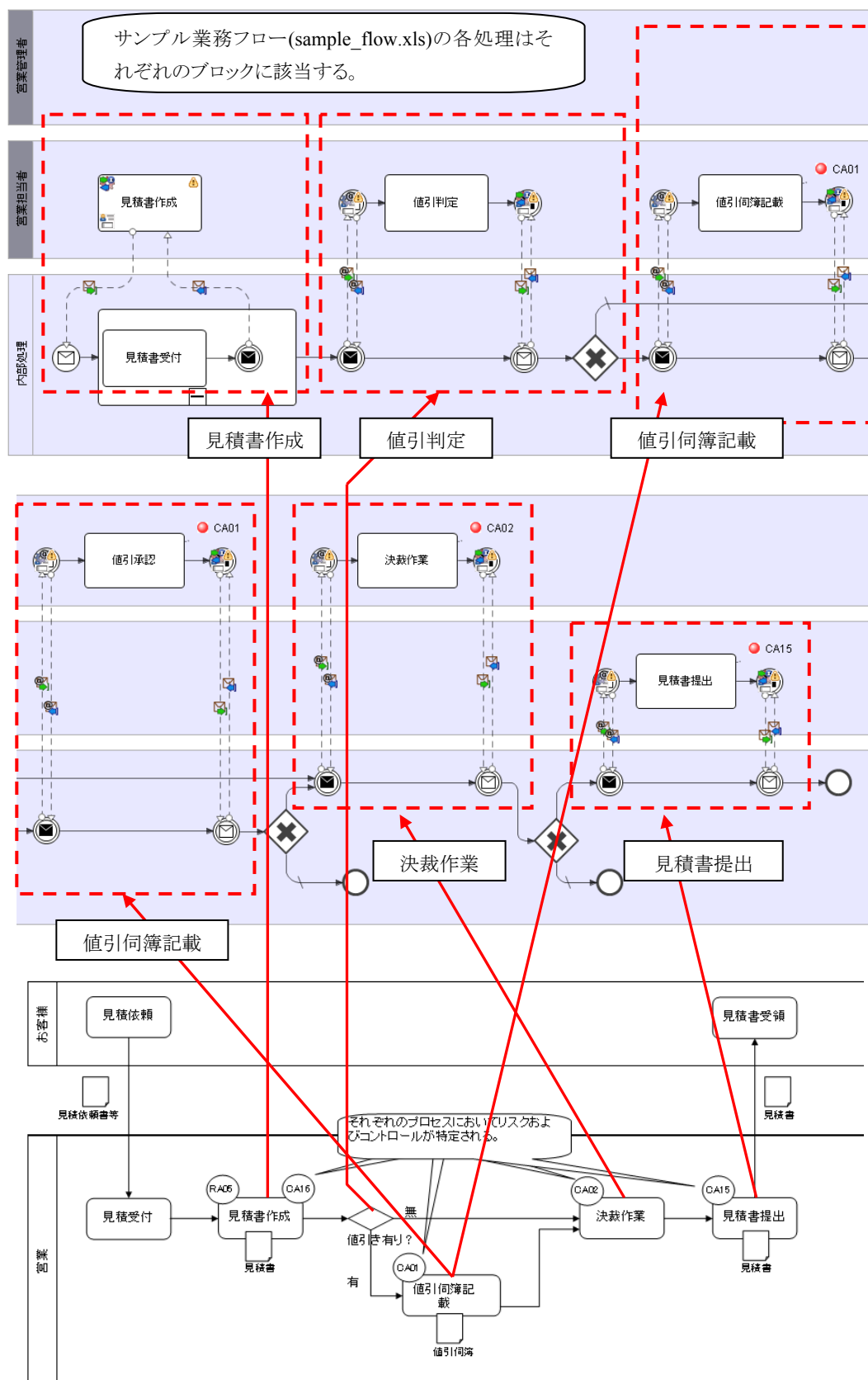
(4) ダイアグラムの説明

RCM サンプルを BPM|Designer で開くと、sample_flow.xls の処理の流れがダイアグラムへ反映されています。

ダイアグラムでは処理の担当を明確にする為、営業管理者、営業担当者、内部処理などのプールに分けられています。

処理を表す各タスクはこのプール内に配置されています。

sample_flow.xls の各処理は、ダイアグラム上では複数のプールに跨る複数のタスクで構成されています。



(5) RCM のデータの説明 (sample_rcm_list.xls)

sample_rcm_list.xls には、本サンプルで使用される RCM (リスクコントロールマトリックス) データが記載されています。

サンプル上で使用されるリスク及びコントロールのデータは、この sample_rcm_list.xls のデータを元に作成されています。

また、この sample_rcm_list.xls は内容を変更して新規に RCM データを作成し BPM|Designer に反映させることが可能です。

インポートデータの作成手順の詳細は、BPM|Designer 操作ガイド 2.4.2.1 インポートーインポートデータの作成を参照下さい。

また、フォーマットを変更してデータを作成する場合は、操作ガイド 2.4.3.1 フォーマット定義の変更方法を参照下さい。

(6) インポート XML データの説明 (import_data.xml)

sample_rcm_list.xls より生成されたインポート XML データが import_data.xml です。

BPM|Designer は初期状態ではリスクやコントロールは設定されていないので、この import_data.xml をインポートする必要があります。

2.4.3 操作手順

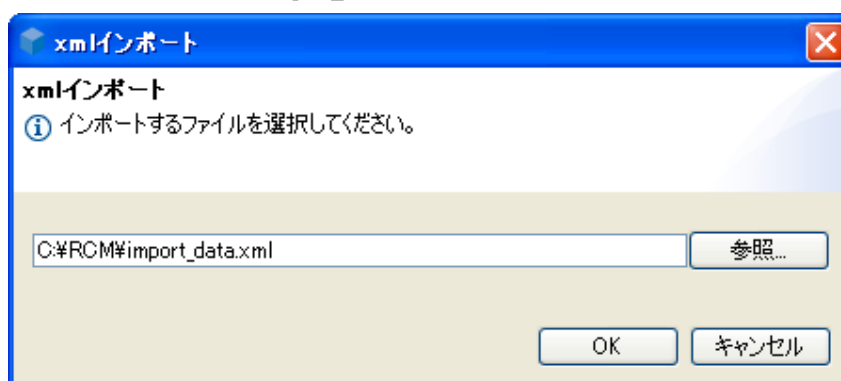
この章では、import_data.xml を BPM|Designer へインポートし、ダイアグラム上のタスクヘリスク及びコントロールの関連付けを行い、PDF出力を行うところまでを説明いたします。

各手順の詳細は、BPM|Designer 操作ガイド 2.4.2 操作手順を参照下さい。

(1) XML データインポート

BPM|Designer のメニュー>RCM>XML データインポート を選択し、[xml インポート]画面を表示します。

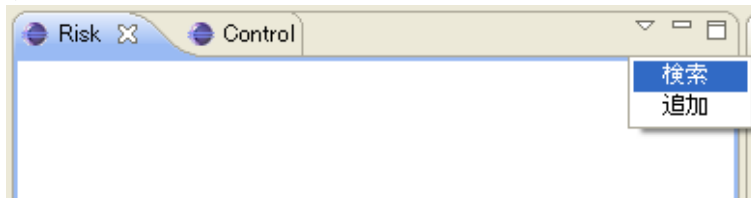
インポートするファイルに、import_data.xml を選択し処理を実行します。



(2) データの検索

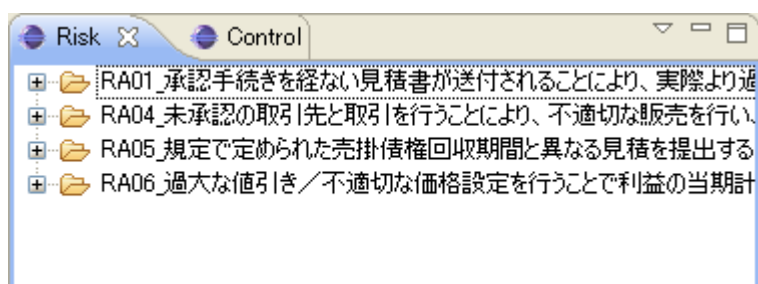
リスクを検索する場合、以下の手順で行います。

i) [Risk]画面のメニュー>検索 を選択し、[リスク検索]画面を表示します。

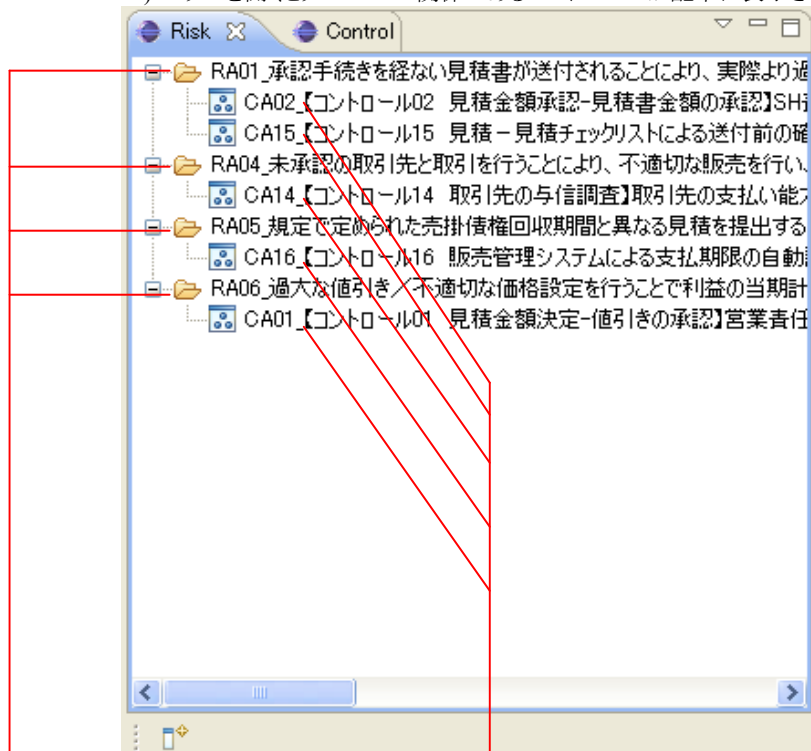


ii) [リスク検索]画面で条件を指定せず検索。

[Risk]画面に検索結果が表示されます。(全件)



iii) ツリーを開くとリレーション関係のあるコントロールが配下に表示されます。



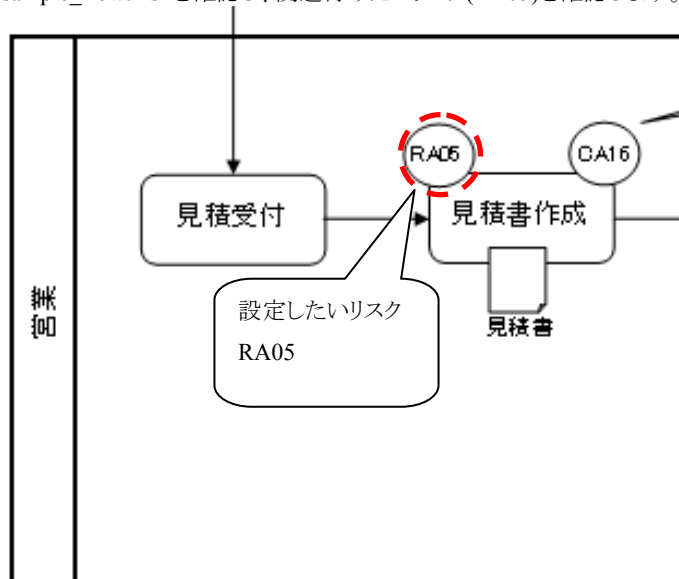
表示されたリスクとコントロールは、sample_rcm_list.xls の以下の箇所に対応します。

サンプルRCM一覧																		
リスクID	リスク	要件(アサーション)					コントロール	基本要素										
		完全性	信頼性と権限の分離	評価の妥当性	期間配分の適切性	表示の妥当性		資産保全	コンプライアンス	ITコントロール	コントロールタイプ	主従	リスク評価	監視活動	ITへの対応			
									予防	発見	マニピュラル	システム	主従	強制電報	情報伝達	強制活動	監視活動	ITへの対応
RA01	承認手続きを経ない見積書が送付されることにより、実際より過大な売上金額が計上されるリスク。	○	○				○	CA15	○	○							○	
							○	CA02									○	○
RA06	過大な値引き／不適切な価格設定を行うことで利益の当期計上額が正しくなくなるリスク				○	○		○	CA01				○				○	○
RA04	未承認の取引先と取引を行うことにより、不適切な販売を行い、売掛金が回収されないリスク				○	○		○	CA14				○				○	○
RA05	規定で定められた売掛債権回収期間と異なる見積を提出することにより、債権回収が遅れてしまうリスク				○	○		○	CA16				○				○	○

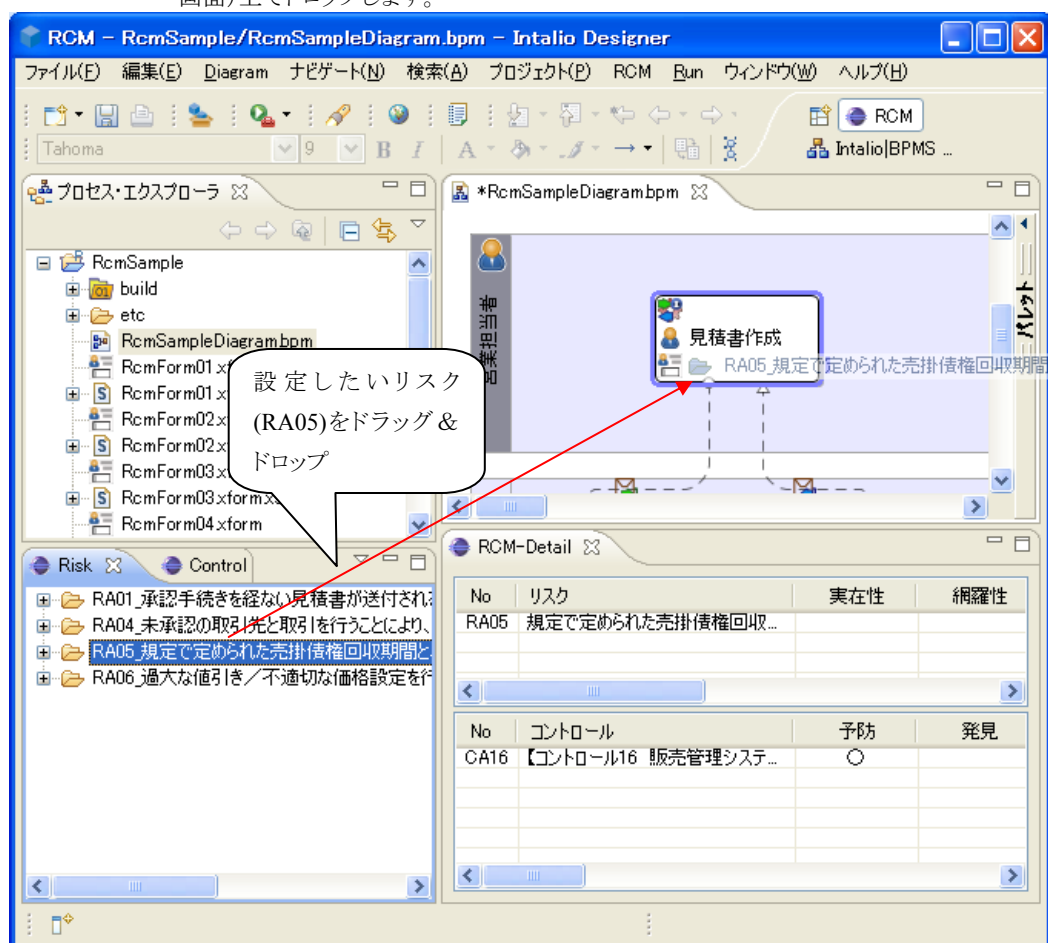
11号様(PKG) / プランニングフォーム /

(3) タスクへの関連付け

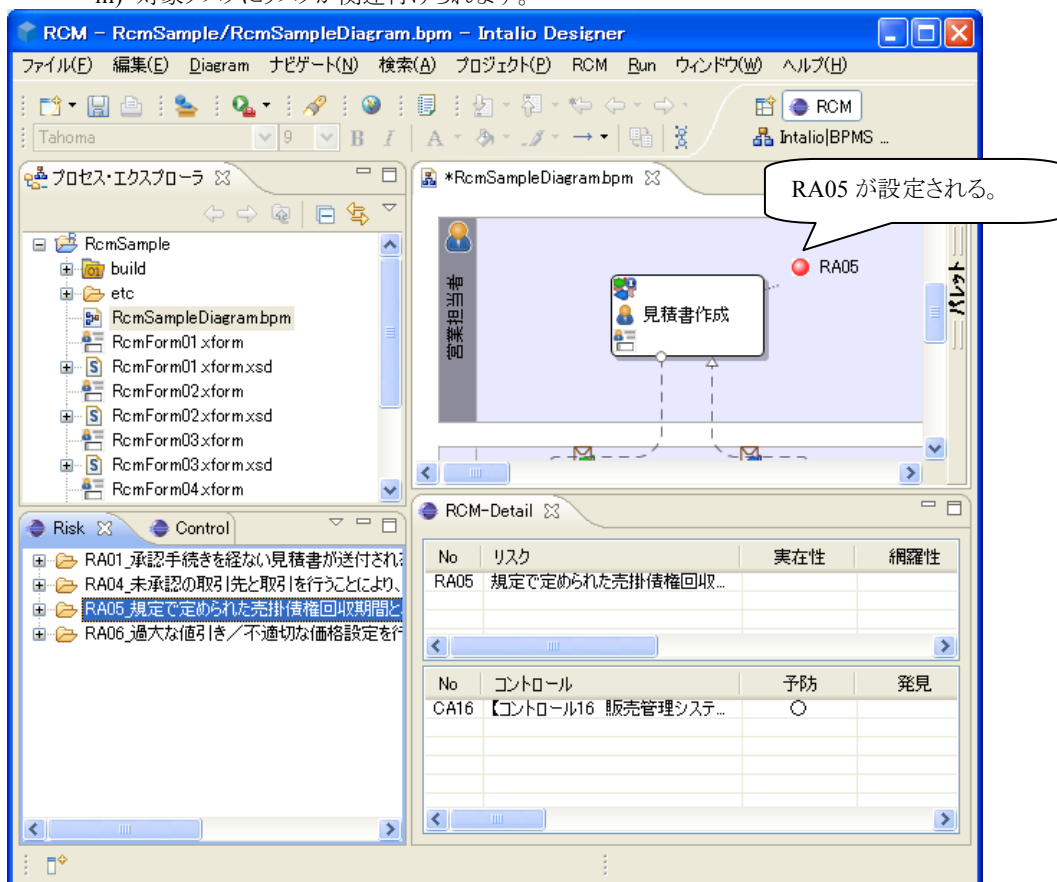
- i) sample_flow.xls を確認し、関連付けたいリスク(RA05)を確認します。



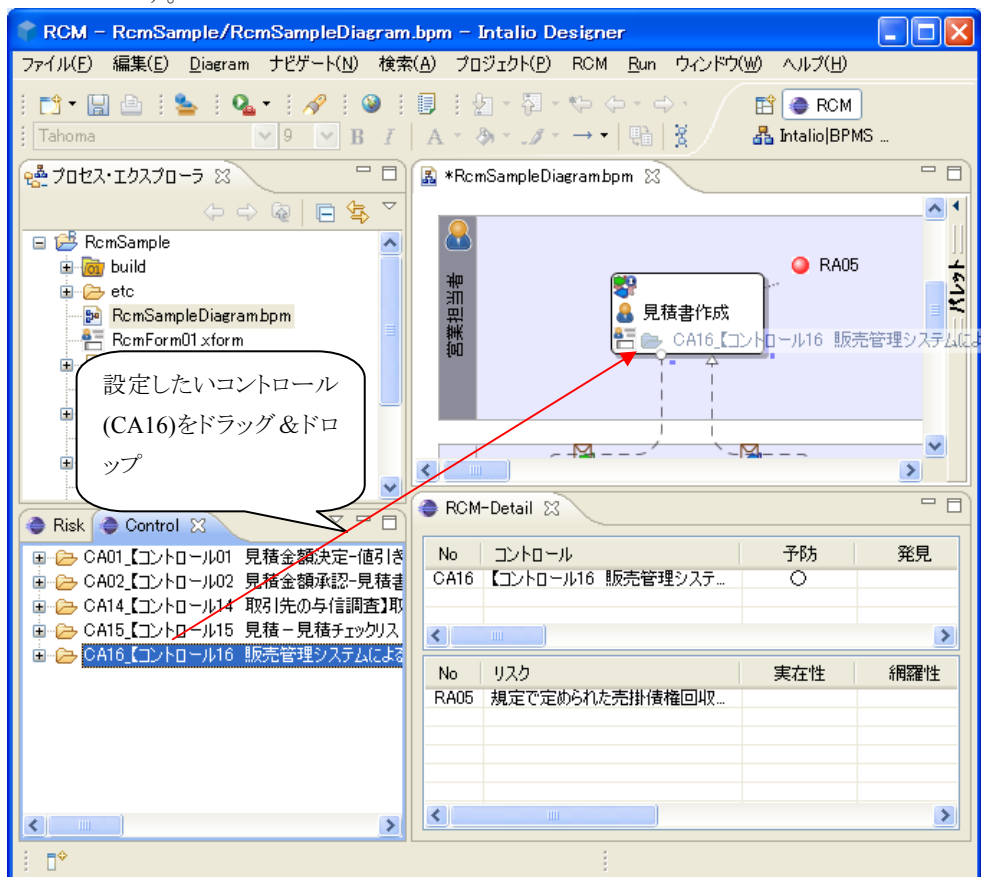
- ii) BPM[Designer] の[Risk]画面で対象リスク(RA05)をドラッグし、ダイアグラムの対象タスク(見積書作成画面)上でドロップします。



iii) 対象タスクにリスクが関連付けられます。



iv) 次に[Control]画面で検索を行い、対象コントロール(CA16)をタスク(見積書作成画面)に関連付けます。



v) 対象タスクにコントロールが関連付けられます。

The screenshot shows the Intalio Designer RCM tool interface. The main window displays a BPM diagram with a task labeled '見積書作成' (Estimate Book Creation). A callout bubble points to the task, stating 'CA16 が設定される。' (CA16 is set). The left pane shows the 'プロセス・エクスプローラ' (Process Explorer) with a tree view of the project structure, including 'RcmSample', 'build', 'etc', and various form files. The bottom pane shows the 'RCM-Detail' window with two tables.

RCM-Detail Table 1:

No	コントロール	予防	発見
CA16	【コントロール16 販売管理システ...	○	

RCM-Detail Table 2:

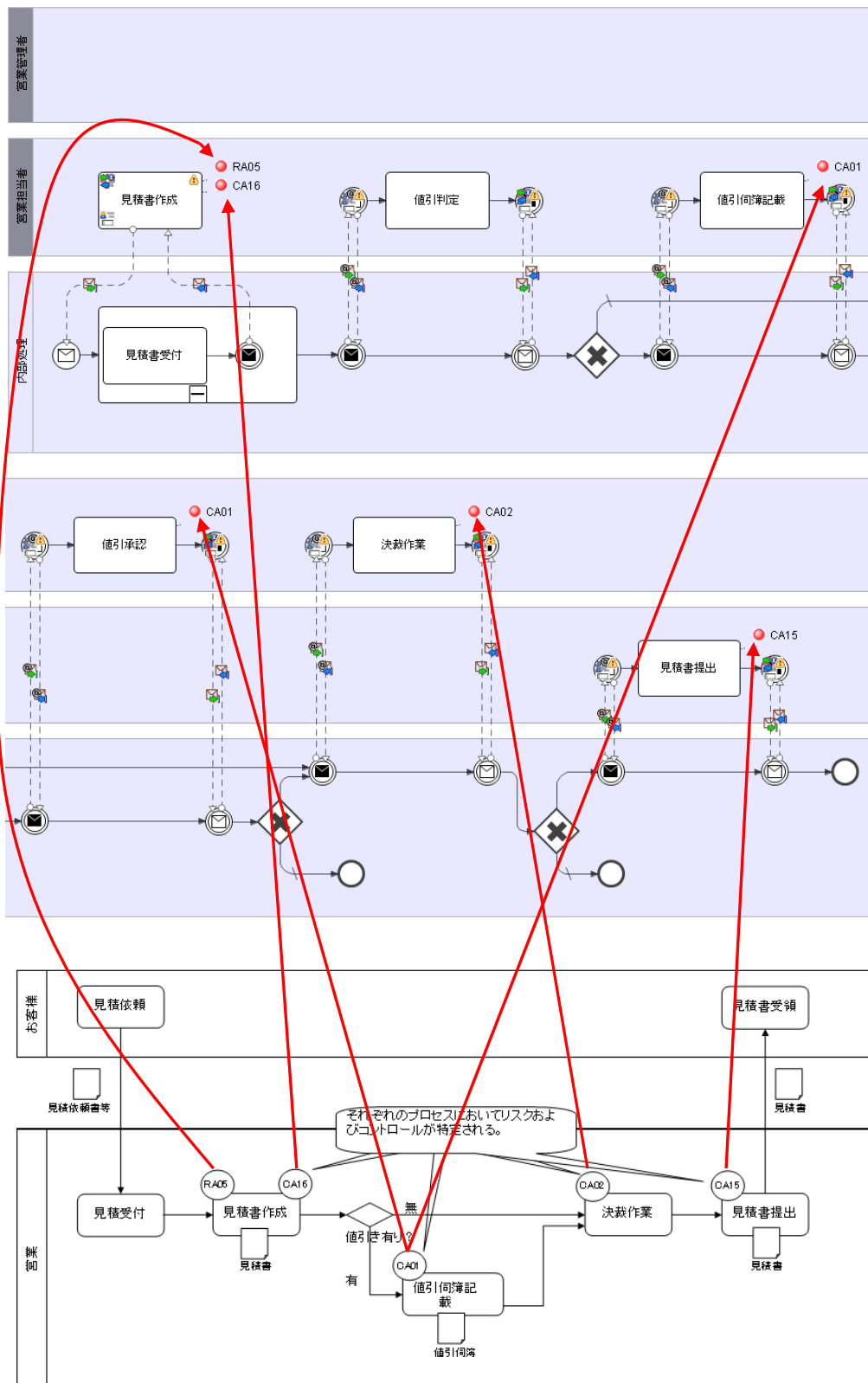
No	リスク	実在性	網羅性
RA05	規定で定められた売掛債権回収...		

(4) RCM データの PDF 出力

ダイアグラムの各タスクに関連付けられた、リスク又はコントロールの情報は PDF ファイルに出力出来ます。

vi) 各タスクには以下のようにリスク又はコントロールが関連付けられています。

sample_flow.xls の各リスク、コントロールとは以下のように対応します。



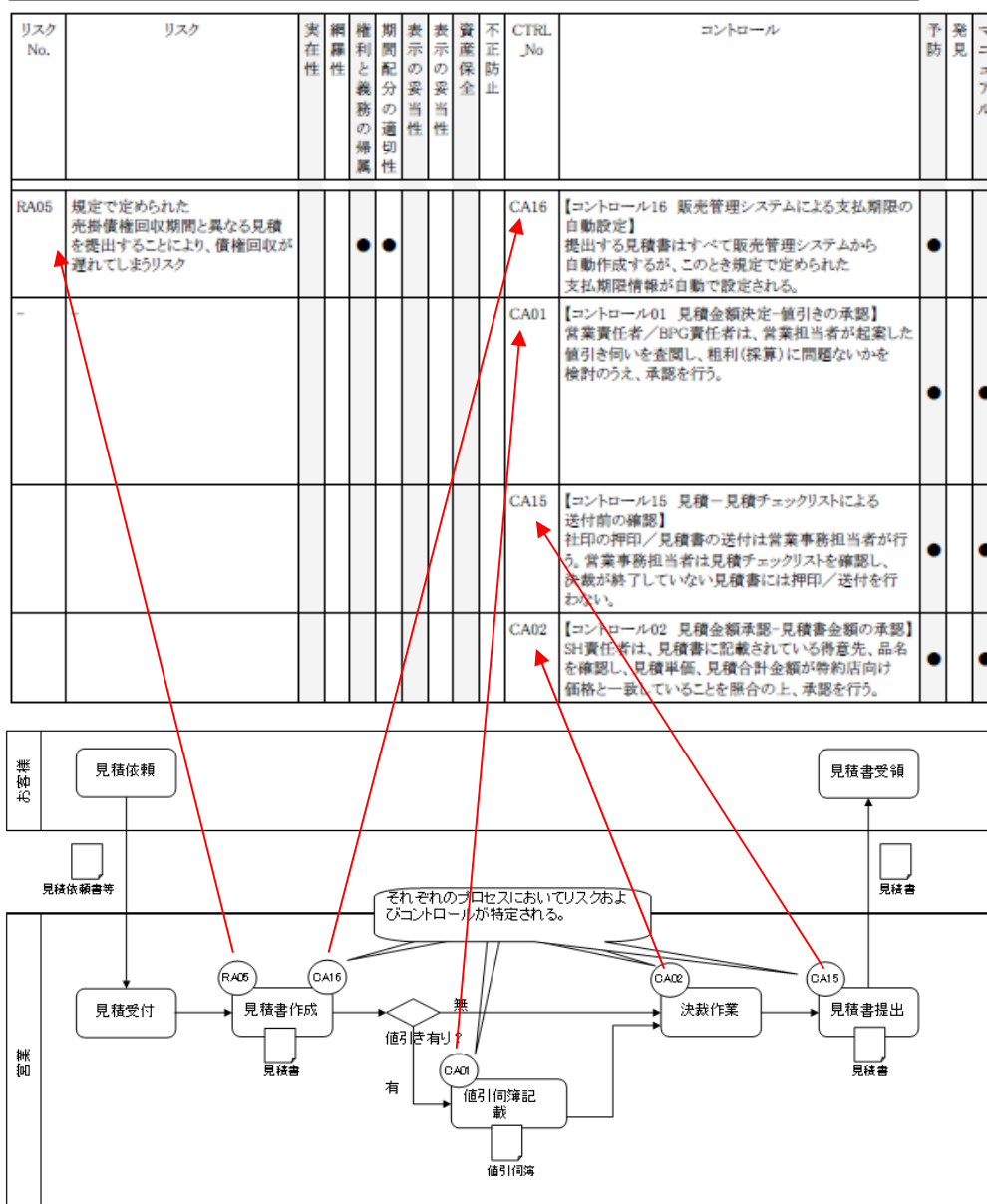
出力対象プロセス(RcmSampleDiagram01)を指定し、PDF ファイルの出力先を入力後、出力処理を行ってください。

viii) 出力された PDF を開くとリスクとコントロールの一覧が表示されています。

作成者:株式会社 NTT データ イントラマート

リスク(RA05)とコントロール(CA16)はリレーション関係があるので、一覧でもそのことが反映されていますが、その他のコントロールは単独でダイアグラム上に存在している為、リスクは(-)で表示されます。

プロセス名: RCMSAMPLEDIAGRAM01



2.4.4 フォーマットを変更する

(1) 概要

sample_rcm_list.xls のフォーマットが自社のニーズに合わない場合、フォーマットを変更(カラムの追加・削除)して、リスク及びコントロールのデータを生成したいと思うことがあるかもしれません。

この場合、以下の手順でフォーマットの変更ができます。

- i) フォーマットの変更(sample_rcm_list.xls)
- ii) データ定義(スキーマ)生成
- iii) データ定義(スキーマ)の属性情報付加
- iv) XML データ作成
- v) スキーマとXML データのインポート
- vi) レポートデザインファイル(BIRT)の修正
- vii) 修正箇所の確認

(2) フォーマットの変更(sample_rcm_list.xls)

今回は、カラムを2つ追加、1つ削除のケースで修正を行います。

sample_rcm_list.xls を開き以下の修正を行います。

- i) カラム[不正防止(コンプライアンス)]の右に、エクセルの挿入を使ってカラム[重要科目・現金]を追加します。
- ii) カラム[監視活動]を削除
- iii) カラム[関連規程 マニュアル等]の後に、カラム[関連法制度]を挿入

<修正前>

		条件(アサーション)									OTRL タイプ1	OTRL タイプ2	主従	基本的要素															
リスク No.	リスク	実在性	網羅性	権利と義務の帰属	評価の妥当性	期間配分の適切性	表示の妥当性	資産保全	不正防止 (コンプライアンス)	CTRL No.	コントロール	予防	発見	マニュアル	システム	主観	従属	統制環境	リスク評価	情報伝達	統制活動	監視活動	ITへの対応2	実施時期	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施部署	関連規程 マニュアル等	コメント

<修正後>

リスク No.	リスク	要件(アサーション)										OTRL No.	コントロール														コメント
		実在性	信頼性	権利と義務の帰属	評価の妥当性	期間配分の適切性	表示の妥当性	重要科目・現金	OTRL No.	子勘	発見		マニュアル	システム	主観	従属	統制環境	リスク評価	情報伝達	統制活動	ITへの対応2	実施時期	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施部署	関連規程 マニュアル等	

- フォーマットの変更の手順については、「BPM|Designer 操作ガイド 2.6.3.1 ■フォーマット定義(XML スキーマ)の新規作成 (1)フォーマットの変更」を参照ください。

(3) XML スキーマ生成

XML へ変換したいデータの範囲を指定し、Excel の機能を使い XML スキーマを生成します。

- XML スキーマ生成の手順については、「BPM|Designer 操作ガイド 2.6.3.1 ■フォーマット定義(XML スキーマ)の新規作成 (2) XML スキーマ(フォーマット定義)生成」を参照ください。

(4) フォーマット定義(XML スキーマ)の属性情報付加

生成された XML スキーマは、そのままでは RCM 機能では認識されませんので、いくつかの属性情報を付加する必要があります。

- フォーマット定義(XML スキーマ)の編集の詳細は、「BPM|Designer 操作ガイド 2.6.3.1 ■フォーマット定義(XML スキーマ)の編集」を参照下さい。

以下、オブジェクトタイプ、グループ名、表示名、表示タイプについてそれぞれの修正箇所を記載します。

i) オブジェクトタイプ(objType)

値に、risk または control を設定します。objType の設定値によりデータはリスクとコントロールに分けられます。カラム[CTRL No.]より前は objType=" risk" を設定し、カラム[CTRL No.]以降は objType=" control" を設定します。

＜リスク＞

条件(アサーション)										CTR. タイプ1	CTR. タイプ2	主征	基本的要素																						
リスク No.	リスク	存在性	実現性	権利と 適否の 関係	期待 評価の 妥当性	表示 の妥当性	不正防止 システム	不正防止 システム	重要科目・現金	CTR. No.	予 防	発 見	シ ス テ ム	主 的	従 的	統 制 環 境	統 制 活 動	監 査 伝 達	IT への 対応2	実 施 期 間	年 間 発 生 件 数	サ ン プ ル 数	コン ト ロ ー ル の 実 施 要 素	関 連 規 程 マ ニ ュ ア ル 等	関 連 法 制 度	コメント									

```

<xsd:sequence base="xs:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" >
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column1" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column2" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column3" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column4" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column5" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column6" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column7" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column8" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column9" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column10" for
  <xsd:element objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column11" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column12" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column13" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column14" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column15" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column16" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column17" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column18" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column19" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column20" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column21" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column22" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column23" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column24" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column25" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column26" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column27" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column28" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column29" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column30" for
  <xsd:element objType="control" minOccurs="0" nillable="true" type="xsd:string" name="Column31" for
</xsd:sequence>

```


iii) 表示名 (viewName)

各項目名を属性値として設定します。

リスク No.	リスク	要件(アサーション)						資産保全
		実在性	網羅性	権利と義務の帰属	評価の妥当性	期間配分の適切性	表示の妥当性	

```

<xsd:sequence minOccurs="0">
  <xsd:element viewName="リスクNo." group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="リスク" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="実在性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="網羅性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="権利と義務の帰属" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="評価の妥当性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="期間配分の適切性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="表示の妥当性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="資産保全" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="不正防止 (コンプライアンス)" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="重要科目・現金" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="CTRLNo." group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="コントロール" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="予防" group="CTRLタイプ1" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="発見" group="CTRLタイプ1" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="マニュアル" group="CTRLタイプ2" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="システム" group="CTRLタイプ2" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="主的" group="主従" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="従的" group="主従" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="統制環境" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="リスク評価" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="情報伝達" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="統制活動" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="ITへの対応" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="実施時期" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="年間発生件数" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="サンプル数" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="コントロールの実施部署" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="関連規定マニュアル等" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="関連法制度" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewName="コメント" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
</xsd:sequence>

```

iv) 表示タイプ (viewType)

値に、text, textarea, boolean を設定します。

```

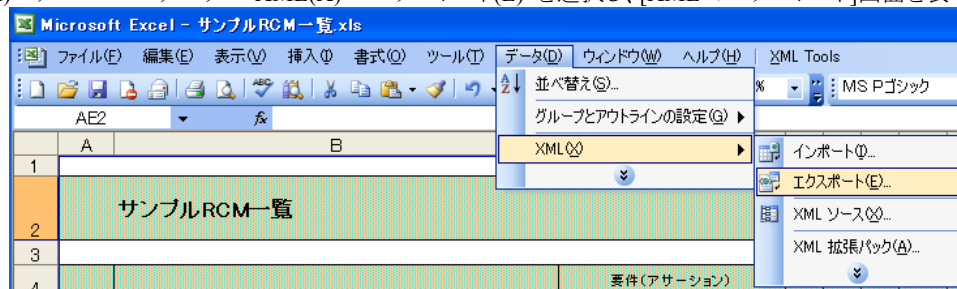
<xsd:sequence minOccurs="0">
  <xsd:element viewType="text" viewName="リスクNo." group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="textarea" viewName="リスク" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="実在性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="網羅性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="権利と義務の帰属" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="評価の妥当性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="期間配分の適切性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="表示の妥当性" group="要件 (アサーション)" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="資産保全" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="不正防止 (コンプライアンス)" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="重要科目・現金" group="" objType="risk" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="CTRLNo." group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="textarea" viewName="コントロール" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="予防" group="CTRLタイプ1" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="発見" group="CTRLタイプ1" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="マニュアル" group="CTRLタイプ2" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="システム" group="CTRLタイプ2" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="主的" group="主従" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="従的" group="主従" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="統制環境" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="リスク評価" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="情報伝達" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="統制活動" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="boolean" viewName="ITへの対応" group="基本的要素" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="実施時期" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="年間発生件数" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="サンプル数" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="コントロールの実施部署" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="関連規定マニュアル等" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="text" viewName="関連法制度" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
  <xsd:element viewType="textarea" viewName="コメント" group="" objType="control" minOccurs="0" nillable="true" />
</xsd:sequence>

```

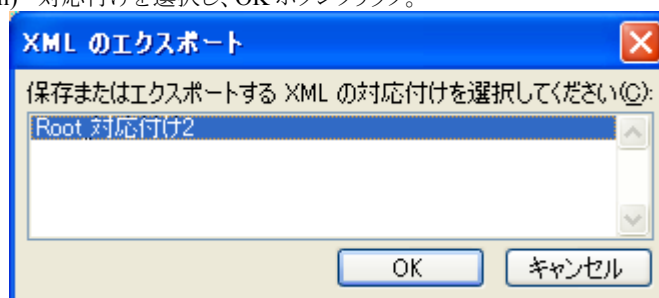
(5) XML データ作成

インポート XML データは以下の手順で作成します。

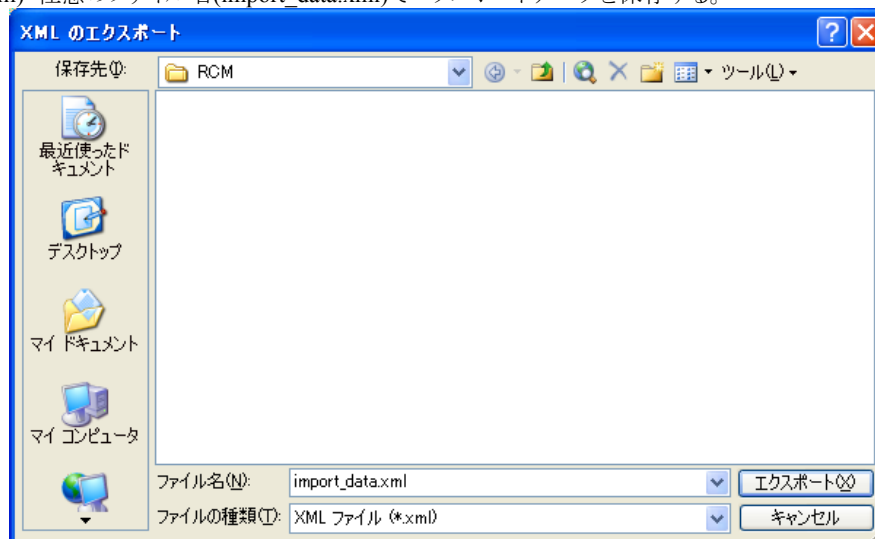
- i) メニュー > データ > XML(X) > エクスポート(E) を選択し、[XML のエクスポート]画面を表示。



- ii) 対応付けを選択し、OK ボタンクリック。



- iii) 任意のファイル名(import_data.xml)でエクスポートデータを保存する。

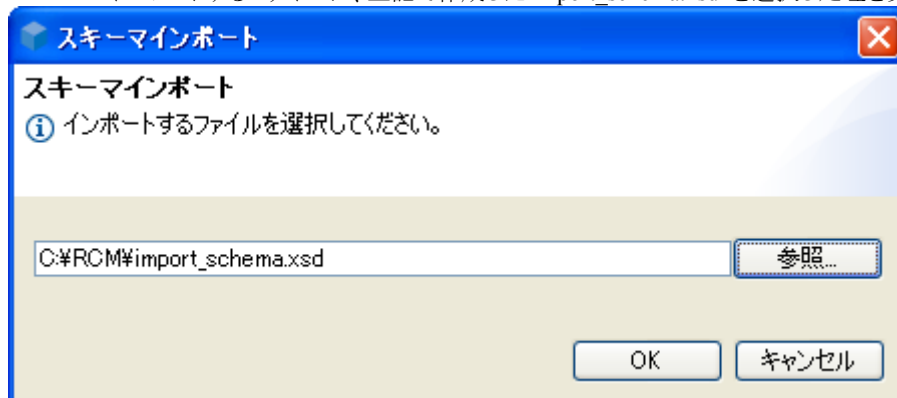


(6) スキーマと XML データのインポート

i) スキーマインポート

BPM|Designer のメニュー>RCM>スキーマインポート を選択し、[スキーマインポート]画面を表示します。

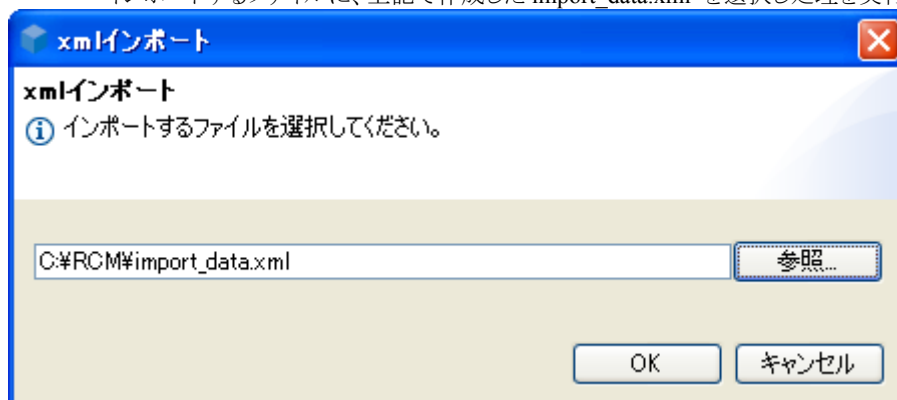
インポートするファイルに、上記で作成した import_schema.xsd を選択し処理を実行します。



ii) XML データインポート

BPM|Designer のメニュー>RCM>XML データインポート を選択し、[xml インポート]画面を表示します。

インポートするファイルに、上記で作成した import_data.xml を選択し処理を実行します。



(7) レポートデザインファイル(BIRT)の修正

データ定義(スキーマ)を変更すると、PDF 出力関連ファイル(レポートデザインファイル)の修正が必要になります。レポートデザインファイルは BIRT で修正を行います。BIRT の詳細は以下の URL を参照下さい。

<http://www.eclipse.org/birt/phenix/>

以下は、BIRT のレポートデザイン機能を使ってレポートデザインファイルの修正を行う手順を説明します。

i) 事前準備

以下の事前準備を行って下さい。

a.BIRT のインストール

b.上記 2.4.4 フォーマットを変更するの(1)～(5)までを実施

c.PDF出力を行う。(操作ガイド 2.6.2.5 RCM 出力の操作手順を実施してください)

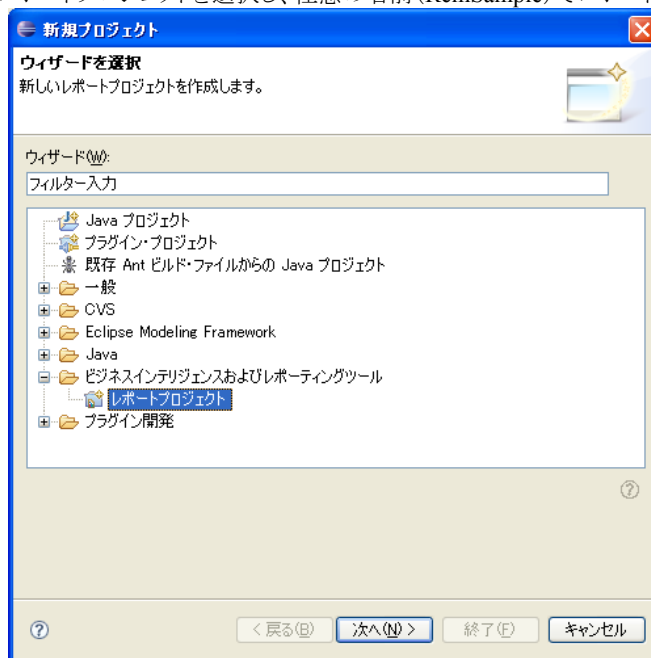
ii) レポートデザインファイルの取込

修正したいレポートデザインファイルを BIRT に取り込みます。レポートデザインファイルは以下の場所に格納されています。

<BPM|Designer のワークスペース>/_temp/ImBpmRcm.rptdesign

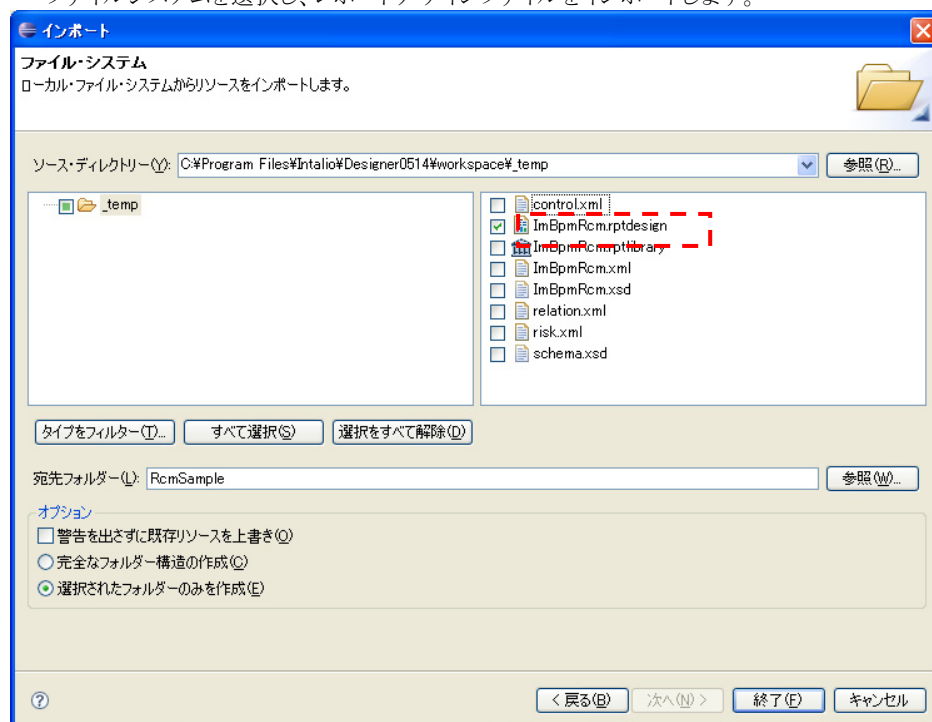
a. レポートプロジェクトの作成

BIRT のメニュー > ファイル > 新規 > プロジェクト を選択し、[新規プロジェクト]画面を表示。
レポートプロジェクトを選択し、任意の名前 (RcmSample) でレポートプロジェクトを作成します。



b. レポートデザインファイルのインポート

BIRT のメニュー > ファイル > インポート を選択し、[インポート]画面を表示。
ファイルシステムを選択し、レポートデザインファイルをインポートします。



iii) レポートデザインファイルの編集

レポートデザインファイルの編集では以下の作業を行います。

a. カラムデータの削除

プロセス名: [Process]

リスク No.	リスク	実在性	調整性	権利と義務の帰属	期間配分の適切性	表示の多当性	表示の多当性	不正防止	コントロール	子節	開発	マニュアル	システム	主節	従節	統制環境	リスク評価	情報伝達	監視活動	ITへの対応	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施部署	関連機能マニュアル等	コメント				
[Column1]	[Column2]	[Column3]	[Column4]	[Column5]	[Column6]	[Column7]	[Column8]	[Column9]	[Column10]	[Column11]	[Column12]	[Column13]	[Column14]	[Column15]	[Column16]	[Column17]	[Column18]	[Column19]	[Column20]	[Column21]	[Column22]	[Column23]	[Column24]	[Column25]	[Column26]	[Column27]	[Column28]	[Column29]	[Column30]

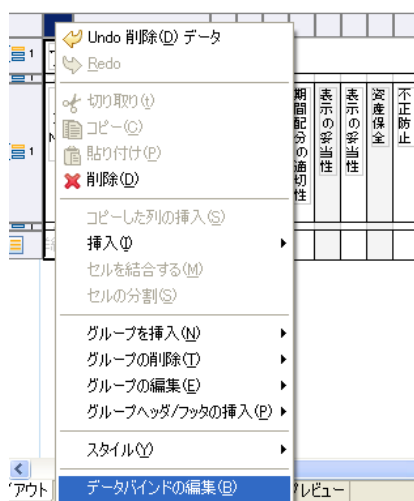
削除

プロセス名: [Process]

リスク No.	リスク	実在性	調整性	権利と義務の帰属	期間配分の適切性	表示の多当性	表示の多当性	不正防止	コントロール	子節	開発	マニュアル	システム	主節	従節	統制環境	リスク評価	情報伝達	監視活動	ITへの対応	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施部署	関連機能マニュアル等	コメント				
[Column1]	[Column2]	[Column3]	[Column4]	[Column5]	[Column6]	[Column7]	[Column8]	[Column9]	[Column10]	[Column11]	[Column12]	[Column13]	[Column14]	[Column15]	[Column16]	[Column17]	[Column18]	[Column19]	[Column20]	[Column21]	[Column22]	[Column23]	[Column24]	[Column25]	[Column26]	[Column27]	[Column28]	[Column29]	[Column30]

b. データバインドの削除

テーブルで右クリックし、データバインドの編集を選択し、[データバインド]画面を表示します。



設定されているデータバインドを全て削除します。

データバインド

データバインドの選択

データセット: [ImRcmDataSet] データセットパラメタのバインド

データカラムのバインド:

名前	データ型	式	統計条件
Process	文字列	dataSetRow["Process"]	N/A
Column1	文字列	dataSetRow["Column1"]	N/A
Column2	文字列	dataSetRow["Column2"]	N/A
Column3	文字列	dataSetRow["Column3"]	N/A
Column4	文字列	dataSetRow["Column4"]	N/A
Column5	文字列	dataSetRow["Column5"]	N/A
Column6	文字列	dataSetRow["Column6"]	N/A
Column7	文字列	dataSetRow["Column7"]	N/A
Column8	文字列	dataSetRow["Column8"]	N/A
Column9	文字列	dataSetRow["Column9"]	N/A
Column10	文字列	dataSetRow["Column10"]	N/A
Column11	文字列	dataSetRow["Column11"]	N/A
Column12	文字列	dataSetRow["Column12"]	N/A

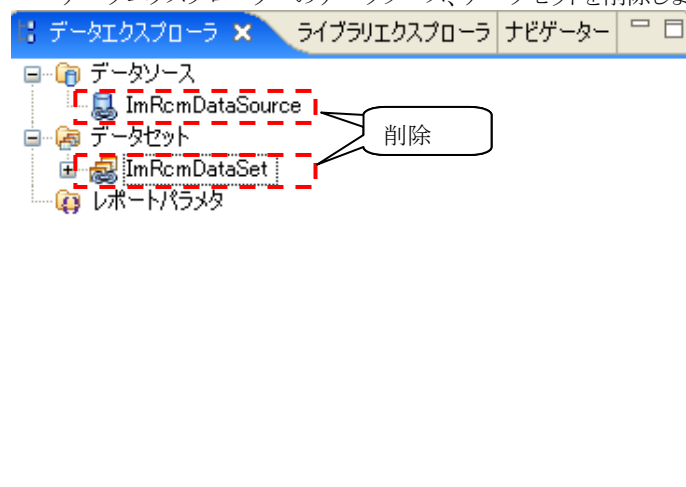
追加(A) 編集(E) 削除(D)

全て削除

OK キャンセル

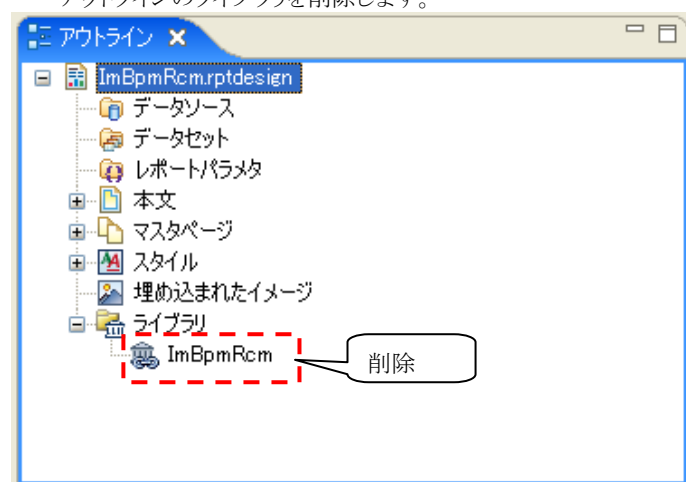
c. データソース、データセットの削除

データエクスプローラーのデータソース、データセットを削除します。



d. ライブラリの削除

アウトラインのライブラリを削除します。



e. カラムの編集

sample_rcm_list.xls の修正に合わせてカラムを修正します。

プロセス名:																												
リスク No	リスク	実在性	信頼性	期間配分の適切性	権利と義務の適正性	表示の多面性	表示の完全性	不正防止	重要科目・現金	CT R L J N O	コントロール	予防	発見	マニュアル	システム	主的	従的	統制環境	情報伝達	統制活動	ITへの対応	実施時期	実施頻度	サンプル数	コントロールの実施部署	関連規程・マニュアル等	関連法制度	コメント

追加（重要科目・現金）

追加（関連法制度）

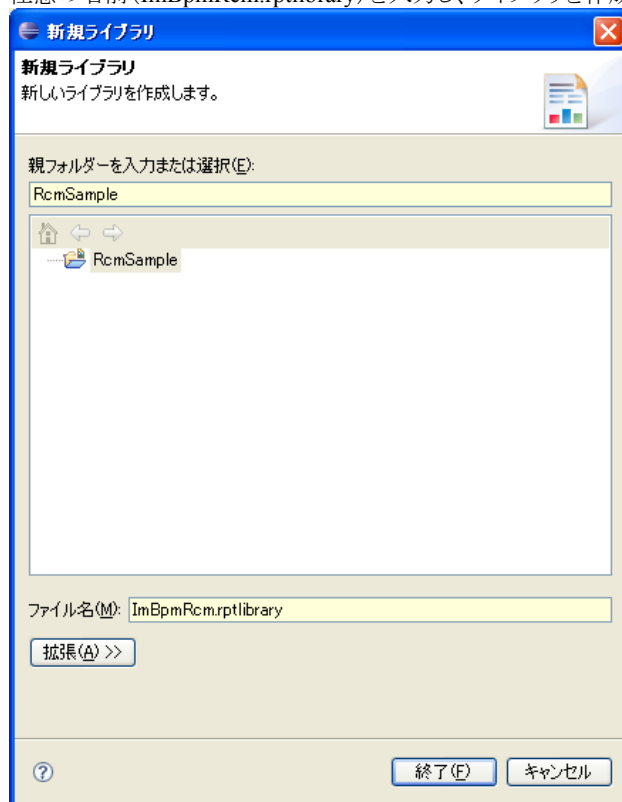
削除（監視活動）

iv) ライブラリの新規作成

a. ライブラリの作成

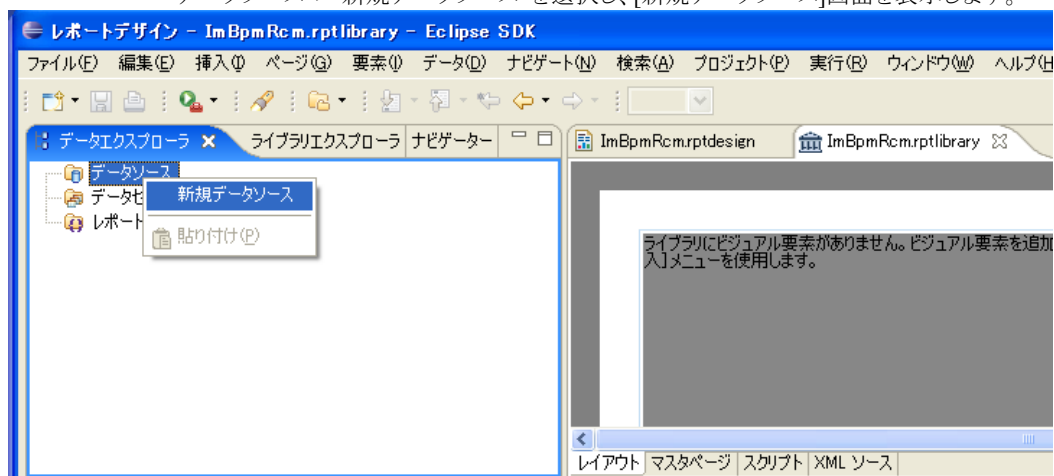
BIRT のメニュー > ファイル > 新規 > ライブラリ を選択し、[新規ライブラリ]画面を表示。

任意の名前 (ImBpmRcm.rptlibrary) を入力し、ライブラリを作成します。

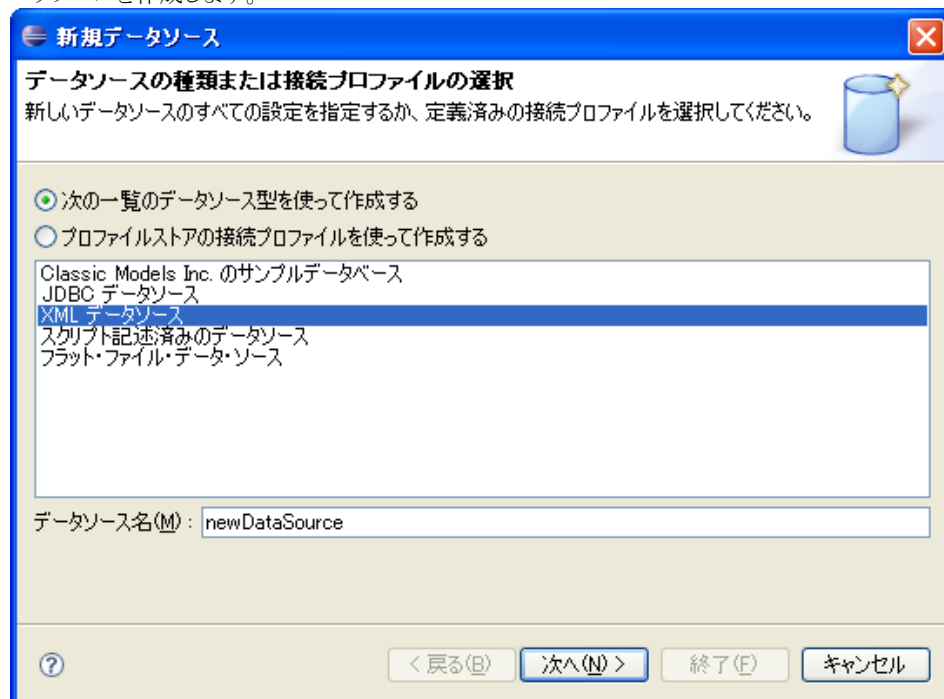


b. データソースの作成

新規作成したライブラリ (ImBpmRcm.rptlibrary) のデータエクスプローラ画面で、
データソース > 新規データソース を選択し、[新規データソース]画面を表示します。



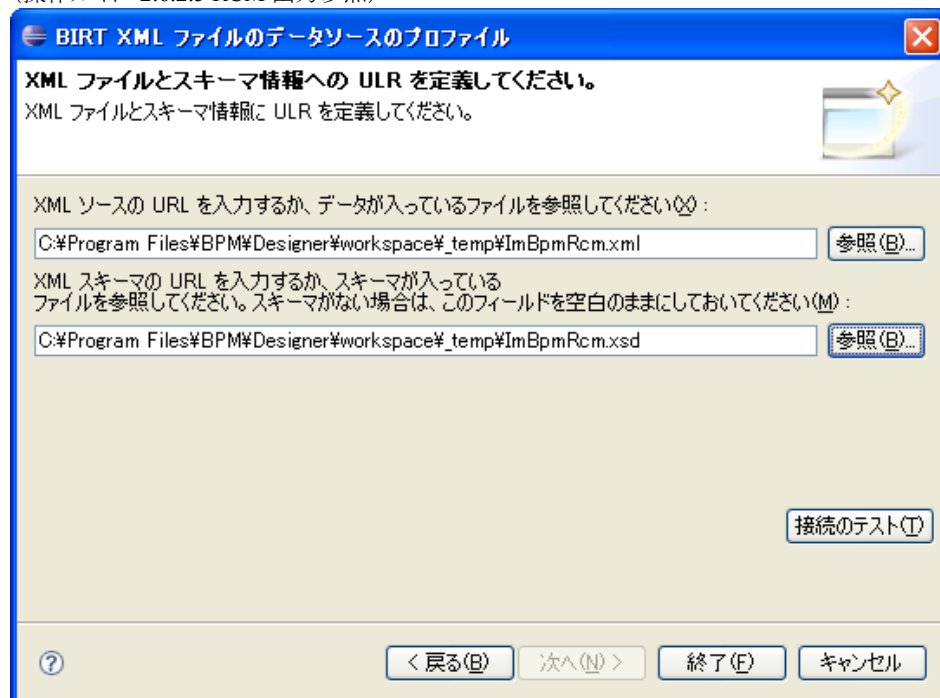
[新規データソース]画面で[XML データソース]を選択し、任意の名前 (newDataSource)を入力しデータソースを作成します。



< BPM|Designer のワークスペース>/_temp/にある XML ソースと XML スキーマを選択します。

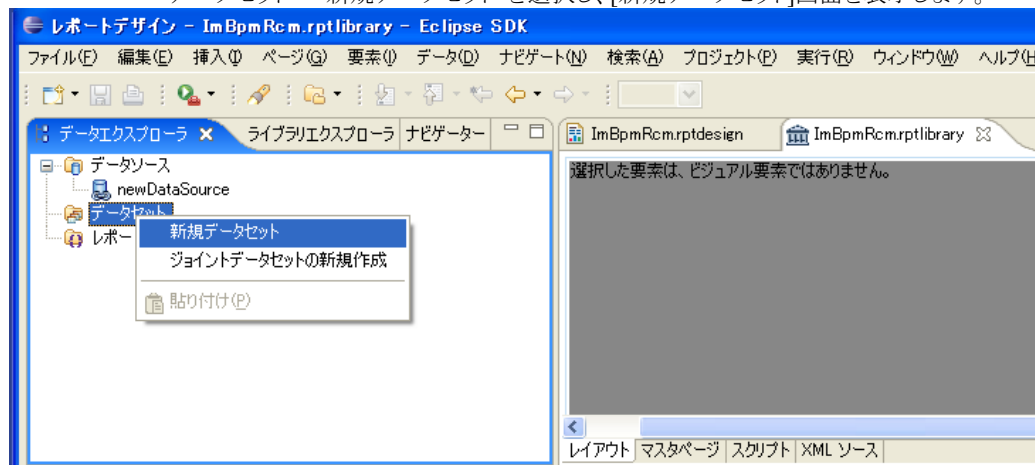
ImBpmRcm.xml が無い場合は、一度 PDF 出力を行って下さい。

(操作ガイド 2.6.2.5 RCM 出力参照)

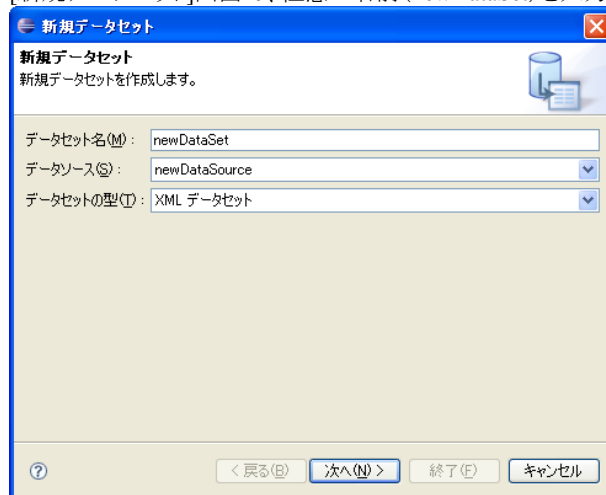


c. データセットの作成

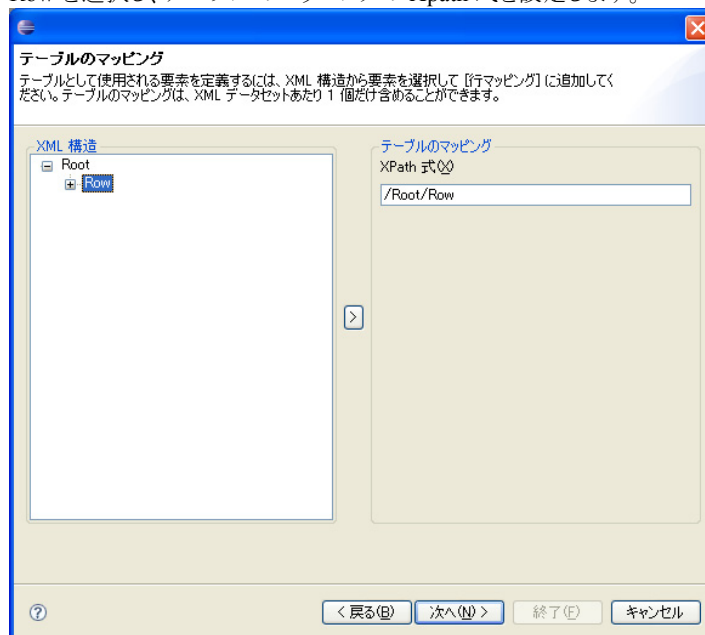
ライブラリ (ImBpmRcm.rptlibrary) のデータエクスプローラ画面で、
データセット > 新規データセット を選択し、[新規データセット]画面を表示します。



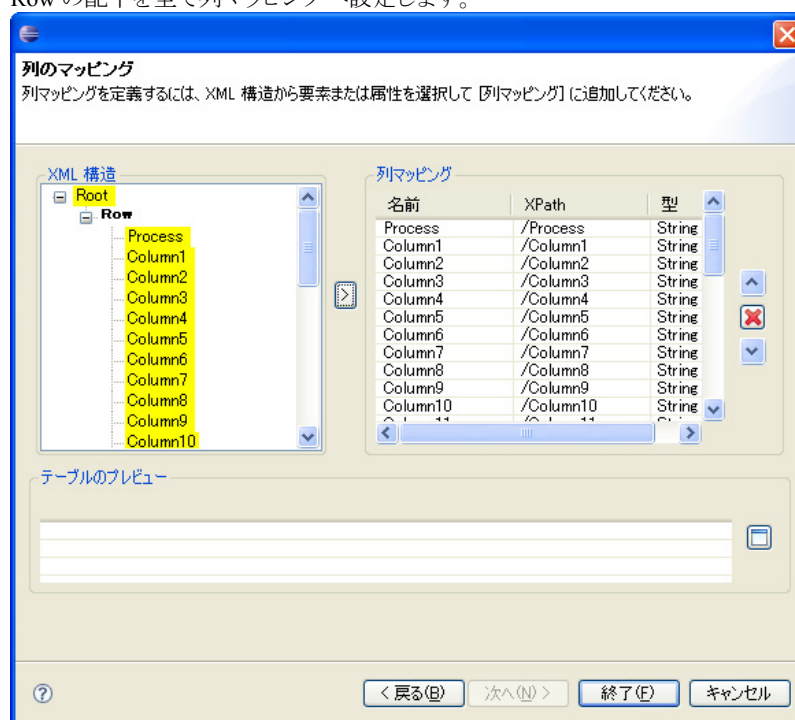
[新規データセット]画面で、任意の名前(newDataSet)を入力しデータセットを作成します。



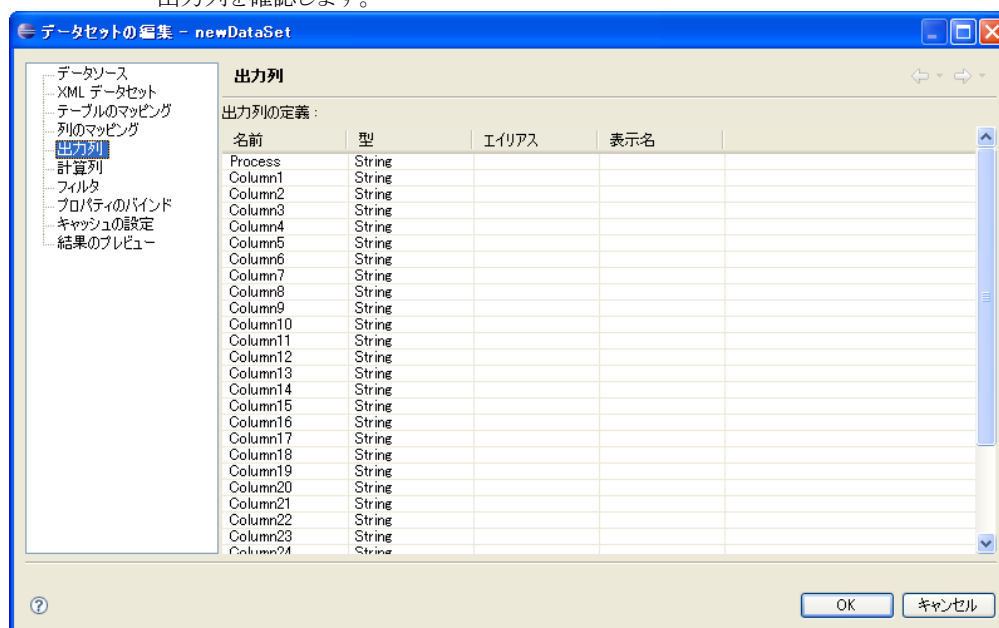
Row を選択し、テーブルのマッピングの Xpath 式を設定します。



Row の配下を全て列マッピングへ設定します。



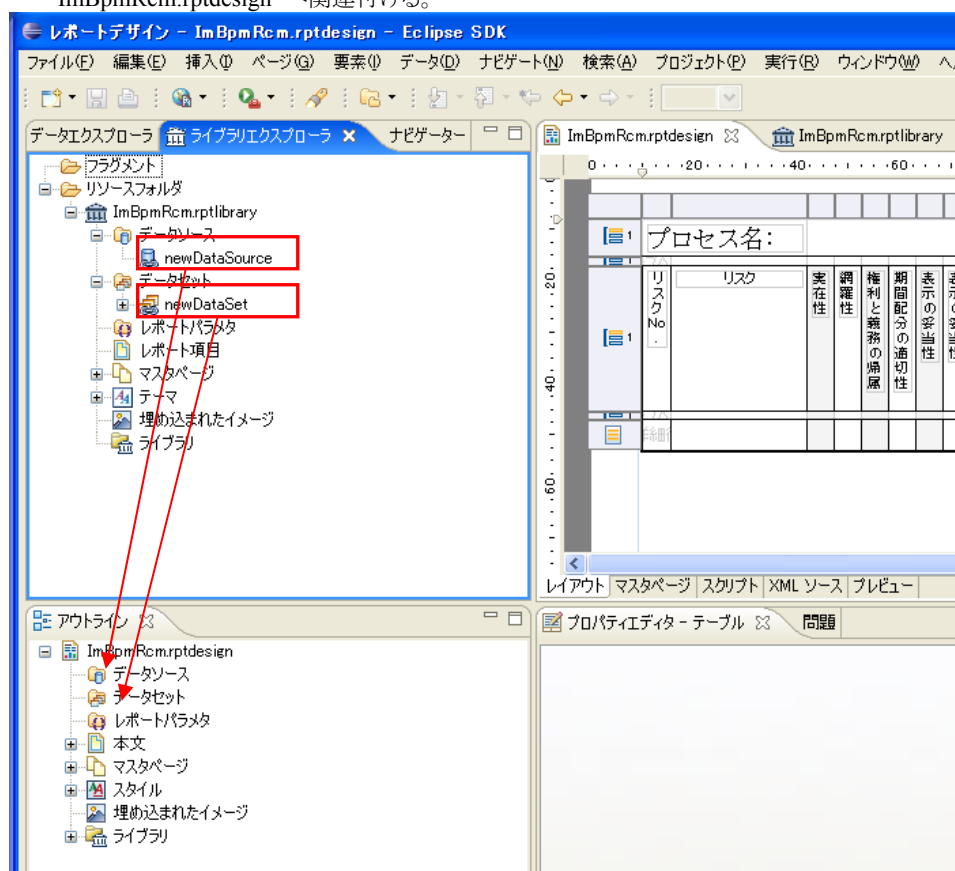
出力列を確認します。



v) レポートデザインのデータ設定

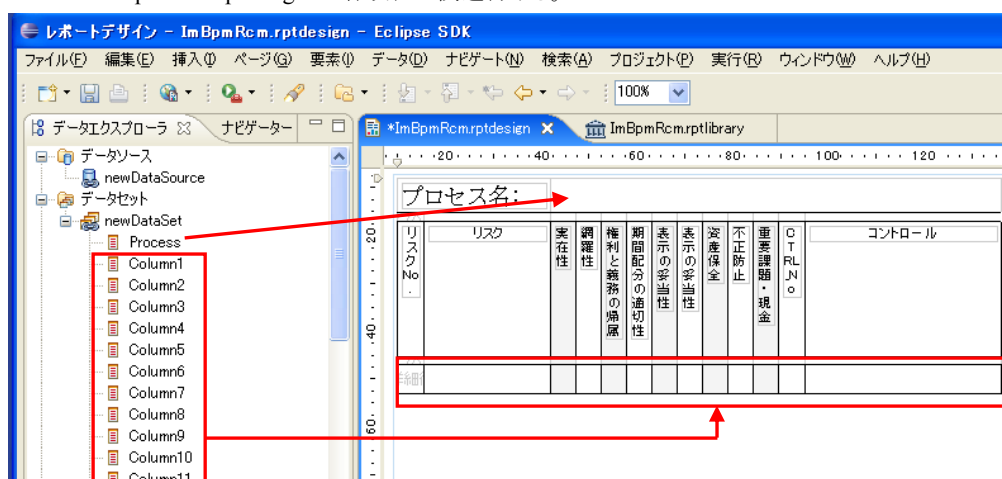
a. ライブラリとレポートデザインの関連付け

ライブラリエクスプローラ上にある newDataSource と newDataSet をドラッグ＆ドロップで ImBpmRcm.rptdesign へ関連付ける。



b. データセットとレポートデザインの関連付け

データエクスプローラ上にある newDataSet 配下のカラムデータをドラッグ＆ドロップで ImBpmRcm.rptdesign の各項目へ関連付ける。



以下のようにカラムデータをレポートデザインへ配置。

プロセス名: [Process]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

プレビュー表示を行い、データが正しくセットされたか確認する。

レポートパラメータを表示します。

プロセス名: RcmSampleDiagram01

リスク No	リスク	実在性	信頼性	権利と義務の帰属	期間配分の適切性	表示の妥当性	資産保全	不正防止	重要科目・現金	CTRL No	コントロール	予防	発見	マニュアル	システム	主幹	従的	統制環境	リスク評価	情報伝達	統制活動	ITへの対応	実施時期	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施部署	関連規程・マニュアル等	関連法制度	コメント						
RA05	規定で定められた売却権回収期間と異なる見解を提出することにより、権回収が遅れてしまうリスク		●	●						CA16	【コントロール16 販売管理システムによる支払期限の自動設定】 提出する見積書はすべて販売管理システムから自動作成するが、このとき規定で定められた支払期限情報も自動で設定される。	●			●	●							随時		営業本部	会計事務部									
-	-									CA01	【コントロール01 見積金額決定・値引き承認】 営業責任者／BPC責任者は、営業担当者が提案した値引き額を査閲し、粗利(営業)に何等な影響を及ぼすおそれのないかを検討のうえ、承認を行う。	●	●				●						随時		営業本部	販売管理規程									ここでは、毎月得意先ごとの製品別売値を決定し、これを在庫管理システムの販売単価マスターに登録し、販売価格はこの登録値に基づいて算出されています。コントロールの同様、このような場合はマスター登録の正確性を保証するコントロールが必要となります。このコントロールは、マスターに登録する販売単価自体をオ

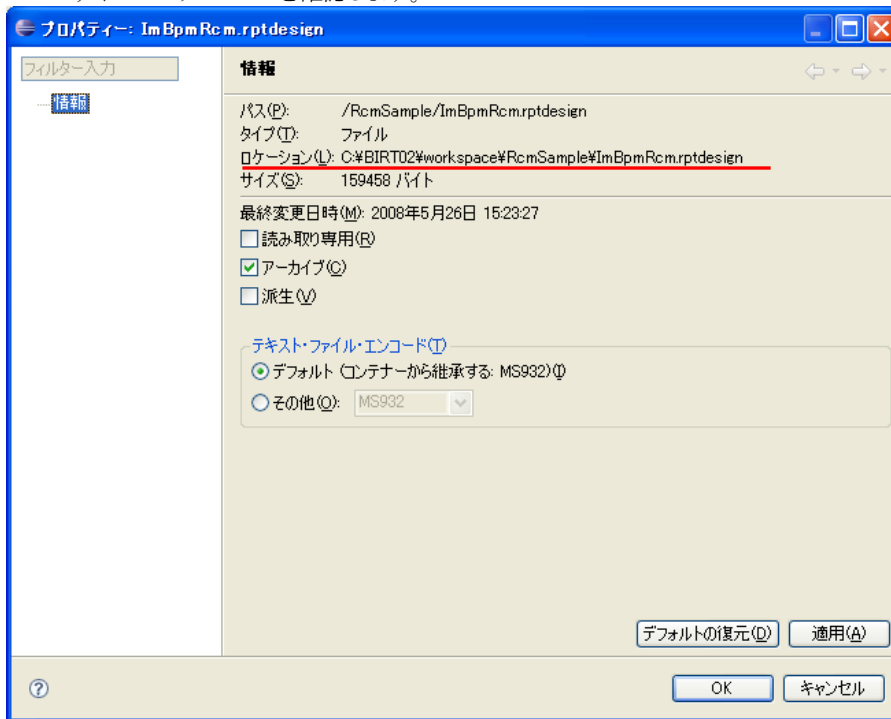
レイアウト マスタページ スクリプト XML ソース プレビュー

vi) レポートデザインファイルとライブラリファイルの更新

BIRT で作成したレポートデザインファイルとライブラリファイルで現在のファイルを上書きします。

a. コピー元ファイルの確認

ナビゲータ画面でレポートデザインファイル (ImBpmRcm.rptdesign) の[プロパティ]画面を開き、ファイルのロケーションを確認します。



ライブラリファイル (ImBpmRcm.rptlibrary) についても同様にファイルのロケーションを確認します。

b. ファイルの上書き

コピー元のファイルで以下のフォルダ配下のファイルを上書きします。

<BPM|Designer のワークスペース>/_temp

更新後、BPM|Designer を再起動して下さい。

(8) 修正箇所の確認

i) 画面

a. 検索画面

リスク検索

検索条件を指定し、OKボタンを押下して下さい。

検索条件

☒ キーワード ☐ ID

一致条件

☒ 前方一致 ☐ 部分一致

グループ	項目
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)
<input type="checkbox"/>	資産保全
<input type="checkbox"/>	不正防止(コンプライアンス)
<input checked="" type="checkbox"/>	重要科目・現金

追加 (重要科目・現金)

OK キャンセル

コントロール検索

検索条件を指定し、OKボタンを押下して下さい。

検索条件

☒ キーワード ☐ ID

一致条件

☒ 前方一致 ☐ 部分一致

グループ	項目
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ1
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ1
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ2
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ2
<input type="checkbox"/>	主従
<input type="checkbox"/>	主従
<input type="checkbox"/>	基本的要素
<input type="checkbox"/>	基本的要素
<input type="checkbox"/>	基本的要素
<input type="checkbox"/>	基本的要素
<input type="checkbox"/>	基本的要素
<input checked="" type="checkbox"/>	ITへの対応

削除 (監視活動)

OK キャンセル

b. 追加画面

リスク追加

リスク追加

追加情報を設定し、OKボタンを押下して下さい。

No
fh8ppezwa

リスク

グループ	項目
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	実在性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	網羅性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	権利と義務の帰属
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	評価の妥当性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	期間配分の適切性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	表示の妥当性
<input type="checkbox"/>	資産保全
<input type="checkbox"/>	不正防止(コンプライアンス)
<input type="checkbox"/>	重要科目・現金

追加 (重要科目・現金)

OK キャンセル

コントロール追加

コントロール追加

追加情報を設定し、OKボタンを押下して下さい。

No
fh8ppezwb

コントロール

グループ	項目
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ1	予防
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ1	発見
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ2	マニュアル
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ2	システム
<input type="checkbox"/> 主従	主的
<input type="checkbox"/> 主従	従的
<input type="checkbox"/> 基本的要素	統制環境
<input type="checkbox"/> 基本的要素	リスク評価
<input type="checkbox"/> 基本的要素	情報伝達
<input type="checkbox"/> 基本的要素	統制活動
<input type="checkbox"/> 基本的要素	ITへの対応

実施時期

年間発生件数

サンプル数

コントロールの実施部署

関連規定マニュアル等

関連法制度

コメント

追加 (関連法制度)

削除 (監視活動)

OK キャンセル

c. 編集画面

リスク編集

リスク編集

編集内容を設定し、OKボタンを押下して下さい。

No
RA01

リスク
承認手続きを経ない見積書が送付されることにより、実際よ

グループ	項目
<input checked="" type="checkbox"/> 要件(アサーション)	実在性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	網羅性
<input checked="" type="checkbox"/> 要件(アサーション)	権利と義務の帰属
<input checked="" type="checkbox"/> 要件(アサーション)	評価の妥当性
<input checked="" type="checkbox"/> 要件(アサーション)	期間配分の適切性
<input type="checkbox"/> 要件(アサーション)	表示の妥当性
<input type="checkbox"/> 資産保全	
<input checked="" type="checkbox"/>	不正防止(コンプライアンス)
<input type="checkbox"/>	重要科目・現金

追加 (重要科目・現金)

OK キャンセル

コントロール編集

コントロール編集

編集内容を設定し、OKボタンを押下して下さい。

No
CA01

コントロール
【コントロール01 見積金額決定-値引きの承認】
営業責任者／BPG責任者は、営業担当者が起案した値引

グループ	項目
<input checked="" type="checkbox"/> CTRLタイプ1	予防
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ1	発見
<input checked="" type="checkbox"/> CTRLタイプ2	マニュアル
<input type="checkbox"/> CTRLタイプ2	システム
<input type="checkbox"/> 主従	主的
<input checked="" type="checkbox"/> 主従	従的
<input type="checkbox"/> 基本的要素	統制環境
<input type="checkbox"/> 基本的要素	リスク評価
<input type="checkbox"/> 基本的要素	情報伝達
<input checked="" type="checkbox"/> 基本的要素	統制活動
<input type="checkbox"/> 基本的要素	ITへの対応

削除 (監視活動)

実施時期
随時

年間発生件数

サンプル数

コントロールの実施部署
営業本部

関連規定マニュアル等
販売規程利益管理規程

関連法制度
追加 (関連法制度)

コメント
ここでは、毎月得意先ごとの製品別売価を決定し、このコントロールは、マスターに登録すべき販売単価自

OK キャンセル

d. リレーション画面

リスクリレーション

リスクリレーション

RA01に紐付けるコントロールの検索。

検索条件: ☒ キーワード ☐ ID 一致条件: ☒ 前方一致 ☐ 部分一致

グループ 項目

<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ1	予防
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ1	発見
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ2	マニュアル
<input type="checkbox"/>	CTRLタイプ2	システム
<input type="checkbox"/>	主従	主的
<input type="checkbox"/>	主従	従的
<input type="checkbox"/>	基本的要素	統制環境
<input type="checkbox"/>	基本的要素	リスク評価
<input type="checkbox"/>	基本的要素	情報伝達
<input type="checkbox"/>	基本的要素	統制活動
<input type="checkbox"/>	基本的要素	ITへの対応

削除 (監視活動)

検索

検索結果からリスクに紐付けるコントロールを選択し、OKボタンを押下して下さい。

No	コントロール
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

OK キャンセル

コントロールリレーション

コントロールリレーション

CA01に紐付けるリスクの検索。

検索条件: ☒ キーワード ☐ ID 一致条件: ☒ 前方一致 ☐ 部分一致

グループ 項目

<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	実在性
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	網羅性
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	権利と義務の帰属
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	評価の妥当性
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	期間配分の適切性
<input type="checkbox"/>	要件(アサーション)	表示の妥当性
<input type="checkbox"/>		資産保全
<input type="checkbox"/>		不正防止(コンプライアンス)
<input type="checkbox"/>		重要科目・現金

追加 (重要科目・現金)

検索

検索結果からコントロールの検索に紐付けるリスクを選択し、OKボタンを押下して下さい。

No	リスク
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

OK キャンセル

e. 詳細画面

リスク詳細

RCM-Detail

No	リスク	実在性	網羅性	権利と義...	評価の妥...	期間配分...	表示の妥...	資産保全	不正防止...	重要科目・現金
RA01	承認手続きを経ない見積書が送...	○		○	○	○			○	

No	コントロール	予防	発見	マニュアル	システム	主的	従的	統制環境	リスク評価	情報伝達	統制活動	I
CA15	【コントロール15 見積-見積チ...	○		○								
CA02	【コントロール02 見積金額承認...	○		○			○					

追加（重要科目・現金）

コントロール詳細

RCM-Detail

No	リスク	実在性	網羅性	権利と義...	評価の妥...	期間配分...	表示の妥...	資産保全	不正防止...	重要科目・現金
RA01	承認手続きを経ない見積書が送...	○		○	○	○			○	

統制活動	ITへの対応	実施時期	年間発生件数	サンプル数	コントロールの実施	関連規定マニ...	関連法制度	コメント
○		随時			マーケティング本部...	販売規程利益管...		コントロール02はマスター登録する...
○		随時			営業本部			

削除（監視活動）

追加（関連法制度）

ii) PDF

リスク

プロセス名: RcmSampleDiagra

リスク No.	リスク	実 在 性	網 羅 性	権 利 と 義 務 の 適 切 性	期 間 配 分 の 妥 当 性	表 示 の 妥 当 性	資 産 保 全 性	不 正 防 止	重 要 科 目 ・ 現 金	CTRL No
RA05	規定で定められた 売掛債権回収期間と異なる見積 を提出することにより、 債権回収が遅れてしまうリスク			●	●					CA16

追加（重要科目・現金）

コントロール

予 防	発 見	マ ニ ュ ア ル	シ ス テ ム	主 的	従 的	統 制 環 境	情 報 伝 達	統 制 活 動	IT への 対 応	実施 時期	年間 発生 件数	サン プル 数	コン トロ ールの 実施 部署	関連 規程 マニ ュアル 等	関連 法 制 度	コメント
●		●	●					●	●	随時			営業本部	会計事務		

削除（監視活動）

追加（関連法制度）

2.5 WebServiceによるプロセスの開始サンプル

WebService によるプロセスの開始サンプルについて解説します。このサンプルは、プロジェクトとして以下のファイルが BPM|Designer に同梱されています。

- WebService によるプロセスの開始サンプルプロジェクト
sample_process_start_webservice.zip

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に (※インストールする項目で「サンプル」を指定した場合のみ)、以下のフォルダに格納されます。

- ◆ [サンプルの格納場所]
%BPM|Designer% /samples

2.5.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート
[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクトをインポートします。
BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2 プロジェクトの作成」を参照ください。
2. サンプルプロジェクトのデプロイ
インポートしたサンプルプロジェクトを BPM|Server へデプロイします。
BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を参照ください。
3. WebService の intra-mart メニューへの登録
WebService をメニューに登録します。
パス : sample/bpms/from_webservice/invoke.jssp
ロール : ユーザ設定ロール
4. WSDL ファイルの修正
WSDL ファイルのエンドポイントを修正します。以下のとおりに、BPM|Server のアドレス:ポート番号に修正してください。
修正する WSDL ファイル: %Storage Service% / system/sample/bpms/ invokeFromWS-BPM.wsdl

34 行目～38 行目の抜粋

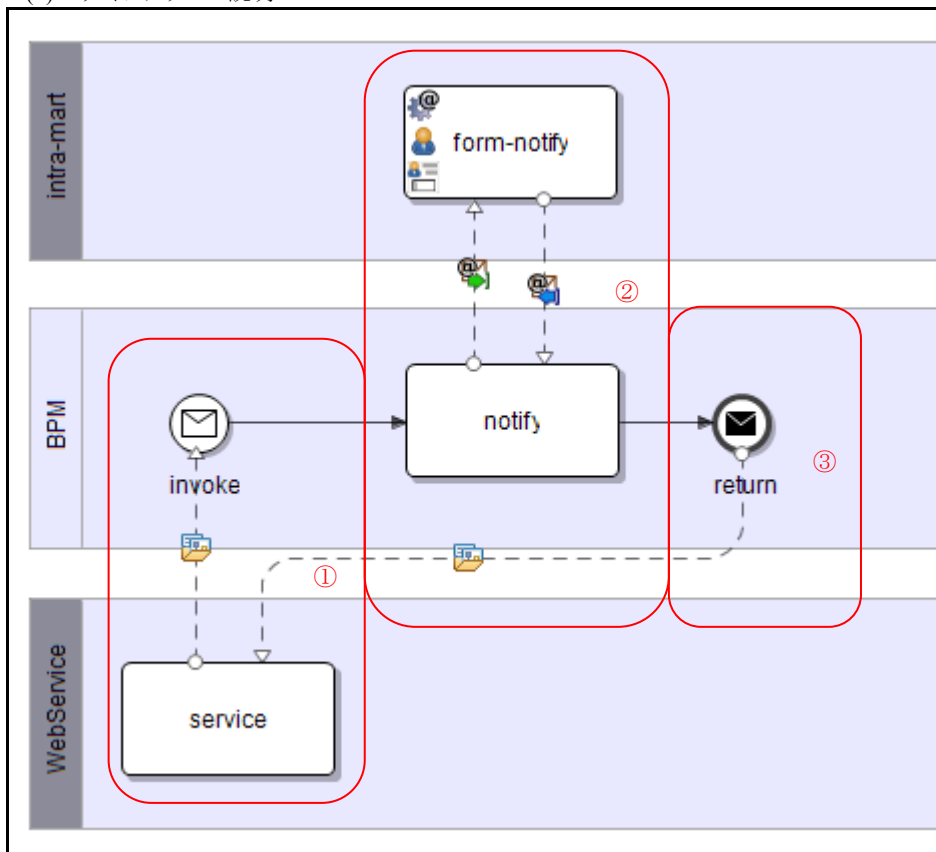
```
<wsdl:service name="CanonicServiceForWebService">
  <wsdl:port name="canonicPort" binding="this:CanonicBindingForWebService">
    <soap:address location="http://localhost:8080/ode/processes/invokeProcessFromWebService/invokeFromWS/BPM/WebService">
    </wsdl:port>
  </wsdl:service>
```

(例) BPM|Server の IP アドレス:ポート番号が 192.168.1.10:80 の場合

```
<soap:address location="http:// 192.168.1.10:80/ode/processes/invokeProcessFrom...">
```

2.5.2 WebServiceによるプロセスの開始サンプル実行手順

(1) ダイアグラムの説明



このプロセスは WebService を経由して BPM プロセスを開始、プロセスが実行されたことを通知するプロセスのサンプルです。

外部サーバからプロセスの開始をリクエストすると、BPM サーバが外部サーバからデータを受け取り、プロセスを開始します(①)。プロセスが開始されると、開始に成功したことが通知タスクで通知されます。(①→②)プロセス開始後、開始タスクで受け取ったデータと、プロセスの実行結果がもとのサーバへ送信されます。(②→③)

(2) サンプル実行手順

i) ログイン(一般ユーザ)

ユーザ設定ロールを持つユーザでログインします。

ii) WebService の起動

メニューに登録した画面を開くと、プロセス開始画面が表示されます。この画面では、BPM サーバに送信する内容を入力します。

画面の各項目の説明

- 案件名
通知画面に表示される案件名です。
- 担当者名
通知詳細画面に表示される名前です。
- 送信メッセージ
送信するメッセージです。

入力し終わったら開始ボタンをクリックします。プロセスが開始され、結果表示画面へ遷移します。

iii) プロセス開始結果の表示

プロセスの開始に成功すると、以下の開始結果画面が表示されます。

サーバーからの返答	
ステータス	OK
案件名	WebService1によるプロセスの開始サンプル
担当者名	青柳辰巳
開始日時	2008/06/17 14:03
送信メッセージ	ここに入力した内容が送信されます。

画面の各項目の説明

- ステータス
プロセスの実行結果です。
- 案件名
開始画面で入力した案件名が表示されます。
- 担当者名
開始画面で入力した担当者名が表示されます。
- 開始日時
開始画面で入力した、プロセスの開始を要求した日時が表示されます。
(BPM サーバ上でプロセスが開始された日時ではありません)。
- 送信メッセージ
開始画面で入力した送信メッセージが表示されます。

※ プロセスの開始に失敗した場合、エラー画面が表示されます。

iv) BPM 通知画面

プロセスを開始した後は、BPM の通知画面で結果を確認できます。

メニューの[BPM]―[通知]をクリックすると、以下の画面が表示されます。一覧表示されている案件名の中に、プロセス開始画面で入力した案件名があるので、左のアイコンをクリックして詳細画面を開きます。



通知	案件名	通知日
	WebServiceによるプロセスの開始サンプル	2008/06/17 14:03
	WebServiceによるプロセスの開始サンプル	2008/06/17 13:50

v) BPM 通知詳細画面

通知詳細画面では、プロセスが開始されたことが確認できます。

タイトルバーに案件名、XForm の画面で担当者名、開始日時、送信メッセージが表示されます。



担当者: 青柳辰巳

起票日時: 2008/06/17 14:03

送信内容: ここに入力した内容が送信されます。

2.6 Excel_BPM連携サンプル

Excel_BPM連携サンプルについて解説します。Excel_BPMの連携サンプルは、BPM|Designerに同梱されており、以下のプロジェクト及びExcelフォームが用意されています。

- Excel_BPM 連携サンプルプロジェクト(旅費申請)
sample_excel_ryohi.zip
- Excel フォーム(旅費申請)
sample_excelform.zip

サンプルプロジェクトは BPM|Designer をインストール時に(※インストールする項目で「samples」を指定した場合のみ)、以下のフォルダに格納されます。

- ◆ [サンプルの格納場所]
%BPM|Designer% /samples/ sample_bpm_excel

2.6.1 事前準備

本サンプルを実行するには、以下の準備が必要となります。

1. サンプルプロジェクトのインポート

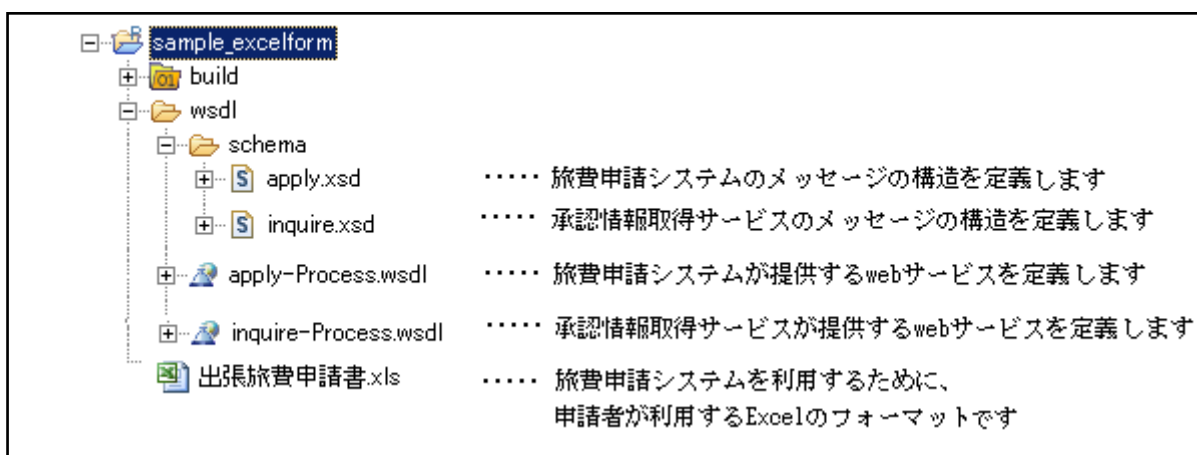
[サンプルプロジェクトの格納場所]より、ワークスペースへサンプルプロジェクト「sample_excel_ryohi.zip」をインポートします。

- ◆ BPM|Designer でのプロジェクトのインポートの操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.2 プロジェクトの作成」を参照ください。

2. Excel フォームの設置

「sample_excelform.zip」を任意のフォルダに解凍します。

解凍後、以下のファイル及びフォルダが作成されます。



※ sample_excelform/wsdl フォルダは、出張旅費申請書.xls と同一フォルダに配置する必要があります。

※ 出張旅費申請書を利用するために、Excel の設定で、マクロのセキュリティレベルを「中」にしてください。

※ Excel のマクロでウェブサービスを呼び出すためのスタブを作成するため、Web Service Toolkit の機能が必要になります。クライアント環境要件は以下の通りです。

OS: Windows 2000; Windows Server 2003; Windows XP

アプリケーション: Excel 2003

参考 URL:

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=FA36018A-E1CF-48A3-9B35-169D819ECF18&displaylang=ja>

3. ファイルの書き換え

BPM|Server 及び iwp のインストール環境に応じて、ファイルの編集が必要になります。
編集が必要なファイルは、以下の通りです。

○ ファイル格納場所 : sample_excelform/wsd/apply-Process.wsdl

36 行目

```
<soap:address location="http://localhost:8080/ode/processes/sample_excel_ryohi/apply/Process/applicant"/>
  localhost:8080 => { BPM|Server の IP アドレス }:{ ポート番号 }
```

○ ファイル格納場所 : sample_excelform/wsd/inquire-Process.wsdl

36 行目

```
<soap:address location="http://localhost:8080/ode/processes/sample_excel_ryohi/inquire/Process/Applicant"/>
  localhost:8080 => { BPM|Server の IP アドレス }:{ ポート番号 }
```

○ ファイル格納場所 : sample_excel_ryohi/service/calc_fare/calc_fare-Server.wsdl

37 行目

```
<soap:address location="http://localhost:8080/ode/processes/sample_excel_ryohi/calc_fare/Server/Client"/>
  localhost:8080 => { BPM|Server の IP アドレス }:{ ポート番号 }
```

○ ファイル格納場所 : sample_excel_ryohi/service/read_permanent/ReadPermanentService.wsdl

localhost:8088 => { iwp インストール時に指定した IP アドレス }:{ ポート番号 }

84 行目

```
<soap:address location="http:// localhost:8088 /
  imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpSoap11Endpoint" />
```

87 行目

```
<soap12:address location="http:// localhost:8088/
  imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpSoap12Endpoint" />
```

90 行目

```
<http:address location="http:// localhost:8088/
  imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpEndpoint" />
```

○ ファイル格納場所 : sample_excel_ryohi/service/write_permanent/WritePermanentService.wsdl

localhost:8088 => { iwp インストール時に指定した IP アドレス }:{ ポート番号 }

85 行目

```
<soap:address location="http:// localhost:8088/
  imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpSoap11Endpoint" />
```

88 行目

```
<soap12:address location="http:// localhost:8088/
  imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpSoap12Endpoint" />
```

91 行目

```
<http:address location="http:// localhost:8088/
  imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpEndpoint" />
```

注意) ファイルの書換えを行うと権限がクリアされますので、権限の設定はファイルの書換え後に行ってください。

○ ファイル格納場所 :

% AppRuntime % /doc/imart/WEB-INF/services/im_bpms_permanent_obj_read/META-INF/ReadPermanentObjService.wsdl
%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT% ⇒ { iwp インストール時に指定した IP アドレス } : { ポート番号 }

```
84 行目
<soap:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpSoap11Endpoint" />

87 行目
<soap12:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpSoap12Endpoint" />

90 行目
<http:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/ReadPermanentObjService.ReadPermanentObjServiceHttpEndpoint" />
```

○ ファイル格納場所 :

% AppRuntime % /doc/imart/WEB-INF/services/im_bpms_permanent_obj_wite/META-INF/WritePermanentObjService.wsdl
%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT% ⇒ { iwp インストール時に指定した IP アドレス } : { ポート番号 }

```
85 行目
<soap:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpSoap11Endpoint" />

88 行目
<soap12:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpSoap12Endpoint" />

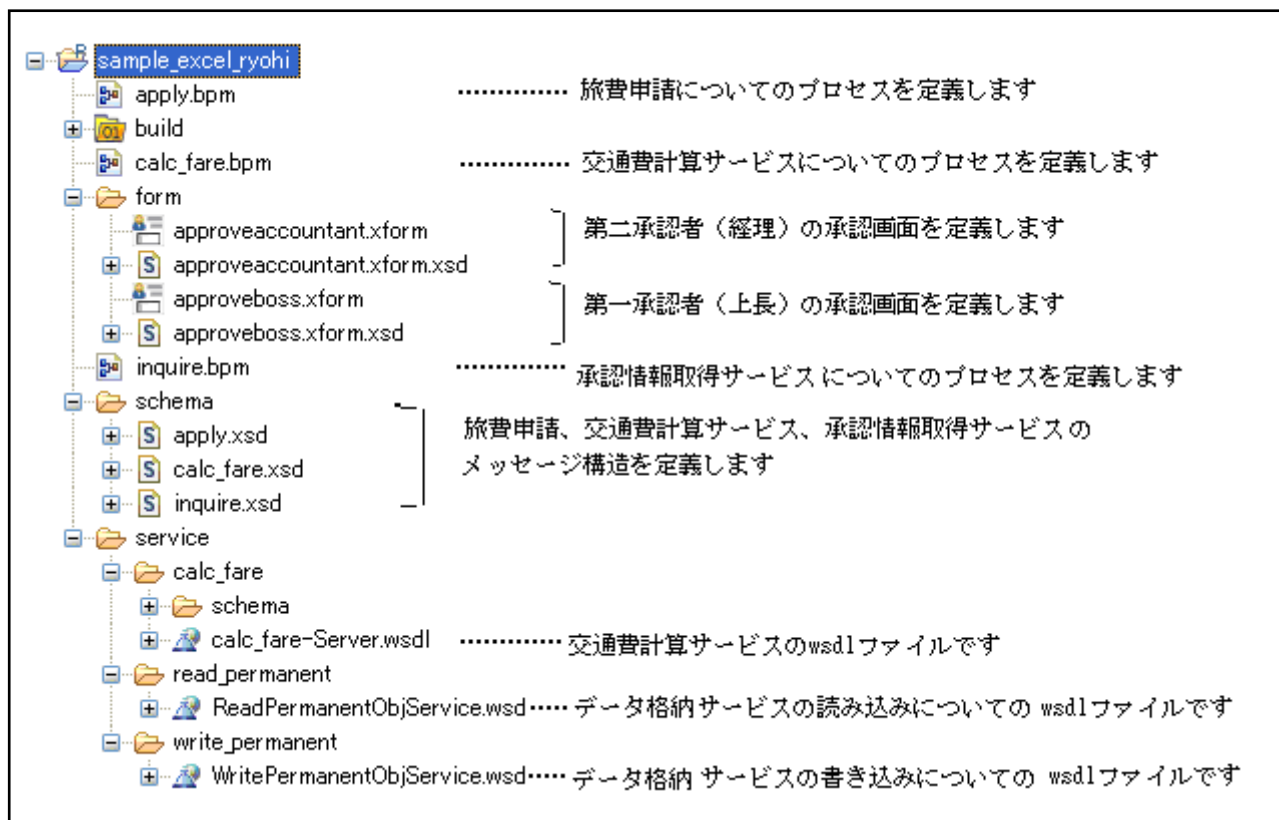
91 行目
<http:address location="http://%IWP_HTTP_ADDRESS%:%IWP_HTTP_PORT%/
    imart/services/WritePermanentObjService.WritePermanentObjServiceHttpEndpoint" />
```

4. サンプルプロジェクトのデプロイ
インポートしたサンプルプロジェクト「[sample_excel_ryohi](#)」を BPM|Server へデプロイします。
BPM|Designer でのプロジェクトのデプロイ操作方法については、「BPM|Designer 操作ガイド 1.6 デプロイ」を
参照ください。

2.6.2 サンプルフローの説明

(1) ファイル構成

本サンプルのファイル構成は以下の通りです。



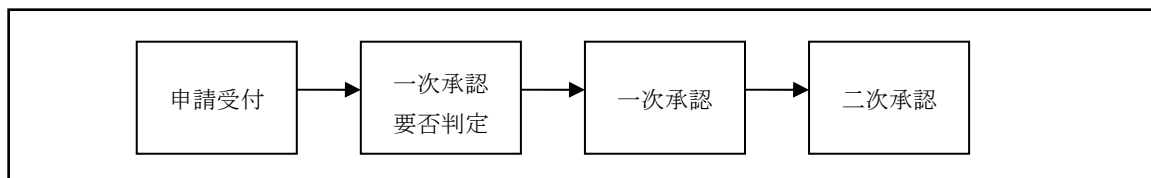
※ データ格納サービス(PermanentObj)は iwp 以下に配置されます。

{ iwp インストールフォルダ } /doc/imart/WEB-INF/classes/sample/bpms/permanent

(2) サンプル概要

(i) サンプル略図

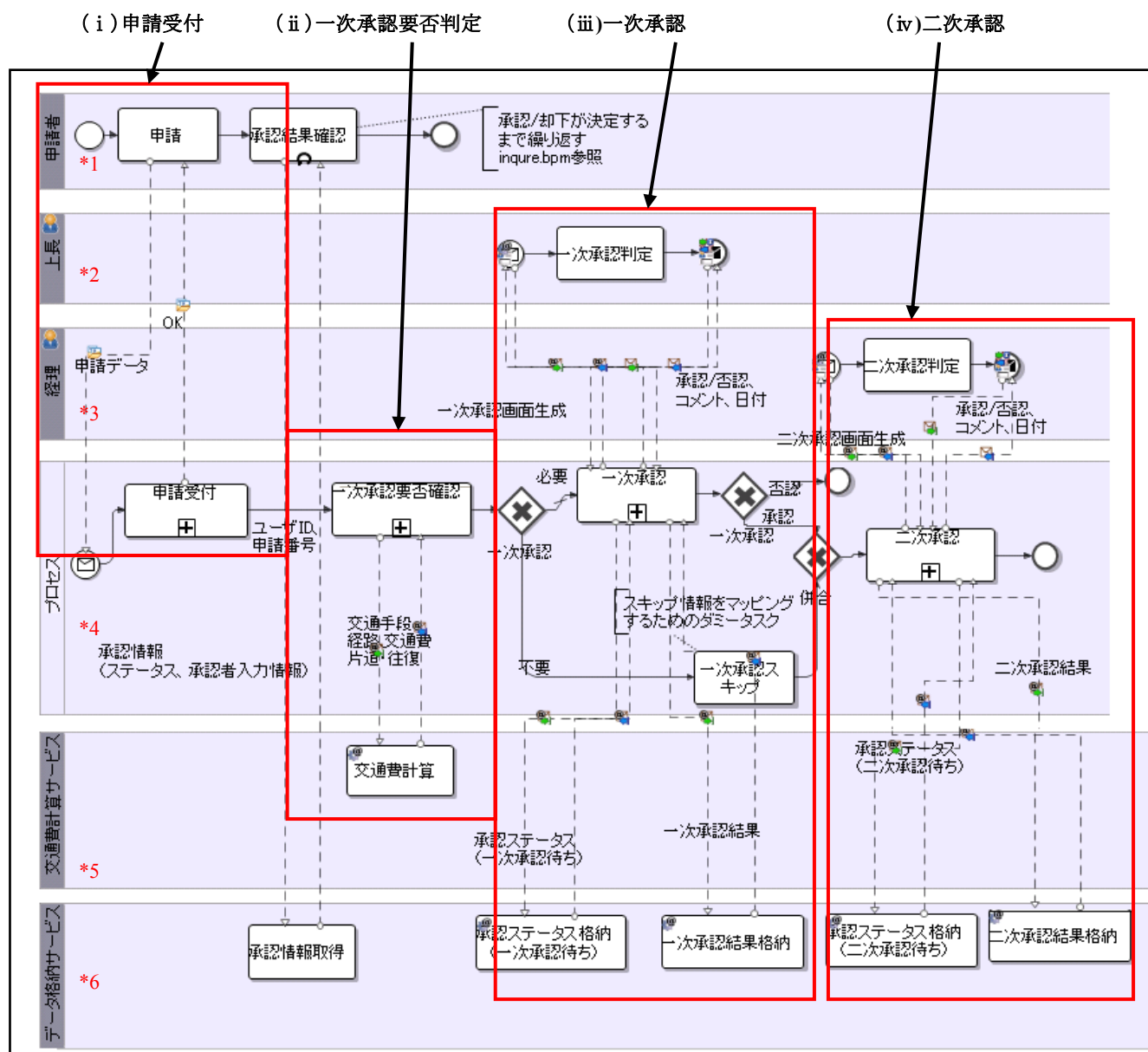
本サンプルは、申請者が作成したドキュメント(旅費申請書)につき、一次承認者、二次承認者が承認することでフローが終了するドキュメントワークフローです。



(ii) 全体像

本サンプルの全体像を下に示します。

本サンプルのダイアグラムは、以下のブロックによって構成されています。



*1 申請者:旅費申請を行う申請者を表します。

- *2 上長:一次承認を行う上長を表します。
- *3 経理:二次承認を行う経理を表します。
- *4 プロセス:サーバサイドのプロセスを表します。
- *5 交通費計算サービス:交通費計算機能を持つウェブサービス(後述)を表します。
- *6 データ格納サービス:承認情報を格納する機能を持つウェブサービス(後述)を表します。

(iii) サンプルにおける権限の設定

本サンプルでは権限が設定されていませんので任意の権限設定を行って下さい。

このあとの説明では、ダイアグラム上の各プールへの権限設定を以下のように行ったとして記述しています。

同様の手順で確認される場合は、同じ権限で設定されることを推奨いたします。。

- 上長 : (組織+役職)サンプル会社/サンプル部門01/課長
 - ※ 役職に「サンプル部門01:課長」設定が必要になります。
 - ※ サンプルデータ上の該当者は、「片山聡」です。
- 経理 : (組織)サンプル会社/サンプル部門01/サンプル課12
 - ※ サンプルデータ上の該当者は「円山益男」です。

(iv) サンプルの機能

本サンプルのダイアグラムでは、Excel 申請書と BPM を連携させることにより、Excel で起票・申請した旅費申請について、BPM 上で承認処理を行います。

- ・ 申請受付 : 申請者が起票・申請した申請書につき、申請を受理します。
- ・ 一次承認要否判定 : 申請内容から、一次承認(上長による承認)が必要か判定します。
- ・ 一次承認 : 一次承認要否判定において、一次承認が必要と判断された場合は、上長が一次承認を行います。
- ・ 二次承認 : 経理が二次承認を行います。

(v) 連携するウェブサービスの説明

本サンプルのダイアグラムで BPM と連携するウェブサービスとして、以下のサービスがあります。

○ 交通費計算

Designer 上の calc_fare.bpm に対応するサービスです。

一定の条件を満たす場合(利用交通機関が電車またはバスの場合)に、本サービスを利用し、交通費の計算を行います。

本サンプルでは、以下の場合にのみ、交通費計算サービスによって交通費の計算が行われます。

交通手段 : 電車

経路判定 : 新橋-溜池山王

片道・往復判定 : 片道または往復

その他の場合は、本サービスでは「サポート外」として処理されます。

交通費計算サービスでは、以下の処理が行われます。

- ・ 交通費計算

○データ格納サービス

iwp 上のサーバモジュール(Read/WritePermanentObject)に対応したサービスです。

申請者はプロセスの進捗状況を確認する際に、本サービスから承認情報を取得することによって、承認結果について問い合わせすることができます。

データ格納サービスでは、以下の処理が行われます。

- ・ 承認情報取得 : 承認ステータスについて「申請中」状態を格納します
- ・ 承認ステータス格納(一次承認待ち) : 承認ステータスについて「一次承認待ち」状態を格納します
- ・ 一次承認結果格納 : 一次承認者の承認者名・承認日・結果・コメント・ステータスを格納します
- ・ 承認ステータス格納(二次承認待ち) : 承認ステータスについて「二次承認待ち」状態を格納します
- ・ 二次承認結果格納 : 二次承認者の承認者名・承認日・結果・コメント・ステータスを格納します

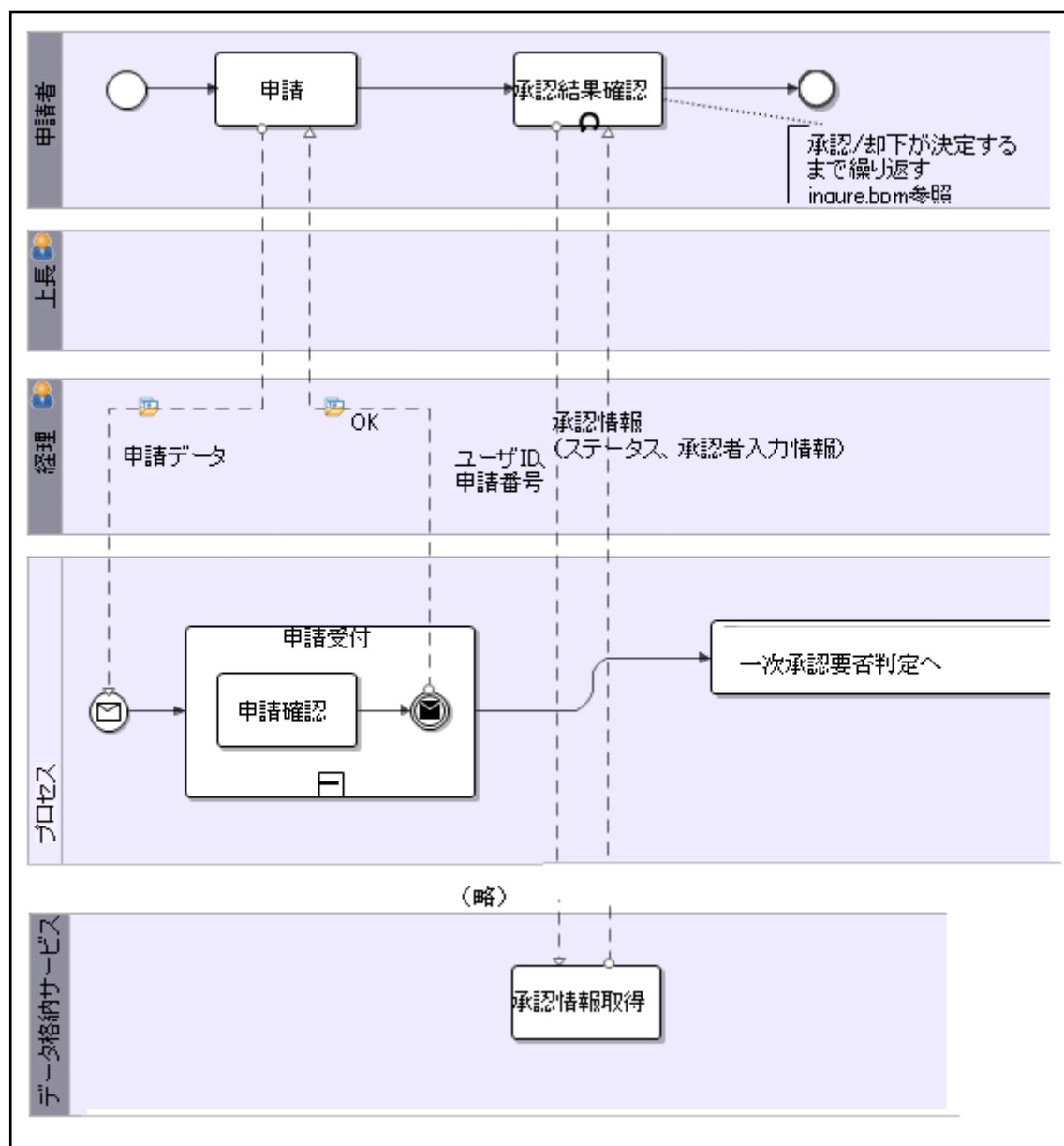
(3) 旅費申請ダイアグラム

旅費申請ダイアグラムについて、上記の4ブロックに分けて、解説します。

(i) 申請受付

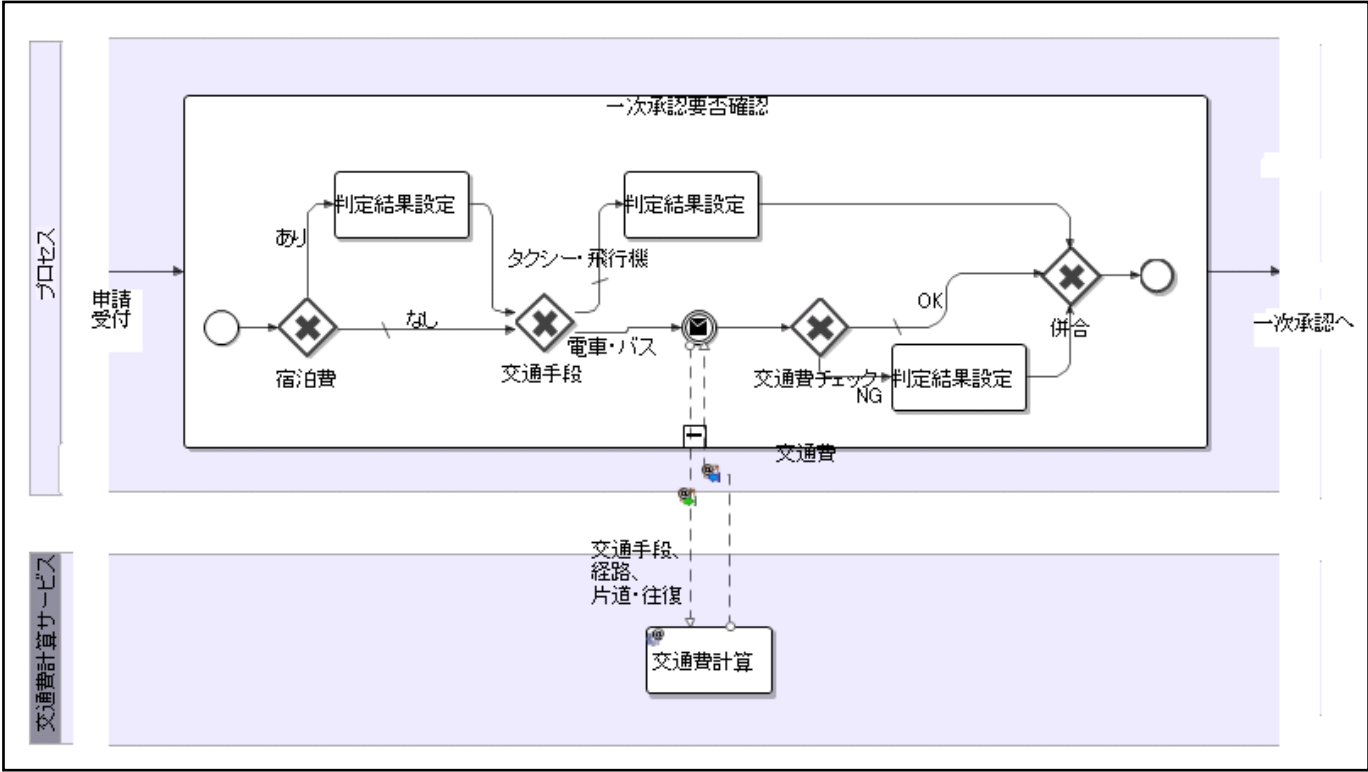
申請内容に不足がない場合、申請は受理され、受理された申請は、一次承認要否判定に流れます。

申請受理後、Excel ファイルを開く都度、承認情報を確認し結果が Excel に反映されます。



(ii) 一次承認要否判定

受理された申請書は、その内容に応じて、上長による一次承認の要否について判定を受けます。



一次承認の要否は、宿泊費・交通手段・交通費計算サービスによる交通費チェックの結果 (OK または NG) により、決定します。

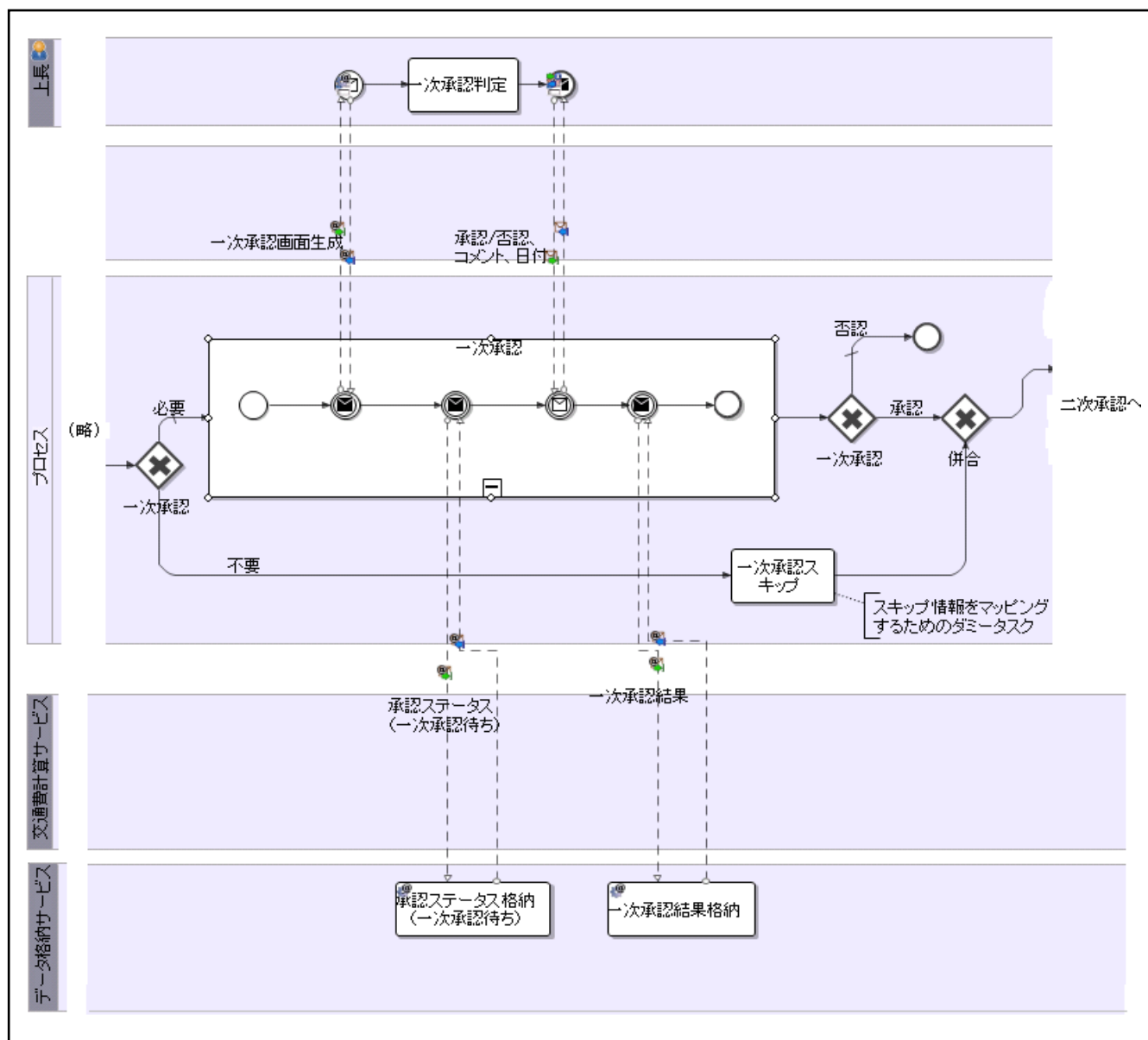
一次承認の要否については、下表の通りです。

宿泊費	なし	あり	-	-
交通手段	電車・バス	-	タクシー・飛行機	-
交通費計算	OK	-	-	NG
一次承認	不要	要	要	要
二次承認	要	要	要	要

(iii) 一次承認

上長による一次承認を必要とする場合、一次承認者が承認または否認の判定を行うタイミングで、データ格納サービスに承認情報を格納します。

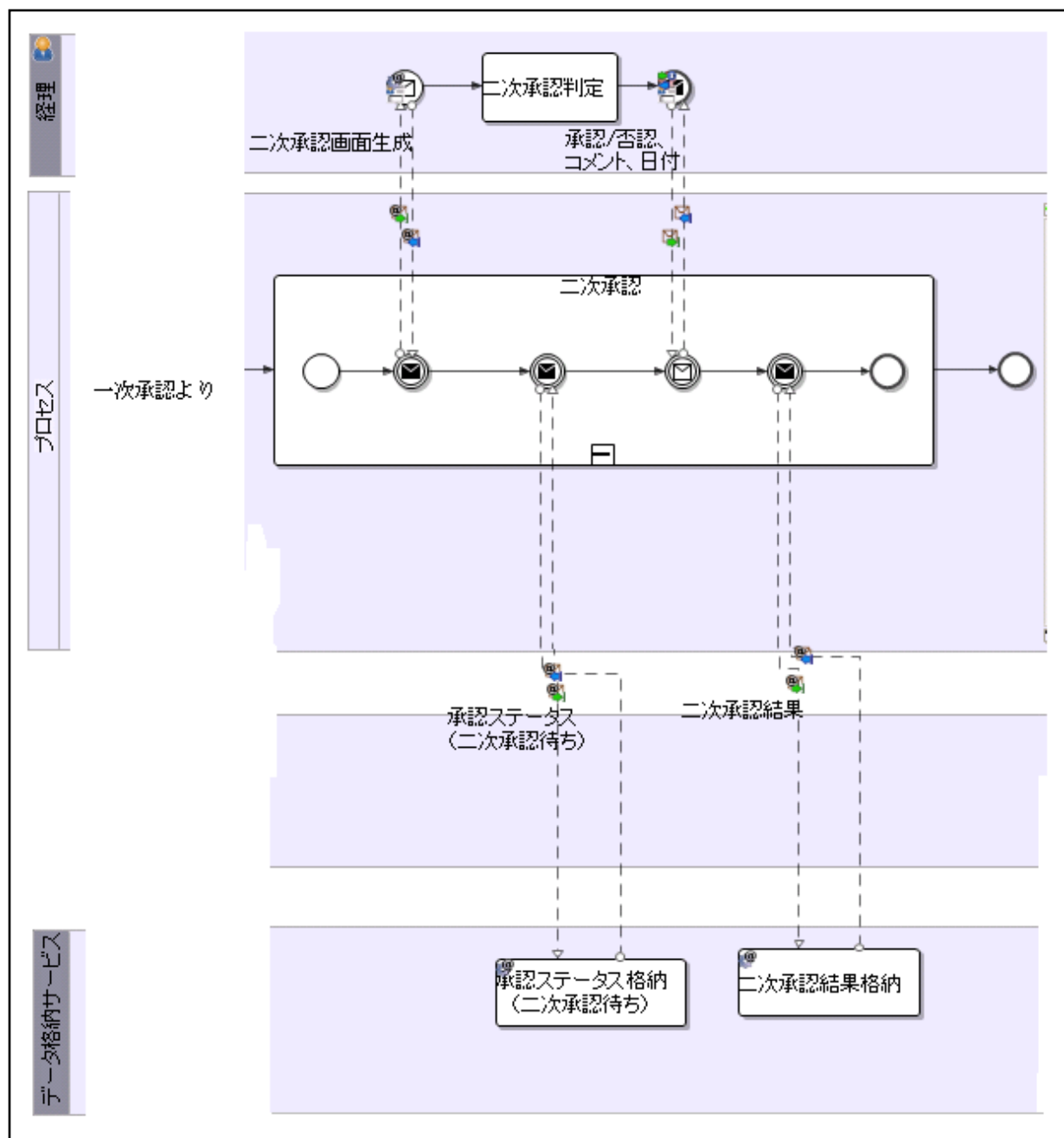
データ格納サービスに値を格納することによって、申請後にデータ格納サービスに承認情報の問い合わせを行い、プロセスの進捗状況を確認することができます。



(iv) 二次承認

所属上長による承認を通過したプロセス及び一次承認が不要のプロセスは、経理による判定を受けます。

一次承認と同様に、二次承認者が承認判定を行うタイミングで、データ格納サービスに承認情報を格納します。



2.6.3 サンプルの実行手順

(1) プロセスの開始(起票)

(i) Excel シートでの起票

出張旅費申請書.xls に必要事項を入力し、出張旅費申請書を作成します。

※ユーザ ID、利用開始日、利用終了日、旅行事由は入力必須項目になります。

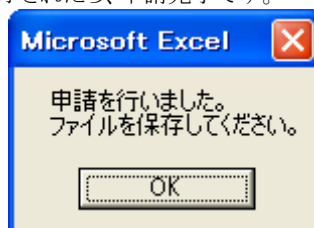
記入漏れがあると、起票できません。

※ 出張旅費申請書の「申請」ボタン以下(下図網掛け部分)は、申請済プロセスの進捗状況を確認するための項目です。申請時に記入する必要はありません。

出張旅費申請書		
下記の通り、申請します。(※は必須項目)		
申請者	ユーザID ※	aoyagi
	氏名	青柳辰巳
申請日		2008/8/19
	利用開始日 ※	2008/6/1
	利用終了日 ※	2008/6/2
	旅行事由 ※	定例会議
	宿泊費	¥7,000
	利用交通手段	電車
	出発地	新橋
	目的地	溜池山王
	片道・往復	往復
	交通費	¥320
	合計金額	¥7,320
		申 請
※ 以下の項目は自動的に設定されます。承認結果は、ファイルを開いたときに照会されます。		
申請番号		
ステータス		
一次承認	承認者	
	承認日	
	結果	
	コメント	
二次承認	承認者	
	承認日	
	結果	
	コメント	

申請内容入力後に、「申請」ボタンをクリックします。

以下のメッセージが表示されたら、申請完了です。



申請後、Excel の「保存」ボタンを押し、申請情報を保存してください。

※申請後にプロセスの進捗状況を確認する際には、申請時に割り振られる申請番号に紐づけて、データを取得します。そのため、申請番号を取得した時点で、保存してください。

(ii) 申請完了の確認

出張旅費申請書.xlsを開くことで、申請済プロセスの現在のステータスを確認できます。
「ステータス」欄が「申請中」になり、承認情報が追記された状態を確認できます。

申請番号		20080819161813
ステータス		申請中
一次承認	承認者	
	承認日	
	結果	
	コメント	
二次承認	承認者	
	承認日	
	結果	
	コメント	

(2) 案件の処理(一次承認)

一次承認は、上長による承認の要否により、処理方法が異なります。

※ 上長の承認要否についての条件は、「2.5.2 サンプルフローの説明 (3) 旅費申請ダイアグラム (ii) 一次承認要否判定」を参照してください。

○ 所属上長の承認が不要な場合

上長は一次承認を行う必要はありません。

○ 所属上長の承認が必要な場合

上長による承認は、以下の手順で行います。

(i) ログイン(所属上長)

イントラマートへのログインを行います。ブラウザを起動し、イントラマートの[ログイン]画面を表示します。
上司「片山」の ID「katayama」/パスワード「katayama」を入力し、ログインします。

(ii) 承認処理(所属上長)

メニューより、[BPM]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。

未処理案件一覧(ドキュメントワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧

案件名: 検索

1-1/1 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
	2008/08/19 16:18		出張旅費申請(一次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

1-1/1 表示中

一覧から案件名「出張旅費申請(一次承認) 青柳辰巳」欄の[処理]アイコンをクリックします。

下記「出張旅費申請(一次承認)」画面が表示されます。

出張旅費申請(一次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

【出張旅費申請】

申請者: 青柳辰巳 申請日: 2008/8/19

利用開始日: 2008/6/1 利用終了日: 2008/6/2

旅行事由: 定例会議

宿泊費: 7000 交通費: 320 合計金額: 7320

利用交通手段: 電車 出発地: 新橋 目的地: 溜池山王 (往復)

自動チェック結果: 宿泊費が設定されています。

【承認者記入欄】

☒ 承認 ☐ 否認

コメント:

承認者: 承認日: 2008/8/19

intra-mart

HOME MENU ON/OFF ? HELP

片山聡 LOG OUT

CLOSE

ユーザ設定
ワークフロー
BPM
プロセス
未処理
処理済
通知
進捗
サンプル
FormatCreator
イベントナビゲータ
OPEN

出張旅費申請(一次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

戻る

【出張旅費申請】

申請者: 青柳辰巳 申請日: 2008/8/19

利用開始日: 2008/6/1 利用終了日: 2008/6/2

旅行事由: 定例会議

宿泊費: 7000 交通費: 320 合計金額: 7320

利用交通手段: 電車 出発地: 新橋 目的地: 溜池山王 (往復)

自動チェック結果: 宿泊費が設定されています。

【承認者記入欄】

承認 承認者: 片山聡 承認日: 2008/8/19

コメント: OK

保留 一時保存 完了

「承認者記入欄」以下の下記項目の入力を行います。

- ・ 承認/否認
- ・ コメント
- ・ 承認者名
- ・ 承認日

記入後に、「完了」をクリックします。

以上で一次承認が完了です。

(iii) プロセスの進捗状況の確認

申請時に利用した出張旅費申請書.xls ファイルを開くことで、フローの進捗状況を確認できます。

一次承認後に出張旅費申請書.xls を開くと、一次承認画面で入力した値が追加されたことが確認できます。

申請番号		20080819161813
ステータス		二次承認待ち
一次承認	承認者	片山聡
	承認日	2008/8/19
	結果	承認
	コメント	OK
二次承認	承認者	
	承認日	
	結果	
	コメント	

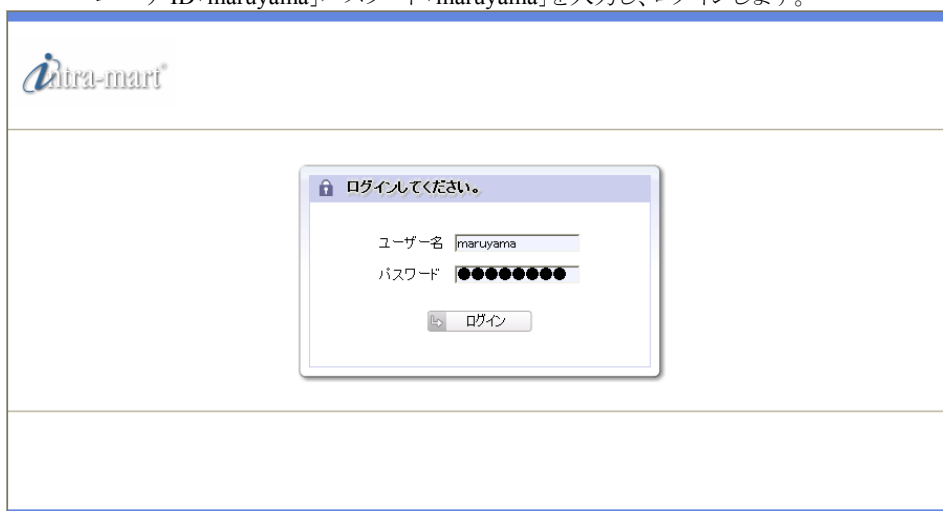
(3) 経理による案件の処理(二次承認)

一次承認が完了したプロセスについては、続いて、経理による二次承認が行われます。

(i) ログイン(経理)

イントラマートへのログインを行います。ブラウザを起動し、イントラマートの[ログイン]画面を表示します。
本サンプルの承認権限を持つユーザでログインします。

ユーザ ID「maruyama」パスワード「maruyama」を入力し、ログインします。



(ii) 承認処理(経理)

メニューより、[BPM]->[未処理]を選択すると、処理可能な案件の一覧が表示されます。

一覧から案件名「出張旅費申請(二次承認) 青柳辰巳」の[処理]をクリックします



未処理案件一覧(ドキュメントワークフロー) 未処理案件一覧(BPM)

未処理案件一覧

案件名: 検索

昇順 降順 1-1/1 表示中

処理	依頼日	状態	案件名
	2008/08/19 16:25		出張旅費申請(二次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

昇順 降順 1-1/1 表示中

[処理]を選択すると「出張旅費申請(二次承認)」画面が表示されます。

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 円山益男 LOG OUT

出張旅費申請(二次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

【出張旅費申請】

申請者: 青柳辰巳 申請日: 2008/8/19
 利用開始日: 2008/8/1 利用終了日: 2008/8/2
 旅行事由: 定例会議

宿泊費: 7000 交通費: 320 合計金額: 7320
 利用交通手段: 電車 出発地: 新橋 目的地: 溜池山王 (往復)
 自動チェック結果: 宿泊費が設定されています。

【一次承認結果】

承認者: 片山聡 承認日: 2008/8/19
 コメント: OK

【承認者記入欄】

☒ 承認 ☐ 否認
 承認者: 円山益男 承認日: 2008/8/19
 コメント: 承認します

保留 一時保存 完了

intra-mart HOME MENU ON/OFF ? HELP 円山益男 LOG OUT

出張旅費申請(二次承認) 青柳辰巳 2008/8/19

【出張旅費申請】

申請者: 青柳辰巳 申請日: 2008/8/19
 利用開始日: 2008/8/1 利用終了日: 2008/8/2
 旅行事由: 定例会議

宿泊費: 7000 交通費: 320 合計金額: 7320
 利用交通手段: 電車 出発地: 新橋 目的地: 溜池山王 (往復)
 自動チェック結果: 宿泊費が設定されています。

【一次承認結果】

承認者: 片山聡 承認日: 2008/8/19
 コメント: OK

【承認者記入欄】

☒ 承認 ☐ 否認
 承認者: 円山益男 承認日: 2008/8/19
 コメント: 承認します

保留 一時保存 完了

承認者記入欄以下の下記項目の入力を行います。

- ・ 承認/否認
- ・ 承認者名
- ・ コメント
- ・ 承認日

記入後に、「完了」を押下します。

以上で二次承認が完了しました。

(iii) プロセスの進捗状況の確認

申請時に利用した出張旅費申請書.xls ファイルを開くことで、フローの進捗状況を確認できます。
承認が行われると、出張旅費申請書.xls の以下の項目欄に値が追加・変更されます。

申請番号		20080819161813
ステータス		承認済み
一次承認	承認者	片山聡
	承認日	2008/8/19
	結果	承認
	コメント	OK
二次承認	承認者	円山益男
	承認日	2008/8/19
	結果	承認
	コメント	承認します

intra-mart WebPlatform/AppFramework Ver. 7.0
BPM イントロダクション

2008/08/22 初版

Copyright 2000-2008 株式会社 NTT データ イントラマート
All rights Reserved.

TEL: 03-5549-2821

FAX: 03-5549-2816

E-MAIL: info@intra-mart.jp

URL: <http://www.intra-mart.jp/>